

履修要項

2022



The Faculty of Health Science Technology

理学療法学科 作業療法学科 臨床検査学科 看護学科

文京学院大学

CALENDAR 2022

4

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	.	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
.	.	.	.	.	.	.

5

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

6

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	.	.
.	.	.	.	.	.	.

7

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	.	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	.	.	.	.	.	.

8

日	月	火	水	木	金	土
.	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

9

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	.
.	.	.	.	.	.	.

10

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	.	.	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	.	.	.	.	.

11

日	月	火	水	木	金	土
.	.	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

12

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
.	.	.	.	.	.	.

1 2023

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

2

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

3

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	.
.	.	.	.	.	.	.

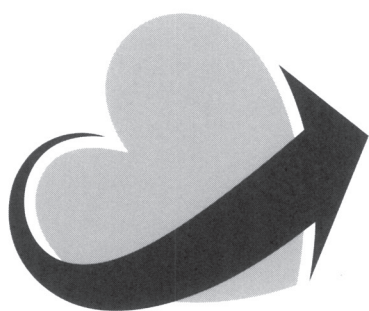
国民の祝日

4月29日 昭和の日
5月3日 憲法記念日
5月4日 みどりの日
5月5日 こどもの日
7月18日 海の日
8月11日 山の日

9月19日 敬老の日
9月23日 秋分の日
10月10日 スポーツの日
11月3日 文化の日
11月23日 勤労感謝の日

1月1日 元日
1月2日 振替休日
1月9日 成人の日
2月11日 建国記念日
2月23日 天皇誕生日
3月21日 春分の日

※祝日法などの改正により、祝日や休日が変更になる場合があります。



こころの基点 つながる起点
文京学院

保健医療技術学部の特徴

保健医療技術学部 学部長・教授 神 作 一 実

文京学院大学保健医療技術学部は、人間性が豊かでコミュニケーション能力を有し、チーム医療の中で自らの技術や知識を発揮して保健・医療・福祉分野に貢献することができる専門家を育成することを教育目標としています。

皆さんが自らの人間性を高めるために、教員はもとより、教務、学生支援、学習支援、キャリア、総務、GSI（国際交流）、入試広報、保健室などで働く職員がいます。是非、この方々のサポートを受けて多くのことを学んでください。大学で人々と交わり、生涯にわたる友人や恩師と出会うかもしれません。将来への期待と不安を持つ皆さんは、人との出会いをとおして問題を解決し、新しい概念に気づき、自分の思考と行動の枠組みを変えていくことになるでしょう。

保健医療技術学部は理学療法学科、作業療法学科、臨床検査学科、そして看護学科の4学科で一学年300名の学生から成り立っています。理学療法学科と作業療法学科は1～4年次をふじみ野キャンパスで、臨床検査学科と看護学科は1年次をふじみ野キャンパスで、2年次以降を本郷キャンパスで過ごすことになります。卒業時にそれぞれの免許を取得するための国家試験受験資格が与えられます。とはいえ、国家試験だけを目的とせず、伸び伸びと明るく楽しいキャンパスライフを過ごしてください。

皆さんはいつも誰かに見守られています。どうぞ大いに成長してください。応援します。

理学療法学科の教育理念

理学療法学科 学科長・教授 柿 崎 藤 泰

○専門領域の高度な知識と技術を身につけ、医療人として高い「共生」の理念に立ち、人の生活を支えていく資質を練り上げる。

○高い倫理的見地に立ち、理学療法の学問の推進とともに技術的發展を自ら行う人を育成する。そのために、

1. 理学療法の修得のために、十分な関心を持つこと。
2. 他人の気持ちを思いやり、理解するコミュニケーション能力を十分に有すること。
3. 責任感があり誠実であること。
4. 基礎的学力、自己学習意欲があり、卒業後も自己研鑽を積む勤勉さを有すること。
5. 集団の中への協調性や適応性を十分有すること。

以上のことを教育理念に掲げます。

作業療法学科の教育理念

作業療法学科 学科長・教授 大 橋 幸 子

多岐にわたる、知識・評価治療技術・対人援助技術を身につけ、医療職業人として対象者に高い倫理観を持って誠実に向き合うことができる人材を育成する。

1. 自らが身につけた知識や技術は、自分が提供するリハビリテーションサービスの質を決定してしまうことを自覚すること。
2. 在学中だけでなく、将来にわたって絶え間ない学習を続けていくこと。
3. 他者に対する思いやりの気持ちをもつとともに、相手を受け入れることができる人間に成長すること。
4. 自己に対して客観的に分析を行い、他者との関係に理解を深める努力をすること。
5. 対象者の多様な生活障害を理解し、誠意を持って対象者へのアプローチに尽力できること。

臨床検査学科の教育理念

臨床検査学科 学科長・教授 濱 田 悦 子

○人が豊かな人生を送る手段として有効な臨床検査を提供することで、自立と共生を実現できる人材を育てることを教育理念とする。具体的能力として以下の7つを掲げる。

1. 臨床検査を受ける人のことを思い浮かべることができる。
2. 勇気をもって勉学に励み、自ら知識と技術を磨いて仕事に責任を持つことができる。
3. 自他ともに生き生きとした実りある生活を送るために、最善を尽くすことができる。
4. 理想を高くかかげて挑戦し続けることができる。
5. 驕らず、焦らず、丁寧に、今あることに集中して取り組むことができる。
6. チーム医療の輪をつくることができる。
7. 求められる国際化に対応することができる。

看護学科の教育理念

看護学科 学科長・教授 増 田 元 香

○「自立と共生」の理念を深く理解し、以下にあげる能力を有する看護専門職者の育成を教育理念とする。

1. 生命の尊厳や人権について深く理解し、人々の意思決定を支え、擁護する行動をとることができる。
2. 人間への幅広い関心を持ち、健康や環境、生活について深く洞察できる。
3. 高い倫理観に基づいた判断や行動をとることができる。
4. 自己を内省することができ、他者とのコミュニケーションを通して、豊かな人間関係を形成できる。
5. 健康を多側面から調和的総合的に捉え、健康の回復、保持・増進に向け看護専門職者が果たすべき役割を理解できる。
6. 対象にとって適切で効果的なケアを探求し、批判的な思考に基づいた判断ができ、根拠のある看護実践を提供できる。
7. 他の職種専門性を理解し尊重でき、様々な職種の人々や地域の住民と連携・協働できる。
8. チーム医療の中で、看護専門職者が担う役割や機能を果たすことができる。
9. 自らの能力を自己評価や他者評価を通して振り返り、自己研鑽を継続できる。

《理学療法学科》

Diploma Policy（学位授与の方針）

建学の精神である「自立と共生」を理念として、多くの人と協調しながら、社会に貢献できる理学療法士の育成を教育目標とします。理学療法学科では、以下の能力を身につけた者に「学士（理学療法学）」の学位を授与します。

1. 医療人としての倫理観をもち、責任ある行動ができる。
2. 理学療法士として必要とされる基本的な知識・技術を有している。
3. 他者とコミュニケーションをとり、協調した行動ができる。
4. 自ら課題を発見し、学修することができる。

Curriculum Policy（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーを実現するために、理学療法学科では以下のようなカリキュラムを構成しています。

1) 初年次教育・教養教育

大学での学びの姿勢、学修に必要な基本的スキル、保健・医療の専門職として必要な基礎的知識を幅広く修得する。

2) 専門教育

理学療法士学校養成指定規則にそって、医学の基礎分野から理学療法の基礎・専門分野まで、講義・演習・実習をとおして段階的に学修する。より発展的な理学療法の考え方や治療技術にも触れ、実践力を高め、創造性を養う。

3) キャリア教育

初年次より、学外見学・実習を段階的に行い、理学療法士として働く上で必要な実践能力を修得する。また、協働して学修する科目をとおして、コミュニケーション能力や能動的に問題を解決する能力を高める。

《作業療法学科》

Diploma Policy（学位授与の方針）

建学の精神である「自立と共生」を理念として、広い視野を持って多くの人と協調しながら、自らが主体となって社会に貢献できる作業療法士を育成することを教育目標とします。作業療法学科では、以下の能力を身につけた者に「学士（作業療法学）」の学位を授与します。

1. 国家試験に合格できる十分な学力と保健・医療・福祉分野における作業療法実践に必要な知識を持っている。
2. 専門職として必要とされる基本的な技術・技能を修得し活用できる。
3. 他者を尊重し協力してコミュニケーション・行動できる。
4. 自らの能力を高める努力を惜しまず、新たな課題にチャレンジすることができる。

Curriculum Policy（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーを実現するために、作業療法学科では以下のようなカリキュラムを構成しています。

1) 初年次教育・教養教育

初年次教育では、大学で学ぶための基本的な姿勢、学習スキル、作業療法士としての基礎的な知識を学修する。教養科目では、作業療法士として必要な教養を高める。

2) 専門教育

作業療法士学校養成指定規則にそって、臨床医学および身体障害、精神障害、老年期障害、発達障害の各領域について、一連の作業療法プロセスを学修する。

3) キャリア教育

1年次より4年次まで、作業療法見学、臨床基礎実習、総合臨床実習を段階的に行う。アクティブラーニングをとおして、コミュニケーション能力、能動的な学習能力、問題解決能力などの、作業療法士として必要な臨床実践能力を修得する。

《臨床検査学科》

Diploma Policy（学位授与の方針）

建学の精神である「自立と共生」を理念として、広い視野をもち、他者と協調しながら、自らが主体となって社会に貢献できる臨床検査技師を育成することを教育目標とします。

以下の能力を身につけた者に「学士（臨床検査学）」の学位を授与します。

1. 医療人としての倫理観と他者に対する思いやりをもち、責任をもって行動できる。
2. 臨床検査技師として必要とされる基本的な知識・技術を修得し、活用できる。
3. 患者や他の専門職と適切にコミュニケーションする能力をもち、チームの一員として協調して行動できる。
4. 自らの専門分野での課題を見出し、解決に向けて行動できる。

Curriculum Policy（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーを実現するために、臨床検査学科では以下のようなカリキュラムを構成しています。

1) 初年次教育・教養教育

初年次科目をとおして主体的に学ぶきっかけをつかむ。人間と生活の科目をとおして常識、社会についての洞察力、他者への共感、倫理観を育み、保健・医療職を目指す意識と自信を培う。

2) 専門教育

専門基礎分野科目と専門分野科目をとおして臨床検査の役割を理解し、臨床検査学を系統的に学修する。講義と実習を結びつけることで知識と技術を一体化して修得する。現実の検査の可能性と限界を意識し、考える習慣を身につける。

3) キャリア教育

模擬患者実習と臨地実習をとおして円滑なコミュニケーションをとり、チーム医療を担う一員として協働できる力をつける。卒業研究、総合臨床検査学をとおして自己研鑽し、生涯にわたって自己実現する基礎力、論理的思考力、問題解決能力を養う。

《看護学科》

Diploma Policy（学位授与の方針）

建学の精神である「自立と共生」を理念とし、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、卒業に必要な所定の単位を取得すると共に下記的能力・資質を修得・涵養することに努め、これらを総合的に活用できる人材に「学士（看護学）」の学位を授与します。

1. 豊かな人間性と高い倫理観、幅広い教養を身につけ、他者を思いやり、尊重できる。
2. 十分なコミュニケーション力をもって援助的人間関係を築ける。
3. 個人、家族および地域社会の人々に対して、それぞれの健康レベルに応じて専門的知識と技術を駆使して、エビデンスに基づいた看護を実践ができる。
4. 看護専門職としての機能の発揮に努め、関連分野の人々と連携・協働できる。
5. 様々な価値観や文化を持つ他者を理解し、適切な支援ができる。
6. 他者からの評価を謙虚に受け止めるとともに的確な自己評価ができ、探求心をもって自己研鑽できる。

Curriculum Policy（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーを実現するために、看護学科では以下のようなカリキュラムを構成しています。

1) 初年次教育・教養教育

看護の対象となる“あらゆる人々”に自ら開かれるように豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけることを目指し、医療職者としての倫理観の基盤となる科目を履修し、基礎的な知識を学修する。

2) 専門教育

一人ひとりの人間がもつ固有の価値を認めて人間関係を築き、人間の尊厳と権利を擁護しながら人々の健康保持・増進から回復、安らかな死を支援できる看護専門職としての能力獲得を目指して、看護学の専門的知識・技術に関して基礎から応用へと段階的に学修する。

3) キャリア教育

初年度から配置されている臨地での実習をとおして、エビデンスに基づいた看護実践を展開できる力と自己研鑽を継続できる姿勢を獲得し、看護の対象が抱える健康問題の解決のために論理的な思考力と様々な人々と協働できる共生力を養う。

アセスメントポリシー

本学では、ディプロマ、カリキュラム、アドミSSIONの3つのポリシーに即して、学修成果を評価する方針を以下のように定めています。

	入学前・入学時	在学中	卒業時
機関レベル (大学全体)	・入学試験 ・調査書の記載内容	・休学率 ・退学率	・卒業率 ・就職率 ・進学率 ・学位授与数
教育課程レベル (学部・学科)	・入学試験 ・入学時アンケート	・学修ポートフォリオ ・アセスメントテストあるいはルーブリック評価 ・G P A ・修得単位数 ・P R O G (1・3年次) ・学生満足度調査(1・3年次)	・学修ポートフォリオ ・G P A ・修得単位数 ・資格・免許取得状況 ・卒業時アンケート(学修成果を含む)
科目レベル (個々の授業)	・基礎学力テスト	・成績評価 ・授業アンケート	

*機関レベルでは大学レベルでみた学修成果の達成状況を、教育課程レベルでは学部・学科における学修成果を、科目レベルではシラバスで提示された学修目標に対する科目ごとの学修成果を評価します。

2022年度 学年暦 ふじみ野キャンパス

※祝日・土曜日に授業・補講・集中講義を実施することがあります。(☆印…日・祝。ただし、授業を実施する場合があります)

4月 April			
1	(金)		
2	(土)	1年	入学式
3	(日)		☆
4	(月)		
5	(火)		
6	(水)	OT4年	総合臨床実習Ⅰ開始(～5/31)
7	(木)		
8	(金)	1年	新入生特別研修
9	(土)		
10	(日)		☆
11	(月)	1～3年 全学年 PT4年	前期授業開始 前期履修登録開始 総合臨床実習Ⅰ開始(～5/27)
12	(火)		
13	(水)		
14	(木)		
15	(金)		
16	(土)		
17	(日)		☆
18	(月)	全学年	前期履修登録終了(16:30)
19	(火)	全学年	前期履修登録変更期間開始
20	(水)		
21	(木)		
22	(金)	全学年	前期履修登録変更期間終了(16:30)
23	(土)		
24	(日)		☆
25	(月)		
26	(火)		
27	(水)		
28	(木)		
29	(金)		☆
30	(土)		

5月 May			
1	(日)		☆
2	(月)		
3	(火)		☆
4	(水)		☆
5	(木)		☆
6	(金)		
7	(土)	全学年	履修登録取り消し受付期間開始 金曜振替授業日
8	(日)		☆
9	(月)		
10	(火)		
11	(水)		
12	(木)	全学年	履修登録取り消し受付期間終了(16:30)
13	(金)		
14	(土)		
15	(日)		☆
16	(月)		
17	(火)		
18	(水)		
19	(木)		
20	(金)		
21	(土)		
22	(日)		☆
23	(月)		
24	(火)		
25	(水)		
26	(木)		
27	(金)		
28	(土)		
29	(日)		☆
30	(月)		
31	(火)		

6月 June			
1	(水)		
2	(木)		
3	(金)		
4	(土)		
5	(日)		☆
6	(月)	PT4年 OT4年	総合臨床実習Ⅱ開始(～7/15) 総合臨床実習Ⅱ開始(～7/30)
7	(火)		
8	(水)		
9	(木)		
10	(金)		
11	(土)		
12	(日)		☆
13	(月)		
14	(火)		
15	(水)		
16	(木)		
17	(金)		
18	(土)		
19	(日)		☆
20	(月)		
21	(火)		
22	(水)		
23	(木)		
24	(金)		
25	(土)	1年	てっぺんフォーラム
26	(日)		☆
27	(月)		
28	(火)		
29	(水)		
30	(木)		

• ふじみ野キャンパス •

7月 July			
1	(金)		
2	(土)		
3	(日)	☆	
4	(月)		
5	(火)		
6	(水)		
7	(木)		
8	(金)		
9	(土)		
10	(日)	☆	
11	(月)		
12	(火)		
13	(水)		
14	(木)		
15	(金)		
16	(土)		
17	(日)	☆	
18	(月)	☆	
19	(火)		
20	(水)		
21	(木)		
22	(金)		
23	(土)		
24	(日)	☆	
25	(月)		
26	(火)		
27	(水)		
28	(木)		
29	(金)	1～3年	前期定期試験①
30	(土)	1～3年	前期定期試験②
31	(日)		☆

8月 August			
1	(月)	1～3年	前期定期試験③
2	(火)	1～3年	前期定期試験④
3	(水)	1～3年	前期定期試験⑤
4	(木)	1～3年	前期定期試験⑥
5	(金)	1～3年	前期定期試験⑦
6	(土)		
7	(日)		☆
8	(月)		
9	(火)		一斉休業
10	(水)		一斉休業
11	(木)		☆一斉休業
12	(金)		一斉休業
13	(土)		一斉休業
14	(日)		☆一斉休業
15	(月)		一斉休業
16	(火)		
17	(水)		
18	(木)		
19	(金)		
20	(土)		
21	(日)		☆
22	(月)		
23	(火)		
24	(水)		
25	(木)		
26	(金)	1～3年 OT3年 1-2-PT3年	前期定期試験成績発表 前期追再試験申込① 前期追再試験申込①
27	(土)	OT3年 1-2-PT3年	前期追再試験申込② 前期定期試験成績発表／前期追再試験申込②
28	(日)		☆
29	(月)		
30	(火)	OT3年	前期追再試験①
31	(水)	OT3年 4年	前期追再試験② チーム医療論Ⅰ

9月 September			
1	(木)	OT3年 4年	前期追再試験③ チーム医療論Ⅰ
2	(金)	OT3年	前期追再試験④
3	(土)		
4	(日)		☆
5	(月)	1-2-PT3年	前期追再試験①
6	(火)	1-2-PT3年	前期追再試験②
7	(水)	1-2-PT3年	前期追再試験③
8	(木)	1-2-PT3年 OT3年	前期追再試験④ 前期追再試験成績発表
9	(金)	1-2-PT3年	前期追再試験⑤
10	(土)	1-2-PT3年	前期追再試験⑥
11	(日)		☆
12	(月)		
13	(火)		
14	(水)		
15	(木)		
16	(金)	1-2-PT3年	前期追・再試験成績発表
17	(土)		
18	(日)		☆
19	(月)	OT3年	☆ 臨床基礎実習Ⅱ開始(～10/15)
20	(火)	全学年	後期授業開始／ 後期履修登録開始
21	(水)		
22	(木)		
23	(金)		☆
24	(土)		
25	(日)		☆
26	(月)		
27	(火)	全学年	後期履修登録終了(16:30)
28	(水)		
29	(木)		
30	(金)		

• ふじみ野キャンパス •

※土曜日に授業・補講・集中講義を実施することがありますので、時間割・掲示を必ず確認してください。

10月 October			
1	(土)		
2	(日)	☆	
3	(月)		
4	(火)		
5	(水)		
6	(木)		
7	(金)	あやめ祭準備日(休校)	
8	(土)	あやめ祭①	
9	(日)	☆あやめ祭②	
10	(月)	☆	
11	(火)		
12	(水)		
13	(木)		
14	(金)		
15	(土)		
16	(日)	☆	
17	(月)	全学年	後期履修登録変更期間開始 履修登録取り消し受付期間開始
18	(火)		
19	(水)		
20	(木)		
21	(金)	全学年	後期履修登録変更期間終了(16:30) 履修登録取り消し受付期間終了(16:30)
22	(土)		
23	(日)	☆創立記念日	
24	(月)		
25	(火)		
26	(水)		
27	(木)		
28	(金)		
29	(土)		
30	(日)	☆	
31	(月)		

11月 November			
1	(火)		
2	(水)		
3	(木)	☆	
4	(金)		
5	(土)	金曜振替授業日	
6	(日)	☆	
7	(月)		
8	(火)		
9	(水)		
10	(木)		
11	(金)		
12	(土)		
13	(日)	☆	
14	(月)		
15	(火)		
16	(水)		
17	(木)		
18	(金)		
19	(土)		
20	(日)	☆	
21	(月)		
22	(火)		
23	(水)	☆	
24	(木)		
25	(金)	PT3年	後期授業最終日
26	(土)		
27	(日)	☆	
28	(月)	PT3年	後期定期試験①
29	(火)	PT3年	後期定期試験②
30	(水)	PT3年	後期定期試験③

12月 December			
1	(木)		
2	(金)		
3	(土)		
4	(日)	☆	
5	(月)		
6	(火)		
7	(水)		
8	(木)	PT3年	後期定期試験成績発表／ 後期追再試験申込①
9	(金)	PT3年	後期追再試験申込②
10	(土)		
11	(日)	☆	
12	(月)	PT3年	後期追再試験期間①
13	(火)	PT3年	後期追再試験期間②
14	(水)	PT3年	後期追再試験期間③
15	(木)		
16	(金)	OT2・4年	後期授業最終日
17	(土)		
18	(日)	☆	
19	(月)	OT2・4年	後期定期試験①
20	(火)	PT3年 OT2・4年	後期追再試験成績発表 後期定期試験②
21	(水)	OT2・4年	後期定期試験③
22	(木)	OT2年	後期定期試験④
23	(金)	OT2年 1-PT2-OT3年	後期定期試験⑤ 年内授業最終日
24	(土)		
25	(日)	☆	
26	(月)		
27	(火)		
28	(水)		
29	(木)		
30	(金)		
31	(土)		

• ふじみ野キャンパス •

1月 January			
1	(日)		☆
2	(月)		☆
3	(火)		
4	(水)		
5	(木)		
6	(金)		
7	(土)		
8	(日)		☆
9	(月)		☆
10	(火)	1・PT2・OT3年 PT3年	後期授業再開 評価実習開始 (～2/10)
11	(水)	PT2・OT2・4年	後期定期試験成績発表／ 後期追再試験申込①
12	(木)	PT2・OT2・4年	後期追再試験申込②
13	(金)		大学入学共通テスト準備 (休校)
14	(土)		大学入学共通テスト①
15	(日)		☆大学入学共通テスト②
16	(月)	PT2・OT2・4年	後期追再試験期間①
17	(火)	PT2・OT2・4年	後期追再試験期間② 補講日
18	(水)	PT2・OT2・4年	後期追再試験期間③
19	(木)	PT2・OT2年	後期追再試験期間④
20	(金)	PT2・OT2年	後期追再試験期間⑤
21	(土)		
22	(日)		☆
23	(月)	PT2年 OT2年	見学実習開始 (～2/3) 臨床基礎実習Ⅰ開始 (～2/18)
24	(火)	1・OT3年	後期定期試験期間①
25	(水)	1・OT3年	後期定期試験期間②
26	(木)	1・OT3年	後期定期試験期間③
27	(金)	1・OT3年	後期定期試験期間④
28	(土)	1・OT3年	後期定期試験期間⑤
29	(日)		☆
30	(月)	1・OT3年	後期定期試験期間⑥
31	(火)	1・OT3年	後期定期試験期間⑦

2月 February			
1	(水)		
2	(木)		
3	(金)		
4	(土)		
5	(日)		☆
6	(月)		
7	(火)	PT2・OT2・4年	後期追再試験成績発表
8	(水)		
9	(木)		
10	(金)		
11	(土)		☆
12	(日)		☆
13	(月)		
14	(火)		
15	(水)	1・OT3年	後期定期試験成績発表／ 後期追再試験申込①
16	(木)	1・OT3年	後期追再試験申込②
17	(金)		
18	(土)		
19	(日)		☆
20	(月)	1・OT3年	後期追再試験期間①
21	(火)	1・OT3年	後期追再試験期間②
22	(水)	1・OT3年	後期追再試験期間③
23	(木)		☆
24	(金)	1・OT3年	後期追再試験期間④
25	(土)	1・OT3年	後期追再試験期間⑤
26	(日)		
27	(月)	1・OT3年	後期追再試験期間⑥
28	(火)	1・OT3年	後期追再試験期間⑦

3月 March			
1	(水)		
2	(木)		
3	(金)		
4	(土)		
5	(日)		☆
6	(月)		
7	(火)		
8	(水)		
9	(木)		
10	(金)	1・2・3年	後期追・再試験成績発表
11	(土)		
12	(日)		☆
13	(月)		
14	(火)		
15	(水)		
16	(木)		
17	(金)		
18	(土)		
19	(日)		☆
20	(月)		
21	(火)		☆
22	(水)		
23	(木)		
24	(金)		
25	(土)		
26	(日)		☆
27	(月)		
28	(火)		
29	(水)		
30	(木)		
31	(金)		

2022年度 学年暦 本郷キャンパス

※祝日・土曜日に授業・補講・集中講義を実施することがあります。(☆印…日・祝。ただし、授業を実施する場合があります)

4月 April			
1	(金)		健康診断
2	(土)		入学式
3	(日)		☆
4	(月)		
5	(火)		
6	(水)		履修ガイダンス
7	(木)		
8	(金)		
9	(土)		
10	(日)		☆
11	(月)	全学年 全学年 研修生	前期授業開始 前期履修登録開始 研修生締切
12	(火)		
13	(水)		
14	(木)		
15	(金)		
16	(土)		
17	(日)		☆
18	(月)	全学年	前期履修登録終了(16:30)
19	(火)	全学年	前期追加履修登録開始
20	(水)		
21	(木)		
22	(金)	全学年	前期追加履修登録終了(16:30)
23	(土)		
24	(日)		☆
25	(月)		
26	(火)		
27	(水)		
28	(木)		
29	(金)		☆
30	(土)		

5月 May			
1	(日)		☆
2	(月)		
3	(火)		☆
4	(水)		☆
5	(木)		☆
6	(金)		
7	(土)		金曜振替授業日
8	(日)		☆
9	(月)	全学年	GPA 取消期間開始
10	(火)		
11	(水)		
12	(木)		
13	(金)	全学年	GPA 取消期間終了(16:30)
14	(土)		
15	(日)		☆
16	(月)		
17	(火)		
18	(水)		
19	(木)		
20	(金)		
21	(土)		
22	(日)		☆
23	(月)		
24	(火)		
25	(水)		
26	(木)		
27	(金)		
28	(土)		
29	(日)		☆
30	(月)		
31	(火)		

6月 June			
1	(水)		
2	(木)		
3	(金)		
4	(土)		
5	(日)		☆
6	(月)		
7	(火)		
8	(水)		
9	(木)		
10	(金)		
11	(土)		
12	(日)		☆
13	(月)		
14	(火)		
15	(水)		
16	(木)		
17	(金)		
18	(土)		
19	(日)		☆
20	(月)		
21	(火)		
22	(水)		
23	(木)		
24	(金)		
25	(土)		
26	(日)		☆
27	(月)		
28	(火)		
29	(水)		
30	(木)		

● 本郷キャンパス ●

7月 July			
1	(金)		
2	(土)		
3	(日)	☆	
4	(月)		
5	(火)		
6	(水)		
7	(木)		
8	(金)		
9	(土)		
10	(日)	☆	
11	(月)		
12	(火)		
13	(水)		
14	(木)		
15	(金)		
16	(土)		
17	(日)	☆	
18	(月)	☆	
19	(火)		
20	(水)		
21	(木)		
22	(金)		
23	(土)		
24	(日)	☆	
25	(月)		
26	(火)		
27	(水)	NS2年・3年	前期授業終了
28	(木)	CM2年・3年 NS2年・3年	前期授業終了 前期定期試験①
29	(金)	CM2年・3年 NS2年・3年	前期定期試験① 前期定期試験②
30	(土)	CM2年・3年 NS2年・3年	前期定期試験② 前期定期試験③
31	(日)		☆

8月 August			
1	(月)	CM2年・3年 NS2年・3年	前期定期試験③ 前期定期試験④
2	(火)	CM2年・3年 NS2年・3年	前期定期試験④ 前期定期試験⑤
3	(水)	CM2年・3年 NS2年・3年	前期定期試験⑤ 前期定期試験⑥
4	(木)	CM2年・3年 NS2年・3年	前期定期試験⑥ 前期定期試験⑦
5	(金)	CM2年・3年 NS2年・3年	前期定期試験⑦ 前期定期試験⑧
6	(土)		
7	(日)		☆
8	(月)		
9	(火)		一斉休業
10	(水)		一斉休業
11	(木)		一斉休業
12	(金)		一斉休業
13	(土)		一斉休業
14	(日)		一斉休業
15	(月)		一斉休業
16	(火)		
17	(水)		
18	(木)		
19	(金)		
20	(土)		
21	(日)		☆
22	(月)	CM3年・NS2・3年 CM3年・NS2・3年	前期定期試験成績発表 前期追再試験申込①
23	(火)	CM3年・NS2・3年	前期追再試験申込②
24	(水)	CM3年	前期追再試験①
25	(木)	CM3年	前期追再試験②
26	(金)	CM3年	前期追再試験③
27	(土)	CM3年	前期追再試験④
28	(日)		☆
29	(月)	CM2年・CM4年 CM2年・CM4年 CM3年 NS2年・NS3年	前期定期試験成績発表 前期追再試験申込① 前期追再試験⑤ 前期追再試験①
30	(火)	CM2年・CM4年 CM3年 NS2年・NS3年	前期追再試験申込② 前期追再試験⑥ 前期追再試験②
31	(水)	CM4年 NS2年・NS3年	チーム医療論Ⅰ(集中授業) 前期追再試験③

9月 September			
1	(木)	CM4年 NS2年・NS3年	チーム医療論Ⅰ(集中授業) 前期追再試験④
2	(金)	NS2年・NS3年	前期追再試験⑤
3	(土)		
4	(日)		☆
5	(月)	CM2年・CM4年	前期追再試験①
6	(火)	CM2年・CM4年 CM3年	前期追再試験② 前期追再試験成績発表
7	(水)	CM2年・CM4年	前期追再試験③
8	(木)	CM2年・CM4年	前期追再試験④
9	(金)	CM2年・CM4年	前期追再試験⑤
10	(土)	CM2年・CM4年	前期追再試験⑥
11	(日)		☆
12	(月)		
13	(火)		
14	(水)		
15	(木)		
16	(金)	CM2年・CM4年	前期追再試験成績発表
17	(土)		
18	(日)		☆
19	(月)		☆
20	(火)	全学年 全学年	後期授業開始 後期履修登録開始
21	(水)		
22	(木)		
23	(金)		☆通常授業実施(秋分の日)
24	(土)		
25	(日)		☆
26	(月)		
27	(火)	全学年	後期履修登録終了(16:30)
28	(水)	全学年	後期追加履修登録開始
29	(木)		
30	(金)	全学年	後期追加履修登録終了(16:30)

• 本郷キャンパス •

※土曜日に授業・補講・集中講義を実施することがありますので、時間割・掲示を必ず確認してください。

10月 October			
1	(土)		
2	(日)		☆
3	(月)		
4	(火)		
5	(水)		
6	(木)		
7	(金)		文京祭準備日(休講)
8	(土)		文京祭①
9	(日)		☆文京祭②
10	(月)		☆通常授業実施(スポーツの日)
11	(火)		
12	(水)		
13	(木)		
14	(金)		
15	(土)		
16	(日)		☆
17	(月)	全学年	GPA 取消期間開始
18	(火)		
19	(水)		
20	(木)		
21	(金)	全学年	GPA 取消期間終了(16:30)
22	(土)		
23	(日)		☆創立記念日
24	(月)		
25	(火)		
26	(水)		
27	(木)		
28	(金)		
29	(土)		
30	(日)		☆
31	(月)		

11月 November			
1	(火)		
2	(水)		
3	(木)		☆
4	(金)		
5	(土)		金曜振替授業日
6	(日)		☆
7	(月)		
8	(火)		
9	(水)		
10	(木)		
11	(金)		
12	(土)		
13	(日)		☆
14	(月)		
15	(火)		
16	(水)		
17	(木)		
18	(金)		
19	(土)		
20	(日)		☆
21	(月)		
22	(火)		
23	(水)		☆
24	(木)		
25	(金)		
26	(土)		
27	(日)		☆
28	(月)		
29	(火)		
30	(水)		

12月 December			
1	(木)		
2	(金)		
3	(土)		
4	(日)		☆
5	(月)		
6	(火)		
7	(水)		
8	(木)		
9	(金)		
10	(土)		
11	(日)		☆
12	(月)		
13	(火)		
14	(水)		
15	(木)		
16	(金)	4年	後期授業最終日
17	(土)		
18	(日)		☆
19	(月)	4年	後期定期試験①
20	(火)	4年	後期定期試験②
21	(水)	4年	後期定期試験③
22	(木)	4年	後期定期試験④
23	(金)	CM2年・CM3年 NS2年	年内授業最終日 後期授業最終日
24	(土)		
25	(日)		☆
26	(月)		
27	(火)		
28	(水)		一斉休業
29	(木)		一斉休業
30	(金)		一斉休業
31	(土)		一斉休業

• 本郷キャンパス •

1月 January			
1	(日)		☆一斉休業
2	(月)		☆一斉休業
3	(火)		一斉休業
4	(水)		一斉休業
5	(木)		
6	(金)		
7	(土)		
8	(日)		☆
9	(月)		☆
10	(火)	CM2年・CM3年	後期授業再開
11	(水)	NS2年	後期定期試験①
12	(木)	NS2年	後期定期試験②
13	(金)		大学入学共通テスト準備(休校)
14	(土)		大学入学共通テスト①
15	(日)		☆大学入学共通テスト②
16	(月)	NS2年	後期定期試験③
17	(火)	NS2年	後期定期試験④ 補講日
18	(水)	4年 NS2年	後期定期試験成績発表 後期追再試験申込① 後期定期試験⑤
19	(木)	4年	後期追再試験申込②
20	(金)		
21	(土)		大学入学共通テスト①第二日程
22	(日)		☆大学入学共通テスト②第二日程
23	(月)	CM2年・CM3年	後期授業最終日
24	(火)	CM2年 4年 NS2年	後期定期試験① 後期追・再試験① 後期定期試験成績発表・後期追再試験申込①
25	(水)	CM2年 4年 NS2年	後期定期試験② 後期追・再試験② 後期追再試験申込②
26	(木)	CM2年 4年 NS2年	後期定期試験③ 後期追・再試験③ 後期追・再試験①
27	(金)	CM2年 NS2年	後期定期試験④ 後期追・再試験②
28	(土)	CM2年 NS2年	後期定期試験⑤ 後期追・再試験③
29	(日)		☆
30	(月)	CM2年 NS2年	後期定期試験⑥ 後期追・再試験④
31	(火)	CM2年	後期定期試験⑦

2月 February			
1	(水)		
2	(木)		
3	(金)		
4	(土)		
5	(日)		☆
6	(月)	CM3年	後期定期試験①
7	(火)	CM3年 4年	後期定期試験② 後期追再試験成績発表
8	(水)	CM3年	後期定期試験③
9	(木)		
10	(金)		
11	(土)		☆
12	(日)		☆
13	(月)		
14	(火)		
15	(水)	CM2年・CM3年 CM2年・CM3年	後期定期試験成績発表 後期追・再試験申込①
16	(木)	CM2年・CM3年	後期追・再試験申込②
17	(金)		
18	(土)		
19	(日)		☆
20	(月)	CM2年	後期追再試験①
21	(火)	CM2年	後期追再試験②
22	(水)	CM2年	後期追再試験③
23	(木)		☆
24	(金)	CM2年 CM3年	後期追再試験④ 後期追再試験①
25	(土)	CM2年	後期追再試験⑤
26	(日)		☆
27	(月)	CM2年 CM3年	後期追再試験⑥ 後期追再試験②
28	(火)	CM2年 CM3年	後期追再試験⑦ 後期追再試験③

3月 March			
1	(水)		
2	(木)		
3	(金)		
4	(土)		
5	(日)		☆
6	(月)		
7	(火)		
8	(水)		
9	(木)		
10	(金)	2・3年	後期追再試験成績発表
11	(土)		
12	(日)		☆卒業式(学位記授与式・ふじみ野キャンパス)
13	(月)		
14	(火)		
15	(水)		
16	(木)		
17	(金)		
18	(土)		
19	(日)		☆
20	(月)		
21	(火)		☆
22	(水)		
23	(木)		
24	(金)		
25	(土)		
26	(日)		☆
27	(月)		
28	(火)		
29	(水)		
30	(木)		
31	(金)		

2022年度 曜日別授業回数

前期：4月7日～7月28日 後期：9月20日～1月23日

月	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
4	4	5	6	7	8 新入生研修①	9 新入生研修②	10
	11 ①	12 ①	13 ①	14 ①	15 ①	16	17
	18 ②	19 ②	20 ②	21 ②	22 ②	23	24
	25 ③	26 ③	27 ③	28 ③	29	30	1
5	2 ④	3	4	5	6 ③	7 ④金曜日	8
	9 ⑤	10 ④	11 ④	12 ④	13 ⑤	14	15
	16 ⑥	17 ⑤	18 ⑤	19 ⑤	20 ⑥	21	22
	23 ⑦	24 ⑥	25 ⑥	26 ⑥	27 ⑦	28	29
6	30 ⑧	31 ⑦	1 ⑦	2 ⑦	3 ⑧	4	5
	6 ⑨	7 ⑧	8 ⑧	9 ⑧	10 ⑨	11	12
	13 ⑩	14 ⑨	15 ⑨	16 ⑨	17 ⑩	18	19
	20 ⑪	21 ⑩	22 ⑩	23 ⑩	24 ⑪	25	26
7	27 ⑫	28 ⑪	29 ⑪	30 ⑪	1 ⑫	2	3
	4 ⑬	5 ⑫	6 ⑫	7 ⑫	8 ⑬	9	10
	11 ⑭	12 ⑬	13 ⑬	14 ⑬	15 ⑭	16	17
	18	19 ⑭	20 ⑭	21 ⑭	22 ⑮	23	24
8	25 ⑮	26 ⑮	27 ⑮	28 ⑮	29	30	31
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
9	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
10	19	20 ①	21 ①	22 ①	23 ①☆	24	25
	26 ①	27 ②	28 ②	29 ②	30 ②	1	2
	3	4 ③	5 ③	6 ③	7 ③	8	9
	10 ③☆	11 ④	12 ④	13 ④	14 ④	15	16
11	17 ④	18 ⑤	19 ⑤	20 ⑤	21	22	23
	24 ⑤	25 ⑥	26 ⑥	27 ⑥	28 ⑤	29	30
	31 ⑥	1 ⑦	2 ⑦	3	4 ⑥	5 ⑦金曜日	6
	7 ⑦	8 ⑧	9 ⑧	10 ⑦	11 ⑧	12	13
12	14 ⑧	15 ⑨	16 ⑨	17 ⑧	18 ⑨	19	20
	21 ⑨	22 ⑩	23	24 ⑨	25 ⑩	26	27
	28 ⑩	29 ⑪	30 ⑩	1 ⑩	2 ⑪	3	4
	5 ⑪	6 ⑫	7 ⑪	8 ⑪	9 ⑫	10	11
1	12 ⑫	13 ⑬	14 ⑫	15 ⑫	16 ⑬	17	18
	19 ⑬	20 ⑭	21 ⑬	22 ⑬	23 ⑭	24	25
	26	27	28	29	30	31	1
	2	3	4	5	6	7	8
2	9	10 ⑮	11 ⑭	12 ⑭	13 ⑮	14	15
	16 ⑭	17	18 ⑮	19 ⑮	20 ⑮	21	22
	23 ⑮	24	25	26	27	28	29
	30	31	1	2	3	4	5
3	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

☆祝日ですが、授業を実施します。

目 次

	頁
I - i 履修の基本事項	1
- ii 履修手続き	5
- iii 単位認定について	8
- iv 履修上の注意	17
- v 学籍に関すること	23
II - i ストレス耐性科目	27
- ii 大学特別科目	28
- iii 副専攻制度	29
- iv キャリア教育科目	31
III 放送大学 科目の履修案内	33
IV 各種提出願い様式一覧	37
V 理学療法学科	39
「理学療法士国家試験受験資格」について	39
カリキュラムマップ	41
ナンバリング	42
カリキュラム	45
国家試験受験資格の授業科目履修方法	51
卒業研究要綱	57
VI 作業療法学科	59
「作業療法士国家試験受験資格」について	59
カリキュラムマップ	61
ナンバリング	62
カリキュラム	65
国家試験受験資格の授業科目履修方法	71
卒業研究要綱	77
VII 臨床検査学科	79
「臨床検査技師国家試験受験資格」について	79
取得可能な認定資格について	81
カリキュラムマップ	82
ナンバリング	83
カリキュラム	86
国家試験受験資格の授業科目履修方法	94
臨地実習について	102
卒業研究要綱	104

VIII	看護学科	105
	「看護師国家試験受験資格」ならびに「保健師国家試験受験資格」について	105
	カリキュラムマップ	107
	ナンバリング	108
	カリキュラム	113
	国家試験受験資格の授業科目履修方法	119
	統合実習・アドバンス実習要綱	137
IX- i	証明書の発行	141
- ii	実習準備室の使用	142
- iii	授業以外での施設見学・訪問	143
- iv	卒業研究等用コピー機および印刷機の利用	145
X- i	履修規程	147
- ii	臨床実習・臨地実習履修規程	153

I 履修の基本事項

履修の基本事項

履修手続き

単位認定について

履修上の注意

学籍に関すること

I - i 履修の基本事項

1. 学修にあたって

1) 学籍番号

学籍番号は履修登録、試験および各種証明書の申請など、在学中のすべての手続きに使用します。
学生1人ひとりの固有の番号であり、この番号は卒業後も変わりません。

学籍番号はアルファベットと数字の組み合わせ（7桁）であらわしています。

(例) 22PT101

2	2	P	T	1	0	1
入学年度		学部・学科		クラス番号	個人番号	
(西暦の下2ケタの数字)		P T : 理学療法学科		1 : A組		
2 0 2 2 → 2 2		O T : 作業療法学科		2 : B組		
2 0 2 1 → 2 1		C M : 臨床検査学科				
2 0 2 0 → 2 0		N S : 看護学科				
2 0 1 9 → 1 9						

※ 2018年度以前の入学者についても同様の取り扱いとなります。

2) 教務グループの事務取り扱い時間

学修に関する各種提出書類や申込書類は、教務グループの窓口で取扱います。

ふじみ野キャンパス

平 日 9 : 0 0 ~ 1 8 : 1 0 (17:00~18:10は原則として授業開講がある日のみ)

土曜日 9 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0 (原則として授業開講がある日のみ)

※長期休業中の取り扱いについては、その都度掲示いたします。

本郷キャンパス

平 日 8 : 4 5 ~ 1 8 : 1 0 (17:00~18:10は原則として授業開講がある日のみ)

土曜日 8 : 4 5 ~ 1 3 : 0 0 (原則として授業開講がある日のみ)

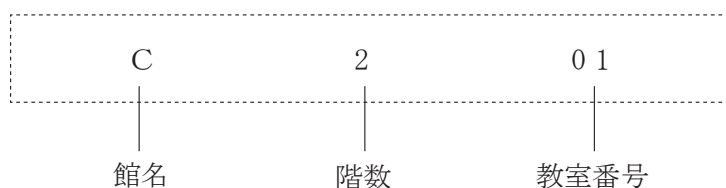
※長期休業中の取り扱いについては、その都度掲示いたします。

3) 時間割と教室番号

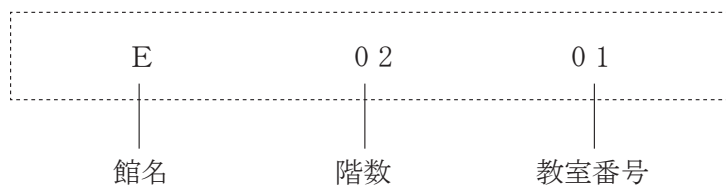
授業時間割は、履修ガイダンス時にその他の資料と一緒に配布します。時間割の変更、修正については、すべて所定の掲示板等（一部は電子掲示板、B's LINK）にて周知しますので見落としのないように注意してください。

教室番号は、アルファベットと数字で表記されています。自分の受ける授業がどの教室であるのかを確認しておいてください。教室の配置については、別冊の『キャンパスガイド』を参照してください。

(例1) C 2 0 1 教室 … C館(ふじみ野) 2階 01番教室



(例2) E 0 2 0 1 教室 … 東本館(本郷) 2階 01番教室



2. 授 業

保健医療技術学部 of 授業の多くは、前期・後期の2期に分けて実施します。科目には、前期または後期（ともに15週）のみで終了する半期科目と、前・後期（通算30週）にわたる通年科目があります。

授業は90分をもって1コマとし、次のように1日6時限に区切られています。

ふじみ野キャンパス・本郷キャンパス

時 限	授 業 時 間
1	9 : 10 ~ 10 : 40 (90 分)
2	10 : 50 ~ 12 : 20 (90 分)
昼 休 み	
3	13 : 10 ~ 14 : 40 (90 分)
4	14 : 50 ~ 16 : 20 (90 分)
5	16 : 30 ~ 18 : 00 (90 分)
6	18 : 10 ~ 19 : 40 (90 分)

3. 単位とは

大学における授業は、単位制によって行われ、それぞれの学部学科などにより、必要な科目や単位数が決められています。その単位の修得は、授業科目を履修し、試験等に合格することにより認定されます。そして、修得した単位が卒業要件単位数を満たすことにより卒業できることになります。

1) 単位制

本学における授業科目の履修については、「大学設置基準」に定められた単位制に基づいて行われます。単位制とは授業科目ごとに一定の基準で定められている単位を修得する制度です。

単位とは、学修時間を表す名称であって、個々の科目について所定の時間を履修し、試験その他の方法により合格と判定されたとき初めて修得できます。この単位の集積をもって卒業に必要な単位数を満たしていくことになります。単位を修得するためには、所定の時間の授業を受けなければなりません。講義科目の場合は授業時数の3分の1、演習・実習・実験科目の場合は5分の1を超えて欠席すると失格（成績評定を受ける資格を失う）となり単位を修得できません。万が一試験を受けても「失格」となります。

2) 単位数

「大学設置基準」では1単位の授業科目を45時間の学修時間を必要とする内容をもって構成することを標準としています。そして、その授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して定められています。本学における単位計算は以下の表を原則基準としています。

授業科目	単位	標準学修時間
講義科目	1	15 時間～ 30 時間
演習科目	1	15 時間～ 30 時間
実験・実習科目	1	30 時間～ 45 時間

本学では、通常1回の授業時間は1コマ（90分）で行われますが、これを2時間とみなして計算しています。また、通常1学期間に15週（15回）の授業を行うことになっています。

したがって、教室内の授業を受けただけでは定められた標準学修時間を満たすことができません。ゆえに、自主的な勉学でさらに授業の理解を深めることが必要になってきます。

4. 卒業単位数

保健医療技術学部を卒業する場合、修得単位合計が平成 26 ～ 29 年度の入学者は、理学療法学科、作業療法学科、看護学科は 125 単位以上、臨床検査学科は 126 単位以上であることが必要となります。平成 30 年度以降の入学者は、理学療法学科・作業療法学科は 125 単位以上、臨床検査学科・看護学科は 126 単位以上であることが必要となります。令和 4 年以降臨床検査学科は 128 単位以上が必要です。したがって卒業するためには、学科ごとに定められた必修科目に加えて、選択科目を履修し、最低限学科ごとに定められた卒業単位数を確実に修得する必要があります。

5. 資格取得に必要な単位数

前項の卒業単位数を満たした上で、それぞれの資格に定められた所定の科目を履修し、単位を修得して指定された手続きを完了すると、国家試験受験資格を取得することができます。学科により取得可能な資格が違います。

履修の仕方を間違えると、希望した資格や免許が取得できないケースが生じます。積極的にガイダンスに参加し、履修に関する疑問点を残さないように相談し、間違いのないよう心掛けてください。

6. 教員からの連絡事項・教員との相談

1) 教員からの連絡事項

原則として所定の掲示板（別冊のキャンパスガイドを参照）にて学生に伝えられますが、担当教員より授業中に伝達される場合があります。ご注意ください。

2) 教員との相談「オフィスアワー」

学生からの授業内容等に関する質問や勉強の方法、さらには就職や将来の進路について個人的な相談を受けるために、専任教員が研究室で待機する時間を設けています。

先生方は、学生の皆さんの様々な相談に応じ対処していただきますが、対処しきれない事柄については、他の専門の先生や、学内外の適切な関係者（組織）をご紹介くださるでしょう。

オフィスアワーを活用する際は、専任教員の研究室入り口に掲示してあるスケジュールに「オフィスアワー」と表示してある時間帯を確認し、気軽に研究室を訪問してください。

なお、非常勤講師の先生については、授業終了後に教室や、講師控室前にて、質問を受け付けています。

卒業までに必要な単位の修得については、シラバス（講義要綱）・授業時間割等をもとに履修計画を立てておく必要があります。これをもとに、各年次の所定の期間に履修登録の手続きを行わなければなりません。

履修登録とは、自分がこれから学修・研究する事項について大学に対して契約することを意味します。履修登録によって、はじめて学生と大学（教員）との間に『学修 $\longleftrightarrow$ 単位認定』という契約が成立し、その科目を履修することができます。このように履修登録は、もっとも大切な手続きです。

1. 履修登録手続き

保健医療技術学部授業の多くは、原則として前期・後期の2期に分けて実施します。

そのため、履修登録は各年度の前期開始時に前期科目と通年科目を、後期開始時に後期科目のみを申告登録します。履修登録を怠ると、たとえその科目を受講しても履修とは認められず、当然ながら単位は認定されません。

原則としていったん申告登録した履修科目の変更は認められませんので、十分に計画を立てた上で登録してください。

2. 本学部のカリキュラムと単位要件

保健医療技術学部のカリキュラムは、それぞれの学科別カリキュラム内で、卒業までに履修規程に従い、平成26～29年度の入学者は、理学療法学科、作業療法学科、看護学科は125単位以上、臨床検査学科は126単位以上、平成30年度以降の入学者は、理学療法学科・作業療法学科は125単位以上、臨床検査学科・看護学科は126単位以上、令和4年度以降の入学者は、理学療法学科・作業療法学科は125単位以上、看護学科は126単位以上、臨床検査学科は128単位以上を修得します。しかし、本学では学生の学修意欲や興味・関心に応えるために、他学科・他学部・他大学のカリキュラムの中から、学則の定めに従い所定の手続きを経て、4年間で30単位まで修得することができます。（但し、原則として他学科・他学部の演習・実験・実習・実技科目は履修できません。）

なお、所属している学科と同じ科目が他学科にある場合は、所属学科に開設された科目が優先され、他学科の科目は履修できません。

各学科の学生は、その自らの選択によりどのような科目をいつ取るのかを考え、自らが取るべき科目を過不足なく履修しなければなりません。

2022 (令和4) 年度以降の入学者

	理学療法学科		作業療法学科		臨床検査学科		看護学科	
卒業要件単位	125 単位以上		125 単位以上		128 単位以上		126 単位以上	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
	118 単位	7 単位以上	119 単位	6 単位以上	125 単位	3 単位以上	121 単位	5 単位以上

2020 (令和2) 年度以降の入学者

	理学療法学科		作業療法学科		臨床検査学科		看護学科	
卒業要件単位	125 単位以上		125 単位以上		126 単位以上		126 単位以上	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
	118 単位	7 単位以上	119 単位	6 単位以上	125 単位	1 単位以上	122 単位	4 単位以上

2018 (平成30) ~2019 (令和元) 年度の入学者

	理学療法学科		作業療法学科		臨床検査学科		看護学科	
卒業要件単位	125 単位以上		125 単位以上		126 単位以上		126 単位以上	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
	118 単位	7 単位以上	115 単位	10 単位以上	125 単位	1 単位以上	122 単位	4 単位以上

※作業療法学科は、国家試験受験資格につき専門分野「基礎作業療法学」から選択科目を2単位以上修得すること。

2014 (平成26) ~2017 (平成29) 年度の入学者

	理学療法学科		作業療法学科		臨床検査学科		看護学科	
卒業要件単位	125 単位以上		125 単位以上		126 単位以上		125 単位以上	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
	118 単位	7 単位以上	115 単位	10 単位以上	125 単位	1 単位以上	124 単位	1 単位以上

※作業療法学科は、国家試験受験資格につき専門分野「基礎作業療法学」から選択科目を2単位以上修得すること。

3. 履修登録上の注意事項

その年度に履修する授業科目については、必修科目・選択科目を問わず、履修申告登録を行わなければなりません。とくに、必修科目や国家試験受験修得に必要な授業科目が履修申告登録から漏れていないように注意してください。

- 1) 卒業のために必要な単位数は、必修科目をすべて履修することはもちろん、1単位でも不足すると卒業資格が与えられません。
- 2) 国家試験受験資格に必要な科目や単位数に関する規程は厳格に適用されますので、1科目、1単位の不足があっても資格は修得できません。
- 3) 履修登録をしていない授業科目は受講できません。たとえ受講し、試験を受けても単位は認定されません。
- 4) 履修できる授業科目は、原則として自分の所属学年および下の学年の配当科目です。
- 5) 履修科目の選択は4年間の履修計画にしたがって、各年次の履修を決定してください。
1年間での履修状況は翌年度以降の履修に大きな影響を及ぼしますので、慎重に決定するように心がけてください。
- 6) 一度単位を修得した科目は、再び履修することはできません。
- 7) 履修登録の追加・取消を完了（確定）した後での変更は、原則として認められません。
- 8) 履修登録変更期間を過ぎての履修申告は一切受理できません。最悪の場合はその年度について、1単位も修得することができなくなる場合がありますので十分に注意してください。
※自学科（承認印不要）と他学部他学科（承認印必要）まで対象。聴講は対象外となります。
- 9) 選択科目において、追加履修登録期間終了時点で履修者数が5名以下となった場合は、閉講となります。

4. 履修登録の手順

原則としてPC教室や自宅のコンピュータを用いて履修登録を行います。履修登録の操作方法については、ガイダンスの際に説明いたします。

履修登録の手順	手 順 概 要
履修ガイダンス ↓ 履修計画を立てる ↓	
授業開始 ↓	履修計画に沿って授業に出席してください。 履修登録の方法はガイダンスの際に説明いたします。
履修科目の決定 ↓ 履修登録(PC入力) ↓	履修登録締切日までにPC教室や自宅のコンピュータにて登録してください。 ①履修登録の内容は各自で控えを作っておいてください。 ②履修登録は、必ず本人が行ってください。代理人による登録は、認めません。 病気や怪我などによるやむを得ない事情によって定められた期日に登録できない場合は、あらかじめ保健医療技術学部教務グループに相談して指示を受けてください。 ③不合格になった授業科目を翌年度以降に再履修する場合は、その年度に改めて履修登録をしなければなりません。 ④その他、手続きに関して不明な点や疑問点が生じた場合は、履修登録する前にクラスアドバイザーまたは保健医療技術学部教務グループで相談してください。
履修登録変更期間 ↓ 他学科・他学部履修願の提出 ↓	追加履修登録がある場合には、期間内に追加登録してください。 「他学科・他学部履修願」は担当教員の許可が必要です。必ずしも許可されるわけではありません。用紙を保健医療技術学部教務グループで受取り、担当教員の承認印をいただいて追加履修登録期間最終日までに保健医療技術学部教務グループに提出してください。
履修登録取り消し受付期間 ↓	履修登録をした選択科目について取消期間を設けています。希望者は期間内に保健医療技術学部教務グループへ申請してください。 ↓ 保健医療技術学部教務グループにて変更作業後、 <u>履修登録完了(確定)</u>
時間割の確認 (出席科目の自己管理)	履修科目確定後の修正はできません。

5. キャップ制について

キャップ制とは、1年間で履修できる単位数に上限を設ける制度です。保健医療技術学部の上限単位は、登録ベース（取得単位ではありません）で49単位を上限として認められています。この単位を超えて履修登録することはできません。ただし、基礎分野の選択科目、G C I 科目はキャップ制の対象外となります。

※前学期までに履修した科目の平均がG P A 3.0以上の成績を修めた学生は当該学期の単位数上限以上の科目を登録し、履修できます。

I - iii 単位認定について

授業科目の評価は、試験により行います。試験には、定期試験、追試験、再試験があります。試験の方法は、筆記試験、口答試験、実技試験、レポート提出などがあり、併用して実施することがあります。講義要項（シラバス）および担当教員のガイダンスに従ってください。なお、学外での臨床実習、臨地実習の成績評価は別に定めているので、オリエンテーション等での担当教員の指示に従ってください。

1. 定期試験について

1) 受験資格について

- ①所定期間内に履修申告登録をしていない科目は受験できません。受験しても単位は認定されません。
- ②講義科目では授業時数の3分の1、演習・実習・実験科目では5分の1を超えて欠席した者は、受験資格がありません。受験資格を失わないよう、出欠の自己管理に努めてください。
- ③試験を受けても、学費未納または実技科目の実費未納の者には単位を認定しないことがあります。必ずその納入期日内に学費、実技科目実費を納入しているかどうか確認しておいてください。

2) 試験当日の注意

- ①受験者は、試験開始5分前に定められた試験場に入室してください。
- ②試験場においては、監督者の指示に従ってください。
- ③試験中は、必ず学生証の写真の部分を上にして、机上通路側に提示してください。
- ④学生証を忘れた場合は、保健医療技術学部教務グループで当日限り有効の入室許可証（1科目につき1枚必要）の発行を受け、学生証の代わりとしてください。
- ⑤試験開始時刻より20分までの遅刻は試験場への入室を許可しますが、それ以後の入室はできません。交通機関の遅延による遅刻についても同様の扱いになります。
- ⑥答案は、無解答でも、学科、学籍番号、氏名等の所定事項を記入し、必ず提出してください。提出しないと、再試験の資格を失います。
- ⑦不正行為または同行為とみなされるような行為のあった場合は、即時退場および受験停止が命ぜられ、その試験期間実施全履修科目の単位修得が無効となります。なお、事情によっては学則第53条の懲戒を受ける対象となります。

入 室 許 可 証			
保健医療技術学部		(理学療法 ・ 作業療法 ・ 臨床検査 ・ 看護) 学科	
学 年		学 籍 番 号	
氏 名			
科目名			
担 当	先 生		
上記の学生の入室を許可します。			
年 月 日			
(試験終了後、教務グループ・助手室にご返却ください。)			
		確 認 印	文京学院大学 教務グループ

3) 試験当日に欠席する場合

「試験欠席届」(様式第3号)

病気、忌引などの理由で試験を欠席する場合は、試験開始前までに試験の担当教員および保健医療技術学部教務グループに連絡してください。その後、該当試験実施日より7日以内に「試験欠席届」を保健医療技術学部教務グループに提出しなければなりません。その際、欠席理由を証明できる書類（病気や入院の場合は欠席期間を明記した診断書・事故証明書）、忌引の場合は日時明記の会葬礼状または死亡届を添付してください。

「試験欠席届」の用紙は、保健医療技術学部教務グループで受け取ってください。試験欠席届を提出しないと追・再試験の受験資格を失う場合があります。ご注意ください。

欠席 → 担当教員・教務グループ連絡 → 「試験欠席届」(様式第3号)を7日以内に提出

2. 追試験について

追試験とは、正当な理由で試験を受験できなかった者に対する試験です。

- 1) 追試験を受ける場合は、該当試験実施日より7日以内に「試験欠席届」に記入し、定期試験を受けられなかった理由を証明する書類を添えて、保健医療技術学部教務グループに提出しなければなりません。

①病気・怪我の場合；診断書（日時明記必須）等

②その他の場合；事故証明書（駅長、警察署）及び公欠が認められる場合に準ずる。

なお、本人の責任に帰すべきような事由（例えば、試験時間の見間違い、寝坊等）は、追試験の対象となりません。

- 2) 追試験受験者は、指定された追試験申込日に「追・再試験受験願（受験料納入書）」に記入し、保健医療技術学部教務グループに申し込まなければなりません。本人による申し込み、受け取りが原則です。
- 3) 追試験の結果、成績の取得上限成績評価はAA（GP 4.0）とします。
- 4) 追試験料は、無料です。

3. 再試験について

再試験とは、定期試験を受験の上、必修科目（および修得すべき選択科目）の試験結果が不合格の場合行う試験です。なお、レポート課題を定期試験として実施した場合には、レポート未提出は試験欠席したものとして取り扱います。

- 1) 再試験受験者は、指定された再試験申込日に「追・再試験受験願（受験料納入書）」に記入し、指定された受験料を納付の上、保健医療技術学部教務グループに申し込まなければなりません。なお、正当な理由なく定期試験を欠席の場合、原則試験実施日より7日以内に「試験欠席届」（様式第3号）を教務グループへ提出する手続きをし、学科長に事前に許可を取らなければ受験することができません。
- 2) 再試験の結果、合格した者の成績評価はC（GP 1.0）とします。
- 3) 再試験料は、1科目 800円です。

文京学院大学
保健医療技術学部

追・再試験 受験願（受験料納入書）

在校生用
教務課

※受験票は1科目毎に記載し申請すること

学 科		理学療法学科		作業療法学科		臨床検査学科		看護学科 ※いずれかに○印	
学年・組・番号		年 組		番 号		学籍番号			
フリガナ				種 別		追試験・再試験			
氏 名									

1	試験区分	①前期・②後期・③通年	※いずれかに○印
2	受験科目		
3	担当教員	先 生	
4	試験種別	①追試験・②再試験	※いずれかに○印
5	追試験受験理由	①病気・②事故・③忌引・④その他() ※いずれかに○印	
手 続 続 続		・証紙不要（無料） ・該当試験実施日より7日以内に「試験欠席届」と欠席理由を証明できる書類を添付。	

証紙貼付欄 800円（再試験）

「再試験 受験料」の1教科分金額（800円）の証紙（校内専用）を、この枠内に貼付すること。
※金額の過不足は、認めない。

----- 切り取り線 -----

受 験 票	学 科		理学療法学科		作業療法学科		臨床検査学科		看護学科 ※いずれかに○印		
	学年・組・番号		年 組		番 号		学籍番号				
	氏 名				種 別		追試験・再試験				
	区 分		受 験 科 目		担当教員		種 別		料 領 収 印		
		前 期									
		後 期									
		通 年									

文京学院大学
保健医療技術学部

※指定された受験料を納付の上、申し込みして下さい。

〈試験欠席の場合の取扱い〉

	追 試 験	再 試 験
受験願	要	要
受験料	無 料	800円 /1 科目
取得上限成績評価	A A (GP4.0)	C (GP1.0)
試験欠席届	要	要
添付書類（診断書等）	要	不 要 (学科長による事前許可)

※試験欠席届を提出しないと受験資格を失う場合があります。ご注意ください。

4. レポートについて

レポートは成績評価の一つの方法であり、筆記試験と同様に重要なものです。詳細については、その都度担当教員から説明されますが、特別に指示がない場合には、原則として以下の要領で作成し、必ず指定された期限内に提出しなければなりません。

- 1) レポートの作成は、担当教員に指定された用紙・様式に従ってください。原稿は、本文の他に必ず表紙をつけてください。表紙には、提出日、科目名、担当教員名、レポート名、学科、学籍番号、氏名を明記してください。また、必ずステープラー（ホッチキス）等で綴じてください。
- 2) レポートの提出は、担当教員の指示に従ってください。ただし、掲示により保健医療技術学部教務グループ窓口扱いの指示があった場合は、本人が提出してください。代理人による提出は、原則として認めません。
- 3) レポートの提出期限は厳守してください。期限に遅れたものは、いかなる理由があっても受理できませんので注意してください。また、郵送による提出は一切受け付けません（事前に指示があった場合を除く）。
- 4) レポート提出の不正行為については、提出されたレポートが他者のレポートの丸写しであった場合、貸した者、借りた者全員を失格とし、履修規程に基づき単位修得が無効となります。なお、事情によっては学則第 53 条の懲戒を受ける対象となります。

5. 成績評価について

成績は試験およびレポート等の成績などを総合して評価〔詳細はシラバス（講義要綱）参照〕され、合格点に達した科目について、それぞれ単位が与えられます。不明な点や疑問点は、初回の授業において担当教員に確認してください。

- 1) 保健医療技術学部の成績評価は、次の評点に基づき「秀（AA）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（F）」によって示されます。

評価	合 格				不合格
	秀 (AA)	優 (A)	良 (B)	可 (C)	不可 (F)
評点	100 ～ 90 点	89 ～ 80 点	79 ～ 70 点	69 ～ 60 点	59 ～ 0 点
G P	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

- 2) 成績評価欄の「認定」の表記は他の大学または短期大学において修得し、本学で単位を認定したものです。
- 3) 成績評価は、B's LINK にて発表します。
- 4) 成績に関する問い合わせをする場合は、「成績問合せ申請書」を記入し、成績公開後指定期間内に保健医療技術学部教務グループに提出していただきます。なお、問い合わせ期間は、掲示等でお知らせいたします。
- 5) 成績通知表は、年度末に保証人宛に郵送にて送付します。

6. GPA (グレード・ポイント・アベレージ) について

本学では、GPA (Grade Point Average = 成績加重平均値) を導入しています。このGPAは、学生が履修登録を行った卒業に関わる科目の成績をポイント化し、より適切な成績評価を行うものです。GPAでは、不合格科目等も全てポイントとして換算されます。また合格しても成績評価の低い科目が多くなると、全体のポイントの低下につながります。学生の皆さんは、安易な履修登録や受験放棄が自身の不利益となることを十分に自覚し、計画的な学習計画を立てるようにしてください。

1) 成績評価

学修の評価は、秀、優、良、可および不可とし、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とします。合格した場合は、その授業科目に所定の単位とグレードポイントを与えます。表示は文字 (AA=秀、A=優、B=良、C=可、P=合格、N=認定、F=不可、F-=試験欠席、F*=受験資格なし (1/3 を超えて欠席など)) になります。

2) 評価の基準

判定	成績表示	成績評価基準	G P	成績評価内容
合格	AA	90～100点	4.0	特に優れた成績
	A	80～89点	3.0	優れた成績
	B	70～79点	2.0	妥当と認められる成績
	C	60～69点	1.0	合格と認められる成績
	P	-	3.0	合格と認められる成績 (合格/不合格科目)
	N	-	-	合格と認められる成績 (編入時単位認定等)
不合格	F	59点以下	0.0	合格と認められる成績に達していない
	F-	試験欠席	0.0	試験等を欠席
	F*	失格	0.0	出席回数が基準を満たしていない

原則として、履修者に対する各評価の割合 (分布) は、下記の通りとなります。

AA (秀) 0～10%、A (優) 20±10%、B (良) 40±10%、C (可) 20±10%、
F (不可) 0～20%

ただし、原則としてAAとA合わせて30%を超えないものとします。

3) 対象科目

- ①卒業要件 (国家試験受験資格要件) に算入する全授業科目
- ②5段階評価の基準によって成績を認定する科目
- ③学生がその期に履修申告・登録した授業科目

4) 対象外科目

- ①選択科目 (選択必修科目は対象) ※2019年度入学生まで
- ②編入等に関する認定科目 (成績評価なし) 等
- ③教職科目等
- ④卒業要件単位外科目

5) 算出方法

GPAの算出は、「学期ごと」および「通算」で行います。

〔学期ごとのGPA算出方法〕

$$\frac{(\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

- ① GPAは小数第3位を四捨五入し、小数第2位までを表示します。
- ② GPA対象科目でF（不可）は分母に含みます。
- ③ 通年科目は後期に含めGPAを算出します。
- ④ F（不可）となった科目を再履修した場合は、再履修した当該の対象学期の対象科目に含め、GPAを算出します。
- ⑤ 前項の場合、F（不可）となった学期のGPAは変更しません。

〔通算のGPA算出方法〕

通算のGPA算出は、在学中に（評価がでた時点）履修申請・登録したすべてのGPA対象科目に基づき算出します。

$$\frac{(\text{在学中（評価がでた時点）に履修登録したGPA対象科目の最新GP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{(\text{在学中（評価がでた時点）に履修登録したGPA対象科目の単位数}) \text{の合計}}$$

- ① GPAは小数第3位を四捨五入し、小数第2位までを表示します。
- ② GPA対象科目でF（不可）は分母に含みます。
- ③ 通年科目は後期に含めGPAを算出します。
- ④ 再履修した場合は、1科目としてカウントします（ダブルカウントしません）。
- ⑤ 再履修した科目のGPAは、最新の評価に基づく値とします。

（GPA計算例）

科目名	単位	単位	ポイント数
大学学	1	A	$1 \times 3.0 = 3.0$
キャリア	2	AA	$2 \times 4.0 = 8.0$
文章作法	2	F	$2 \times 0.0 = 0.0$
情報処理	2	B	$2 \times 2.0 = 4.0$
英語	1	A	$1 \times 3.0 = 3.0$
	合計 8 単位		合計 18.0 ポイント

$$\text{GPA値} = 18 \div 8 \text{ 単位} = 2.25$$

6) 履修登録取り消し受付期間

履修登録後に取消期間を設定します。期間内に申請をして取消された科目はGPAには算入しません。ただし、期間内に取消しをせず、講義科目では授業時数の3分の1、演習・実習・実験科目では5分の1を超えて欠席した場合は「F＊」（失格）となります。

7) GPAの活用

GPAは成績関係の書類に明示するとともに、学修指導、キャップ制限（履修登録単位上限）の緩和、奨学金の選定基準等として活用します。なお、GPAが低い学生（特に1.0未満の学生）には、個別の学修指導を行います。

8) 1学年で取得できる単位の限度

- ・ 1学年で取得できる単位の限度は49単位を上限とする。
- ・ 前学期までに履修した科目の平均がGPA 3.0以上の成績を修めた学生は、当該学期の単位数上限以上の科目を登録し履修できる。

7. 「初年次アンケート」、「授業アンケート」等について

本学では、様々な機会を捉えてアンケート調査を実施しています。初年次においては「初年次アンケート」を、前期・後期の授業終了に合わせて実施される「授業アンケート」などがあります。目的は、在学生の学修意識と知識状況の把握、教育環境の向上のために毎年の授業を改善していくためのデータ回収を目指しています。アンケート回答方法はweb利用を原則としますが、郵送方法、対面式などの場合もあります。

アンケートの実施については、あらかじめB's LINKから告知します。見落としの無いよう、注意ください。

いずれのアンケートも無記名ですが、回答は本学学生である以上、「必須」と位置づけています。在学中複数回行われますが、必ず回答するよう注意ください。

8. 他学科・他学部・他大学で修得した単位の単位認定について

保健医療技術学部ではカリキュラムに掲載されている学科の授業科目以外で、30 単位を上限とし、本学他学科・他学部や他大学で修得した授業科目の単位も認定しています。

[評価方法]

	評 価 方 法
1) 他学部・他学科	AA、A、B、CおよびF
2) 彩の国大学コンソーシアム単位互換協定締結校との単位互換協定による履修	単位互換大学の合格により「認定」評価
3) 北星学園大学ならびに名桜大学との単位互換協定による履修	単位互換大学の合格により「認定」評価
4) 放送大学との単位互換協定による履修	本学の評価基準に照合して評価
5) T J U P 加盟校による単位互換事業	単位互換大学の合格により「認定」評価

注1 1) で修得した単位は成績通知表の「他学部他学科科目」に算入します。

注2 2) 3) 4) 5) で修得した単位は成績通知表の「他大学履修科目」に算入します。

注3 編入学した場合などのように、本学入学以前に他の大学・短期大学などで修得した単位は、教務委員会の審査を経たうえで、本学のカリキュラムの授業科目に読み替えて評価します。評価は「認定」という評価になります。

注4 4) 放送大学単位互換科目の履修可能期間は4年次前期までとなります。

注5 上記1) 2) 3) 4) 5) の総計は卒業までに30単位以内とします。

注6 1) ～5) 内全てキャップ制の適用を受けます。

1) 本学部他学科・他学部科目を履修する場合（学則第19条）

（1）本学部他学科科目を履修する場合

①承認を受けた科目のみ履修が可能です。

②担当教員が、受け入れる他学科学生について適正人数などを考慮し選考します。選考において、レポート等課題を出す場合があります。

（2）他学部科目を履修する場合

①承認を受けた科目のみ履修が可能です。

※必ず履修できるとは限りません。その学部の学生が優先されますので、他学部の学生が履修できない場合があります。履修方法については履修ガイダンス等でお知らせします。

※他学部履修の場合、他学部は、授業内試験ではありませんので、保健医療技術学部の試験日と重複した場合、原則他学部の試験は受けられません。そのことを十分承知の上で履修してください。

※他学部で行われている奨励金支給制度は適用されませんので、十分承知の上で履修してください。

2) 彩の国大学コンソーシアム単位互換協定締結校との単位互換協定による科目を履修する場合（学則第20条）

※履修できる学年、授業科目や開講場所については別途掲示します。

※詳細については、「他大学との単位互換協定に基づく他大学提供科目の履修案内」を参照。

3) 北星学園大学ならびに名桜大学との単位互換協定による科目を履修する場合（学則第 20 条）
＊履修できる学年、授業科目や開講場所については別途掲示します。

4) 放送大学との単位互換協定による科目を履修する場合（学則第 20 条）
＊詳細については、「他大学との単位互換協定に基づく他大学提供科目の履修案内」を参照。

5) T J U P 加盟校との単位互換協定による科目を履修する場合（学則第 20 条）
＊履修できる学年、授業科目や開講場所については別途掲示します。

9. 海外短期フィールドワークの単位認定（成績評価）について

保健医療技術学部では、経済と医療のグローバル化が進む現代社会において、自ら選択して行う海外短期フィールドワークを実施しています。現在、二つの海外短期フィールドワークプログラムがあります。ひとつは全学科対象の「カナダ・コース」であり、二つめは理学療法学科および作業療法学科を対象に実施される「マレーシア・コース」です。

「カナダ・コース」は、通常、8 月初旬より 3 週間にわたって実施されるプログラムで、カナダ・オンタリオ州 Brock 大学において、午前は英語の授業、午後は特別講義、一般総合病院検査室見学、模擬患者監視システム施設の見学、リハビリテーションセンター、ナイアガラの滝見学、トロント市内観光、ワイナリー見学等が行われ、ホームステイによる異文化交流も実施されます。「マレーシア・コース」は 3 月に 2 週間にわたって実施され、マレーシア国民大学附属病院での研修などを通じ、英語でのコミュニケーション能力の向上を目指すとともに、現地学生との異文化交流を図り、海外にも目を向けられる理学療法士および作業療法士の育成を目指します。

両コースとも実施前の事前学習、現地での研修および帰国してからのレポート提出や発表会での内容により成績評価が行われ、単位が付与されます。

（問い合わせ先：国際交流センターおよび担当教員）

I - iv 履修上の注意

1. 出・欠席について

- 1) 履修する授業は毎時間出席するのが原則です。病気その他の不可抗力による欠席も出席扱いにされることはありませんので、自己管理に留意してください。次のようなチェックシートを作成するなど各自で記録し、管理するようにしてください。事務窓口での出席状況に関する問い合わせ対応は行いません。

[記入例／出席：○、欠席：×、遅刻：△など]

科目名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
医学英語	○ 4/7	○ 4/14	× 4/21	○ 4/28	△ 5/12																									

- 2) 単位修得のためには、講義科目では授業回数の3分の2以上の出席が必要です。演習・実習・実験科目の場合は5分の4以上の出席が必要です。
- 3) 2)に関連して、講義科目では授業時数の3分の1、演習・実習・実験科目では5分の1を超えて欠席した場合は、成績評定を受ける資格を失い（失格）、定期試験および追・再試験を受けることができず、単位の修得もできません。
- 必修科目の場合は1単位でも未修得科目があれば翌年度に次学年に進級することができなくなり留年となりますので、欠席数には留意してください。
- 4) 遅刻とは、1～20分の遅れをいい、それ以降は欠席扱いとなります。また、遅刻3回で欠席1回の扱いとなります。公共の交通機関のトラブルによる遅延の場合、交通機関発行の「遅延証明書」を受け取り、欠席届と併せて授業の担当教員に提出してください。欠席に算入されるかどうかは担当教員の判断によります。
- 5) 出席に関する不正行為（他人に出席登録を依頼する、他人の出席登録を行う、出席登録をして退室する等）をした場合、当該科目の修得単位が無効となります。なお、事情によっては学則第53条の懲戒をうける対象となります。

2. IC学生証による出席管理システムについて

保健医療技術学部では、IC学生証を利用した出席管理システムを導入しています。使用にあたり、下記注意事項をよく確認するようにしてください。

1) 出席登録

担当教員より特別な指示がない限り、対象教室では毎回必ず受付時間内に出席の登録をするようにしてください。

2) 登録方法

学生証を教室の壁に設置しているカードリーダーにかざしてください（タッチしてください）。

3) 対象教室

カードリーダーが設置されている教室が対象となります。

4) 受付時間

授業開始前の10分間（休み時間内）に受付（出席登録）することができます。詳細は以下の通りです。2コマ連続の授業であっても、各時限毎（各時限の開始前）に受付して下さい。

時限	受付時間	遅刻扱い	欠席扱い（受付不可）
1	9：00～9：10	9：10～9：30	9：30～10：40
2	10：40～10：50	10：50～11：10	11：10～12：20
3	13：00～13：10	13：10～13：30	13：30～14：40
4	14：40～14：50	14：50～15：10	15：10～16：20
5	16：20～16：30	16：30～16：50	16：50～18：00
6	18：00～18：10	18：10～18：30	18：30～19：40

5) その他

- ① 担当教員より出席の取り方について指示があった場合は、そちらを優先してください。
- ② 学生証を忘れると出席登録できませんのでご注意ください。
- ③ 万が一学生証を忘れた場合は必ず授業開始前までに保健医療技術学部教務グループに申し出てください。
- ④ 学生証忘れて、授業開始前の10分間（休み時間内）までに申し出がない場合には、出席（または遅刻）として一切認められません。
- ⑤ 授業後にカードリーダーへかざす（タッチする）のを忘れたとの申し出があった場合も、出席（または遅刻）として一切認められません。
- ⑥ その他の注意事項については、ガイダンス等で説明いたします。

3. 休 講

担当教員がやむを得ない理由で休む場合は、所定の掲示板などに掲示するか、保健医療技術学部教務グループが直接口頭で教室にて連絡します。万が一連絡がなく、授業開始時間より30分を経過した場合は、保健医療技術学部教務グループで指示を受けてください。気象状況、その他の災害発生による休講の場合、本学ホームページ、緊急時学内連絡システムなどを通じて連絡を行います。なお、災害時の避難、緊急時学内連絡システムについては、別冊のキャンパスガイドを参照してください。

〈ふじみ野キャンパスの場合〉

1) 気象状況による休講措置

気象状況により、通学等に危険が予想される場合の取り扱いは以下のとおりとします。

- ① 午前7時の時点で、埼玉県地方（南部・北部）に「特別警報」「大雨警報」「洪水警報」「大雪警報」「暴風警報」「暴風雪警報」が発令されているときは、1、2時限を休講とします。
- ② 午前9時の時点で、前項の警報が解除されないときは、全授業を休講とします。

※上記以外の自然災害、その他の事由で、交通機関の運行の停止の有無にかかわらず、学生の通学上、安全が確保できないと想定されるような事態が発生した場合あるいは予想される場合は、授業を休講とすることがあります。学生へは、本学ホームページ、緊急時学内連絡システムなどを通じて連絡を行います。

2) 交通機関のストライキに伴う休講措置

東武東上線がストライキを行う場合（ＪＲ山手線は対象外）

- ① 午前６時３０分の時点で運行が開始されない時は、１、２時限を休講とします。
- ② 午前９時の時点で運行が開始されない時は、全授業を休講とします。

〈本郷キャンパスの場合〉

- ① 午前７時の時点で、首都圏及び近郊のＪＲ線、大手私鉄各線、地下鉄各線のいずれか１社でもストライキが報道された場合は、１、２時限を休講とします。午前９時の時点で、運行が開始されない時は、全授業を休講とします。
- ② 午前７時の時点で、東京地方の２３区東部・２３区西部・多摩北部のうち、いずれか全域に「大雨警報」「洪水警報」「大雪警報」「暴風警報」「暴風雪警報」または同種の特別警報が発令されているときは、１、２時限を休講とします。午前９時の時点で解除されないときは、全授業を休講とします。ただし、大学院の７、８限については午後４時の時点で各研究科が判断します。

4. 補 講

休講などがあった授業科目は、補講を行うことが原則となっています。日時については掲示板に掲示しますので注意してください。

5. 出欠席に関する届出について

1) 通常の授業を欠席する場合

「欠席届」（様式第１号）

病気やその他やむを得ない理由により授業を欠席する場合は、事前または事後に授業の担当教員にその旨を連絡してください。その後速やかに「欠席届」に必要事項を記入し、欠席した全授業の担当教員に届を提出してください。「欠席届」が未提出の場合は、無断欠席として扱われるので注意してください。

2) 長期間欠席（２週間以上３ヶ月未満）する場合

「長期欠席届」（様式第２号）

２週間以上欠席する場合は、事前または事後にクラスアドバイザー又は卒業研究担当教員および保健医療技術学部教務グループにその旨を連絡してください。その後速やかに「長期欠席届」の用紙を保健医療技術学部教務グループで受取り、必要事項を記入し、〔診断書〕がある場合は添付して保健医療技術学部教務グループに提出してください。

3) 公欠の届出について (公欠願)

「公欠願」(様式第4号/様式第11号)

公欠願及び欠席届に証明書類等を添付して保健医療技術学部教務グループへ届け出て、認められた場合、授業の出・欠席のいずれにも算入されなくなります。欠席届は保健医療技術学部教務グループで確認印を受けた後、各授業担当教員に提出してください。

[公欠が認められる場合]

- ① 本人又は親族が結婚する場合。(日時明記の案内状等添付) ※1
- ② 忌引(日時明記の会葬礼状または死亡届を添付) ※2
- ③ 大学が派遣する研修会・進路相談会(日時明記の案内文等添付)
- ④ 学校保健安全法に定められている感染症に感染した場合。 ※3

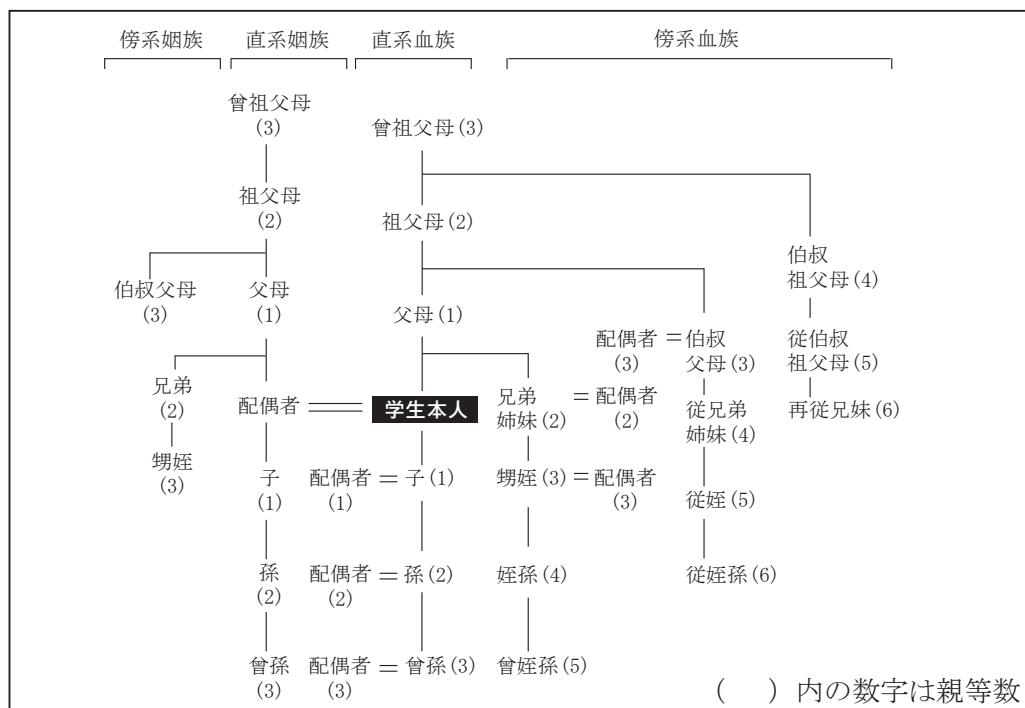
※公欠願と併せて大学が指定する『「学校において予防すべき感染症」罹患証明書』(様式第13号/保健医療技術学部教務グループに設置)を保健医療技術学部教務グループへ提出すること。(診断書が添付されていたとしても出席停止期間が明記されていない場合には、公欠は認められません)

- ⑤ 実習期間・オリエンテーションが授業と重なった場合(事前の連絡が必要)。
- ⑥ 就職試験(筆記試験、面接試験、就職試験を受験する際に参加必須となる就職説明会)
公欠理由を証明する書類の添付または就職試験証明を必要とする。なお、就職試験証明の場合には、就職試験先の『機関印』または『機関名のゴム印(記名可・担当者直筆) + 人事担当者印(記名可・担当者直筆)』が必要。就職試験に該当しない内定式への参加等は公欠として認められません。
- ⑦ クラブ等の学外活動で学生委員会の推薦があり、教務委員会が認定した場合。
学生委員会が推薦する場合の推薦基準は、連盟主催等の公式な大会への出場、また、意義ある活動と学生部長が認めた場合で、かつ通年科目は2回、半期科目は1回を限度とする。但し、当該日より前に、顧問・部長の承認を得た後、学生支援グループに届け出なければならない。
- ⑧ 大学院入試(受験票添付)
- ⑨ その他、教務委員会が認定した場合。

※公共交通機関の遅延、運休の際の欠席は公欠とは認められません。

※1 慶事での公欠

学生およびその親族（4親等以内）が結婚する場合の公欠日数は、「1日」とする。なお、参考として、以下に民法上の親族である「6親等内の血族、配偶者、3親等内の姻族」をあらわした親族図を掲載する。



※2 弔事での公欠

弔事で公欠となる日数は、以下の通り。

親族	1 親等		2 親等		3 親等			4 親等
	親	子ども	兄弟姉妹	祖父母	おじ・おば	甥・姪	曾祖父母	いとこ・甥の子・姪の子
日数	7 日間まで		3 日間まで		3 日間まで			1 日間まで

* 配偶者が死亡した場合は、7日間までを認める。

* 目的地往復に要する日数を加算することができる。

※3 学校保健安全法施行規則（第三章 第十八条）に定められている感染症

第一種の感染症
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九条第二号イにおいて同じ。）、新型コロナウイルス感染症
第二種の感染症
インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
第三種の感染症
コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、溶連菌、その他の感染症

6. 実習科目履修における注意事項

実習科目は講義・演習科目とは異なり、履修するために満たしておかなければならない条件（実習の要件）があります。第一に、実習科目ごとに履修済み、または単位修得済みの授業科目が設定されていることです。「臨床実習・臨地実習規程」に詳細が記載されていますので、確認してください。第二に、実習生の健康管理です。院内感染防止のため実習施設の多くは、「実習生として受け入れるための条件」等が設定されています。健康診断や抗体価検査を必ず受けてください。結果によって、受診やワクチンの接種が必要になることがあります。各学科の教員の指導、実習要項等を確認し、早期に対応しましょう。

7. 学生への伝達方法

1) 「掲示」の役割

大学からの学生に対する伝達は、所定の掲示板によって行われます。これは定期試験の日程等、重要な事項についても同様ですので、各自が日々掲示内容の確認を励行することが望まれます。大学の登・下校時には、必ず掲示板で連絡事項を確認してください。いったん掲示した事項については、学生の皆さんに周知したものととして取扱います。掲示板の場所は、別冊の「キャンパスガイド」を参照してください。

- ① 掲示の見落としや確認不足のために生じる事態は、すべて学生自身の責任です。あとで不利益や不都合が生じないためにも掲示板を確認する習慣をつけてください。
- ② いったん掲示した事項については、学生全員に伝達されたものと見なします。なお、掲示内容の疑問点については、保健医療技術学部教務グループ窓口で照会してください。
- ③ 学生による故意の掲示用紙破損等は、学生全体に不利益をもたらします。厳に慎んでください。

2) 電話による照会について

授業・試験・成績などについての電話による問い合わせは、重大な行き違いが生じることがありますので原則として受け付けません。掲示内容を確認したのち、不明な点については保健医療技術学部教務グループ窓口で問い合わせてください。

3) B' s LINKによる伝達

B' s LINKは、PC、スマートフォン及びほとんどの携帯電話会社のインターネット接続サービスに対応して、学生情報・及び授業サービスを提供するシステムです。

本学の学生に対し、「緊急重要情報」、「休講情報（学部・学科として全体の情報）」、「補講情報（学部・学科として全体の情報）」、「学生呼出（学部・学科または学生を特定した）」、「教室変更情報」、「お知らせ（学部・学科として全体の情報）」の情報を提供します。

※なお、通信料は、利用者本人負担となります。

I - v 学籍に関すること

1. 学籍の異動

編入学、転入学、再入学、転学、および転学部

1) 下記に該当する者は、選考のうえ相当年次に編入学を許可することがあります。

- ①大学を卒業した者または2年以上修了した者
- ②短期大学を卒業した者または高等専門学校を卒業した者
- ③学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第92条の3に規定する者
- ④学校教育法施行規則（平成10年文部省令第33号）第77条の8第2項に規定する者

2) 大学卒業者、または他の大学から転入学を希望する者は、告示された期日までに「転入学願」を提出し、転入学試験を受験する許可を得なければなりません。

3) 休学の理由が消滅し、復学を願い出た時は、許可されることがあります。また、病気その他、やむを得ない理由で退学した者が、再入学を志願するときは、相当年次に再入学を許可されることがあります。学則第41条により除籍された者が再入学を志願するときは、相当年次に再入学を許可する場合があります。なお、再入学の時期は、学年の始めになります。

4) 他大学の編入学試験の受験を希望する者は、予め「転学願」を提出し、許可を得なければなりません。なお「転学願」を提出しない場合は、成績証明書を交付しません。

5) 他学部への編入学試験（二年次編入、三年次編入）の受験を希望する者は、予め「転学部願」を提出し、許可を得なければなりません。なお、「転学部願」を提出しない場合は、成績証明書を交付しません。

転学部については、「転学部規程」に定められた通りとします。必ず、クラスアドバイザーと相談の上、保健医療技術学部教務グループにおいて、手続きが必要となります。詳細は教務グループにお問い合わせください。

休 学

1) 学則第37条に基づき、病気その他、やむを得ない理由により休学を希望するときは、保証人連署の上、「休学願」を提出し、許可を得なければなりません。

2) 休学期間中は、所定の学納金を、前・後期それぞれの学納金納付期日までに納入してください。但し、前期・後期の開始前に休学願が許可され、前期の全期間、後期の全期間休学する場合は、授業料・学外研修費および実験実習費は免除されます。また、期の途中、前期においては6月30日（休日の場合はその前日）、後期においては12月27日（休日の場合はその前日）までに休学願が許可され、期の途中から休学する場合は、その学期について納入すべき授業料および実験実習費の2分の1が減額されます。なお、前・後期それぞれの学納金納付期日までに学納金納入がない場合には、休学の申請は出来ません。

- 3) 休学した場合、最短履修期間である4年間の在学期間に達しませんので、その休学期間分卒業が延びることになります。
- 4) 休学期間中の満了等の理由により、復学を希望する者は、保証人連署の上、「復学願」を提出し、許可を得なければなりません。
- 5) 復学の時期は、原則として各学期の始め（4月または10月）になります。
- 6) 休学したその期（前期・後期）の単位は付与されません。

退 学

- 1) 病気その他、やむを得ない理由により就学できないときは、保証人連署の上、「退学願」を提出し、許可を得なければなりません。
- 2) 大学は、学則第53条により、懲戒処分として、退学させることがあります。

除 籍

除籍とは、大学における学生としての籍を抹消されることをいい、次に該当する学生を学長が除籍することがあります。

- 1) 学則第41条の各項に該当する者は、除籍されます。
 - ①学則第11条第2項に定める在学年限（8年）を越えた者。
 - ②授業料等の納付を怠り、催促してもなお納付しない者。
 - ③学則第37条第3項に定める休学期間を越えても、なお修学できない者。
 - ④長期間にわたり行方不明の者。

復 籍

- 1) 学則第41条の第1号の復籍は認められません。

留 年

- 1) 保健医療技術学部履修規程により、追・再試験の結果発表時点で、必修科目において不合格科目がある者は、翌年度、次学年に進級することができません。
- 2) 留年生の学納金納付は、「保健医療技術学部留年生の学納金納付及び徴収に関する内規」のとおりとします。総務グループにお問い合わせください。

そ の 他

- 1) 退学時には、学生証・通学証明書、借用図書がある時は、その返却を、未納の費用がある時は、その納入を、未提出の書類がある時は、その提出をしなければなりません。
- 2) 学費・諸費は、退学を願い出た期の分までを納入しなければなりません。

2. 学籍に関する提出願

長期の欠席や休学または退学をしなければならない場合は、必ずクラスアドバイザー又は卒業研究担当教員に相談してください。提出に必要な様式については、各種提出願様式一覧を参照してください。

1) 休学「休学願」(様式第5号)

事故・病気など、やむを得ない事情で長期間（3か月以上）就学できない場合は、学長の許可を得て休学することができます。その場合は、クラスアドバイザーまたは卒業研究担当教員と十分に相談してください。休学する場合は、クラスアドバイザーまたは卒業研究担当教員の承認を得たうえで本学所定の「休学願」に必要事項を記入し、学生本人および保護者または保証人が署名・捺印したうえ、保健医療技術学部教務グループに願を提出してください。病気で休学する場合は、必ず「診断書」を添付してください。

教授会の承認を得たあと、保健医療技術学部教務グループより学生本人に許可書を送付します。許可書を受け取ったら、記載内容を必ず確認してください。

休学期間は1年以内とし、特別な事由がある場合には、さらに1年以内の休学を許可することがあります。ただし、4年を越えて休学することはできません。

休学を許可された学生の休学期間中の授業料、学外研修費および実験実習費は免除されます。但し、所定の学納金は納入しなければなりません。また、休学期間は在学期間に算入しません。

2) 復学「復学願」(様式第6号)

休学中に、その理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができます。復学する場合は、本学所定の「復学願」に必要事項を記入し、学生本人および保護者または保証人が署名・捺印したうえ、保健医療技術学部教務グループに願を提出してください。教授会の承認を得たあと、保健医療技術学部教務グループより学生本人に許可書を送付します。許可書を受け取ったら、記載内容を必ず確認してください。復学の時期は、原則として各学期の始め（4月または10月）となります。

3) 退学「退学願」(様式第7号)

病気その他でやむを得ず大学をやめなければならなくなった場合は、学長の許可を得て退学することができます。その場合は、クラスアドバイザーまたは卒業研究担当教員と十分に相談してください。退学する場合は、クラスアドバイザーまたは卒業研究担当教員の承認を得たうえで本学所定の「退学願」に必要事項を記入し、学生本人および保護者または保証人が署名・捺印したうえ、保健医療技術学部教務グループに願を提出してください。教授会の承認を得たあと、保健医療技術学部教務グループより学生本人に許可書を送付します。許可書を受け取ったら、記載内容を必ず確認してください。

3. 学籍原簿

学籍原簿（個人カード）は、学籍および学生本人に関する重要事項を記録し、卒業後も保存されます。在学中に学籍原簿記載事項に変更があった場合は、必ず保健医療技術学部教務グループまで申し出てください。

4. 学生の氏名（旧姓）表記の取り扱いについて

各種文書に記載する学生の氏名については、次のとおり取り扱うものとします。

- 1) 学生の氏名表記は、学籍原簿に記載された氏名により表記することとし、学籍原簿の氏名は戸籍上の氏名を用いることを原則とします。
- 2) 在学中に婚姻、養子縁組などで戸籍上の姓を変更した場合（入学願書に記載された氏名が入学前までに変更された場合を含む。）は、本学所定の「氏名変更届」に必要事項を記入し、保健医療技術学部教務グループに提出してください。学籍簿記載の姓を戸籍簿変更後の姓（新姓）ではなく、戸籍簿変更前の姓（旧姓）を使用したい場合には別途、本学所定の「旧姓使用届」に必要事項を記入し、保健医療技術学部教務グループに提出してください。なお、本学入学以前に旧姓を有している学生から旧姓使用の「旧姓使用届」があった場合も、同様に取り扱うものとします。

住所などの連絡先は万が一の事故、大学の事務連絡等に使用されます。変更した連絡先が届けられていないと重要な連絡が伝わらなくなるので、変更が生じた場合は必ず総務グループに「住所変更届」（様式第9号）を届け出てください。

Ⅱ 科 目

ストレス耐性科目

大学特別科目

副専攻制度

キャリア教育科目

Ⅱ- i ストレス耐性科目

本学は、創立 100 周年（2024 年）を念頭に置き、大学の目指す姿として「B's Vision 2024」において 4 つのビジョンを掲げています。その 1 つとして「ストレス耐性を持った人材の育成」があります。保健医療技術学部では、ストレスおよびストレスマネジメントに関する知識とスキルについて、以下のように設定しています。

理学療法学科

- [1 年生] 人間関係論
- [3 年生] 理学療法管理学Ⅰ
- [4 年生] 理学療法管理学Ⅱ

作業療法学科

- [3 年生] 作業療法総論
- [3 年生] 精神障害作業療法学演習Ⅰ

臨床検査学科

- [3 年生] 臨地実習
- [4 年生] 総合臨床検査学Ⅱ（平成 29 年度以前の入学者は「臨床検査総合演習Ⅱ」）

看護学科

- [2 年生] 基礎看護学実習Ⅲ
- [4 年生] 統合実習

II - ii 大学特別科目

本学では、本学の教育の基盤となるべき知識・技能及び教養を身につけるとともに、これからの時代にリーダーシップが発揮できる人材の育成を目指していくべく、以下の大学特別科目を設置しました。担当する教員は、大学の教授・専任教員のほか、産業界や民間研究所、公共団体の専門家なども招いて行なっていきます。大学特別科目では、柔軟な学問的視野と広い社会的視野、そしてそこから生まれる自由な発想と姿勢を培うことを目標としています。

- 1) 「人間共生論」(2 単位) 必修
- 2) 「新・文明の旅特講 a」(2 単位) 選択
「新・文明の旅特講 b」(2 単位) 選択
「新・文明の旅総合講義」(2 単位) 選択
- 3) 「地球環境論 I」(2 単位) 選択
「地球環境論 II」(2 単位) 選択

Ⅱ-Ⅲ 副専攻制度

本学では、複眼的な思考力を持った「問題発見・解決型の人材」を育成することを目的として副専攻制度を導入しています。これは、各自が所属する学科の自身の専門の他に、もう1つの特定の学科やテーマに関連した科目群を体系的に履修する制度です。また、本学の副専攻制度は、複数の副専攻の科目を少しずつ幅広く受講することも、逆に興味を持った特定の副専攻の科目を集中的に学ぶことも可能です。

1) 人間環境学（副専攻）：選択12単位または6科目

人間学、心理学、社会学、福祉学、環境学、国際関係、理化学、保健の分野を体系的に学ぶことによって、「人間環境学」の副専攻となります。

地域社会学（2単位）1年次	[コミュニケーション社会学科で開講]
教育原理（2単位）2年次	[児童発達学科で開講]
現代社会と福祉Ⅰ（2単位）2年次	[人間福祉学科で開講]
現代社会と福祉Ⅱ（2単位）2年次	[人間福祉学科で開講]
環境とデザインの心理学（2単位）3年次	[心理学科で開講]
ヒューマンバイオロジー（2単位）1年次	[理学療法学科で開講]
物理学（1単位）1年次	[作業療法学科で開講]
リハビリテーション概論（1単位）1年次	[理学療法学科・作業療法学科で開講]
生化学Ⅰ（1単位）1年次	[臨床検査学科で開講]
生化学Ⅱ（1単位）2年次	[臨床検査学科で開講]
生化学（2単位）1年次	[看護学科で開講]
人間の発達と健康Ⅰ（2単位）1年次	[看護学科で開講]

※他の学部の履修者は担当教員・開講コマを指定します。

※自学科については最大2科目まで有効とする。

国際学(副専攻)：選択12単位

外国語学部（本郷キャンパス）で開講する科目の履修が必要となります。詳細は保健医療技術学部教務グループにお問い合わせください。

コンテンツビジネス学(副専攻)：選択12単位

経営学部（本郷キャンパス）で開講する科目の履修が必要となります。詳細は保健医療技術学部教務グループにお問い合わせください。

2) 履修時期

2年次から副専攻をエントリーできます。副専攻のエントリーを行なわないで履修しても資格は認定されません。

3) 履修基準

1年次の GPA2.5 以上の学生が2年次に副専攻をエントリーできます。3年次に初めてエントリーする場合には、2年次までの成績が GPA2.5 以上でなければなりません。4年次に初めてエントリーする場合には、3年次までの成績が GPA2.5 以上でなければなりません。

4) 実施時期

すでに履修した科目が対象科目である場合には、エントリー後に追認されます。

5) 履修定員

各学部・学科では適正なクラス授業を確保するため、履修人数の制限を置いている場合があります。副専攻履修者といえども優先して受講することはできません。受講に抽選などがある場合もあります。

6) 履修単位数の制限

「学則第 19 条で、学生が相互に他の学部において履修した授業科目について修得した単位を、学則第 20 条、第 21 条、第 22 条で修得する単位と合わせて 30 単位を超えない範囲で、当該学部・学科における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる」と規定しています。副専攻によって履修する単位数は、この規程に基づくものとして行なわれるので、この単位の中に含まれます。

Ⅱ-iv キャリア教育科目

保健医療技術学部では、生涯を通じた持続的な就業力の育成を目指し、教育課程の内外を通じて社会的・職業的自立に向けた指導等に取り組むべく、以下のキャリア教育科目を設定しました。

理学療法学科

- [1 年生] 理学療法学概論演習
- [2 年生] 見学実習（総合評価学実習Ⅰ）
- [3 年生] 評価実習（総合評価学実習Ⅱ）
- [4 年生] 総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ、理学療法管理学

作業療法学科

- [1 年生] 作業療法概論
- [2 年生] 臨床基礎実習Ⅰ
- [3 年生] 臨床基礎実習Ⅱ
- [4 年生] 総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ、管理運営学

臨床検査学科

- [1 年生] 臨床検査概論、検査機器総論（含む実習）
- [2 年生] 一般検査学実習、病理検査学実習、臨床化学検査学実習、遺伝子検査学実習
- [3 年生] 生理・画像検査学実習Ⅱ、微生物学検査学実習Ⅱ、血液検査学実習Ⅱ、免疫検査学実習、臨地実習
- [4 年生] 卒業研究、総合臨床検査学Ⅰ・Ⅱ（平成 29 年度以前の入学者は「臨床検査総合演習Ⅰ・Ⅱ」）

看護学科

- [1 年生] 看護学概論、アセスメントと看護技術Ⅰ、アセスメントと看護技術Ⅱ
- [2 年生] 看護倫理学、アセスメントと看護技術Ⅲ、基礎看護学実習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅲ
- [3 年生] 成人看護学実習（急性期）、成人看護学実習（慢性期）、母性看護学実習、小児看護学実習、精神看護学実習
- [4 年生] チーム医療論Ⅰ、老年看護学実習、外来看護実習、総合実習

Ⅲ 放送大学履修案内

履修案内

履修出願手続き

Ⅲ 放送大学 科目の履修案内

保健医療技術学部では、放送大学と単位互換協定を結んでおり、それに基づいて約 300 の放送大学科目の履修と単位の修得を、放送大学の特別聴講学生として授業を受けることができます。履修単位は、学則第 20 条に定める他大学等授業科目として、30 単位を超えない範囲で卒業単位に含めることができます。

放送大学は、現在の生涯教育・学習の時代に即応して、テレビ・ラジオの専用の放送局を開設し、放送等を効果的に活用した新しい教育システムの大学教育を推進することにより、レベルの高い教育・学習の機会を提供するとともに、大学教育のための放送の普及発達を図ることを目的として、昭和 56 年に千葉市内の幕張地区に設立されました。

放送大学科目は、本学部の通常の開講科目とは、その履修や単位修得の方法が異なっているので、注意が必要です。以下に、その履修方法と履修手続について概略を示します。

1. 履修案内

- 1) 放送大学科目の履修と単位の修得には、テレビ、ラジオ、インターネットによる放送授業の視聴、送付された印刷教材による学習、通信指導（レポート）の提出、単位認定試験の合格が必要です。
- 2) 放送授業は、各学期 15 週にわたって、2 単位科目は 15 回（週 1 回、1 回 45 分）、あらかじめ定められた放送時間に行われます。ただし、この授業は、放送大学各学習センターに備えられた、CD や DVD で随時視聴することができます。
- 3) 通信指導は、各学期の途中に 1 回、一定の課題についての解答の提出が所定の期限までに求められ、採点・評価が行われます。この通信指導が不合格または未提出の場合には、単位認定試験の受験資格を失うことになります。
- 4) 各学期 15 週の放送授業終了後、第 1 学期については 7 月下旬、第 2 学期については 1 月下旬の、あらかじめ定められた日時に、放送大学学習センターで、単位認定試験が行われます。
- 5) 上記の通信指導と単位認定試験の結果、不合格と認定された科目については、当該学生が本学在学中に限り、所定の期限までの再試験申請票の提出に基づいて、次の学期に通信指導の再提出と単位認定試験の再試験がそれぞれ各 1 回ずつ認められます。
- 6) 上記の再試験以外に、放送大学科目の追試験と再試験は行われません。
- 7) なお、放送大学特別聴講生は、放送大学学習センターでの放送授業の再視聴、放送大学図書館の利用等、履修上必要な放送大学の施設・設備を利用できます。

2. 履修出願手続

- 1) 放送大学の特別聴講学生を希望する学生は、第1学期(4月～9月)については前年度の1月中旬、第2学期(10月～3月)については当該年度7月上旬の所定の期限までに出願票と所定の書類を保健医療技術学部教務グループに提出してください。
- 2) 履修対象学年 1～3年生
- 3) 履修可能科目 放送大学で開講している全科目(約300科目)です。ただし、試験時間割を見て、同一時間帯の科目の中から2科目以上は履修できません。また、本学の各学部の試験期間も確認してください。
- 4) 取得可能単位数 取得可能単位数は学則にしたがって、30単位以内とします。
- 5) 授 業 形 態 入学後印刷教材が送付され、その教材(テキスト)をもとにテレビ、ラジオ、インターネットによる放送授業を視聴します。学期の途中で1回通信指導が行われ、前期(7月下旬)、後期(1月下旬)に単位認定試験が実施されます。再試験は次年度に1回受験できます。都合により放送を視聴できなかった場合は、埼玉は埼玉学習センター(さいたま市大宮区錦町)、東京は東京文京学習センター等に備えられたCDやDVDで再視聴することができます。
- 6) 単 位 認 定 単位認定試験に合格すると本学の卒業単位として認められます。成績通知は前期(9月中旬)、後期(3月中旬)です。
- 7) 履 修 方 法 履修希望者は「特別聴講学生出願票」に「記入例」を参考に必要事項を記入してください。授業料は1単位につき5,500円(テキスト代500円含む)です。「証明書発行願(納入書)」の「証紙貼付欄」に該当金額分の証紙を貼付し、「8. その他」の欄に「特別聴講授業料」と記入して保健医療技術学部教務グループへ提出してください。単位互換協定により「入学料」は免除されます。
- 8) 奨 学 金 制 度 授業を履修し単位を修得した場合、1単位につき5,000円の奨学金を支給します(条件あり)。

埼玉学習センターの連絡先

住所：さいたま市大宮区錦町 682-2

（ＪＲ大宮駅西口より徒歩５分、大宮情報文化センター内）

TEL:048-650-2611

東京文京学習センターの連絡先

住所：文京区大塚 3-29-1

（東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅出口１より徒歩５分）

TEL:03-5395-8688

※詳細な地図については、放送大学のホームページをご参照ください。

※その他の学習センター・サテライトスペースについては、保健医療技術学部教務グループにお問い合わせください。

IV 各種提出願い様式一覧

欠席届

長期欠席届

試験欠席届

公欠願

「学校において予防すべき感染症」罹患証明書

2021.12.15 改訂

保健医療技術学部教務グループ様式 第1号

欠席…病気・事故・その他
公欠…病気（法定感染症）
忌引・結婚（本人・親族）
就職試験

年 月 日 届出

学 科	学科
学年・組	年 組
学籍番号	
ふりがな	
氏 名	

先生

欠 席 届

私は、下記理由により 欠 席 いたしたく（いたしましたので）、お届けいたします。

記

科 目 名			
欠席期間 (欠席回数)	年 月 日 曜日 ～ 年 月 日 曜日 (回)		
理 由		公欠承認印	

※ 「欠席届」は、各科目担当教員に直接提出すること。
※ 長期欠席（2週間以上）及び公欠（忌引等）の場合は、この欠席届の他に「長期欠席届」または「公欠届」を保健医療技術学部教務グループまで提出すること。

先生方へ…「公欠」の場合（公欠承認印がある場合）、出席・欠席のいずれにも算入されませんのでご注意ください。

2021.12.20 改訂

保健医療技術学部教務グループ様式 第2号

欠席…病気・事故・その他
公欠…病気（法定感染症）

年 月 日 届出

学 科	学科
学年・組	年 組
学籍番号	
ふりがな	
氏 名	

保健医療技術学部教務グループ 御中

長 期 欠 席 届

私は、下記理由により 長期欠席 いたしたく（いたしましたので）、お届けいたします。

記

指導教員 (印字) (ペネ)			
欠席期間	年 月 日 曜日 ～ 年 月 日 曜日		
理 由			

※ 長期欠席（2週間以上）の場合にのみ、保健医療技術学部教務グループに1部提出のこと。
※ 病気による欠席の場合には、診断書の添付を必要とする。

教務グループ受付印

2021.12.15 改訂

保健医療技術学部教務グループ様式 第3号

欠席…病気・事故・その他
公欠…病気（法定感染症）
忌引・結婚（本人・親族）
就職試験

年 月 日 届出

学 科	学科
学年・組	年 組
学籍番号	
ふりがな	
氏 名	

保健医療技術学部教務グループ 御中

試 験 欠 席 届

私は、下記理由により 欠 席 いたしたく（いたしましたので）、お届けいたします。

記

科 目 名			
担当教員	先 生		
時 限	年 月 日 曜日 限		
理 由			

【注意事項】
1. 1科目につき1枚記入すること。
2. 原則、試験実施日から7日以内に提出すること。
3. 【**就職試験**】入院や病気で欠席した者は、「診断書（原本）」を添付して提出すること。その他の理由で欠席した者は、「事故証明書（警察、警察署）」等を添付。
【**再試験**】試験を受けられなかった理由を証明するものがない場合には、事前に学科長の許可がなければ再試験を受験することができない。レポート課題を試験として実施した場合には、レポート未提出も試験欠席と同様の取り扱いとする。

再試験を受験することを許可いたします。

学科長

教務グループ
マネージャー印

教務グループ受付印

2021.11.1 改訂

保健医療技術学部教務グループ様式 第4号

病気（法定感染症）
忌引・結婚（本人・親族）
就職試験

年 月 日 届出

学 科	学科
学年・組	年 組
学籍番号	
ふりがな	
氏 名	

保健医療技術学部教務グループ 御中

公 欠 願

私は、下記理由により 公 欠 いたしたく（いたしましたので）、お願いたします。

記

1. 公欠期間

年 月 日 曜日 ～ 年 月 日 曜日 (日間)

2. 公欠種別（該当するものにチェック）

☐ 病気（法定感染症）
☐ 忌引・結婚（本人・親族）

☐ 就職試験

理由：

就職試験証明

機関名	機関印または担当者印

☆提出前チェックリスト（提出前に下記項目をチェックすること）

☐ 公欠理由を証明する書類を添付している
（または【**就職試験証明**】に記載がある）
☐ 欠席した科目数分の「欠席届」を記入している
（公欠願を提出する場合は、公欠願と欠席届をセットで提出すること）

保健医療技術学部
承認印

(コピー使用可またはB's LINKに掲載)

主治医各位

文京学院大学

「学校において予防すべき感染症」罹患証明書記入につきまして（ご依頼）

学校保健安全法施行規則第18条に定める「学校において予防すべき感染症」に罹患しました本学学生につきまして、下記証明書に病名、出席停止期間等をご記入の上、学生に交付いただきますようお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

(本郷キャンパス) 教務グループ TEL：03-3814-1661
(ふじみ野キャンパス) 教務グループ TEL：049-261-6488

※「学校において予防すべき感染症」罹患証明書による情報は、原則として第三者に開示いたしません。しかし、学内集団感染において緊急を要する場合、法令に基づく場合や、本人の生命・身体・財産を保護するために必要がある場合などで、本人の同意を得ることが困難であるときは、例外的に第三者（保健福祉局など）に開示することがあります。

学生氏名

(学籍番号【本人記入】：)

「学校において予防すべき感染症」罹患証明書

上記の学生を学校保健安全法施行規則第18条に定める「学校において予防すべき感染症」と診断しましたので、報告します。

病 名 (該当病 名に○印をつけ てください。)	インフルエンザ・麻疹・風疹・水痘・百日咳・咽頭結膜熱 流行性耳下腺炎・流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎・結核
	その他の感染症名※ () ※学校保健安全法施行規則第十八条に定める感染症の種類による

初 診	年 月 日
出席停止期間	年 月 日～ 年 月 日

上記感染症により、上記の出席停止が妥当であったことを証明します。

年 月 日 医療機関名

住 所

医 師 名

印

V 理学療法学科

「理学療法士国家試験受験資格」について

カリキュラムマップ

ナンバリング

カリキュラム

国家試験受験資格の授業科目履修方法

卒業研究要綱

V 理学療法学科

理学療法学科で取得可能な「理学療法士国家試験受験資格」について

1. 理学療法士とは

理学療法とは「理学療法士及び作業療法士法」において、次のように定義されています。

この法律で「理学療法」とは、身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行なわせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいう。

また、理学療法士とは同法にて、次のように定義されています。

この法律で「理学療法士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、理学療法士の名称を用いて、医師の指示の下に、理学療法を行うことを業とする者をいう。

従って、「理学療法士」として働くためには、厚生労働大臣の免許が必要であり、これには理学療法士国家試験受験資格を取得し、理学療法士国家試験を受験して合格しなければなりません。

2. 理学療法士国家試験受験資格の取得要件

文部科学大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した理学療法士養成施設において、3年以上理学療法士として必要な知識及び技能を修得した者に理学療法士国家試験受験資格が与えられます。

従って、理学療法学科学生は理学療法士の受験資格に必要な履修単位を修得し、4年次に卒業見込みとなれば、受験資格を満たし、国家試験を受験することができます。

3. 理学療法士国家試験とは

理学療法士として必要な知識及び技能について行われる国家試験です。例年、2月下旬から3月初旬頃に試験があり、3月末に合格発表が行われています。試験の概要は以下の通りです。

1) 筆記試験

一般問題及び実地問題に区分して次の科目について行う。

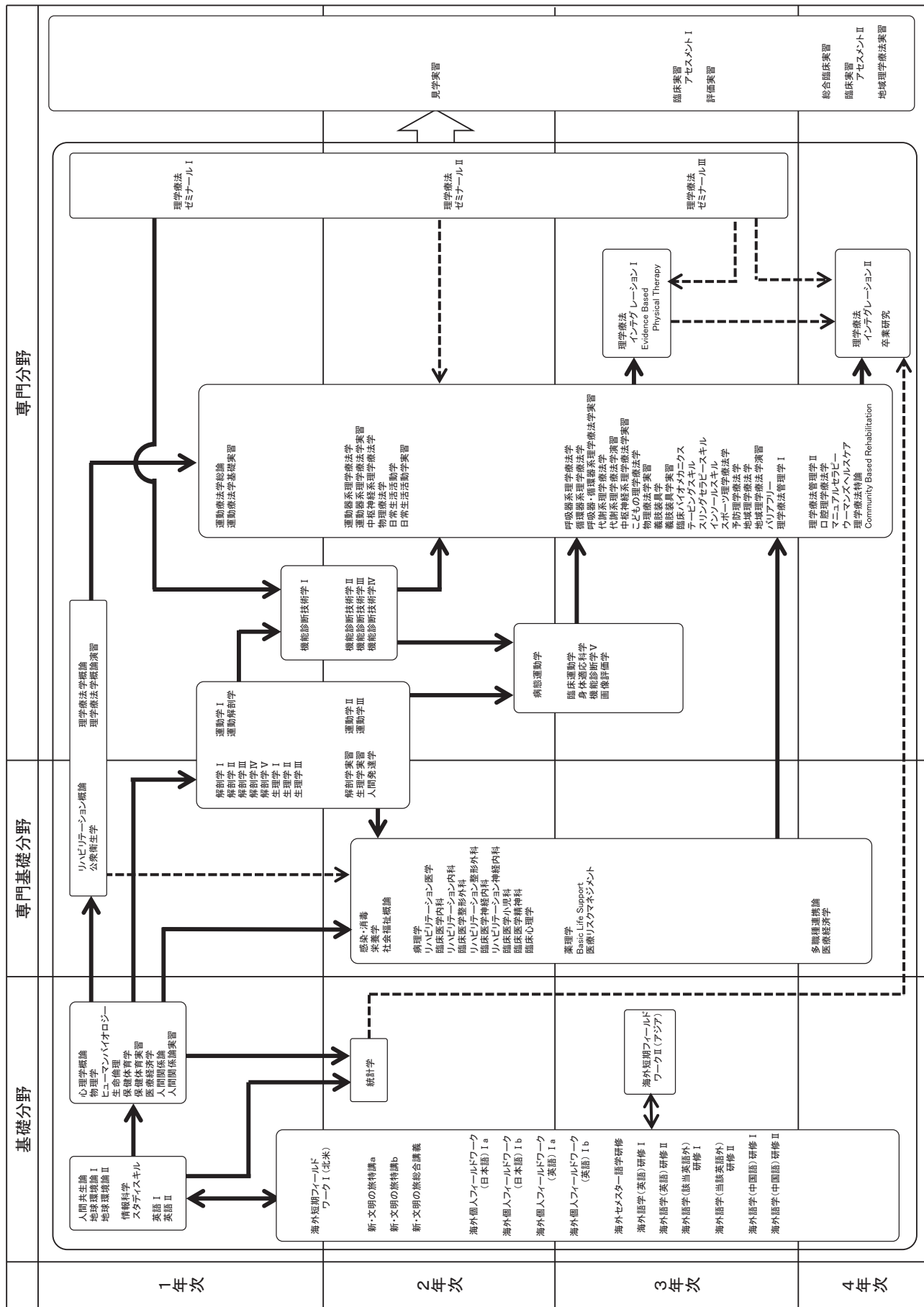
一般問題

解剖学、生理学、運動学、病理学概論、臨床心理学、リハビリテーション医学(リハビリテーション概論を含む。)、臨床医学大要(人間発達学を含む。)及び理学療法

実地問題

運動学、臨床心理学、リハビリテーション医学、臨床医学大要(人間発達学を含む。)及び理学療法

文京学院大学 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラムマップ (2020年以降入学生)



保健医療技術学部 理学療法学科 ナンバリング表

		授業科目の名称	単位数		科目 グループ	配当 年次	単位数	学科	科目の 特定	ナンバリング
			必修	選択						
基礎分野	大学特別科目	人間共生論	2		UNIV	1	02	PT	01	UNIV102PT01
		新・文明の旅特講 a		2	UNIV	1	02	PT	51	UNIV102PT51
		新・文明の旅特講 b		2	UNIV	1	02	PT	52	UNIV102PT52
		新・文明の旅総合講義		2	UNIV	1	02	PT	53	UNIV102PT53
		地球環境論Ⅰ		2	UNIV	1	02	PT	54	UNIV102PT54
		地球環境論Ⅱ		2	UNIV	1	02	PT	55	UNIV102PT55
	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	心理学概論	2		SCIE	1	02	PT	01	SCIE102PT01
		物理学	2		SCIE	1	02	PT	02	SCIE102PT02
		ヒューマンバイオロジー	2		SCIE	1	02	PT	03	SCIE102PT03
		生命倫理	2		SCIE	3	02	PT	04	SCIE302PT04
		統計学	2		SCIE	2	02	PT	05	SCIE202PT05
		保健体育学		2	SCIE	1	02	PT	51	SCIE102PT51
		保健体育実習		1	SCIE	1	01	PT	52	SCIE101PT52
		医療経済学		1	SCIE	4	01	PT	53	SCIE401PT53
		人間関係論	2		SCIE	1	02	PT	06	SCIE102PT06
		人間関係論実習		1	SCIE	1	01	PT	54	SCIE101PT54
		英語Ⅰ	1		SCIE	1	01	PT	07	SCIE101PT07
		英語Ⅱ	1		SCIE	1	01	PT	08	SCIE101PT08
		海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2	SCIE	1	02	PT	55	SCIE102PT55
		海外短期フィールドワークⅡ（アジア）		2	SCIE	3	02	PT	56	SCIE302PT56
		情報科学	2		SCIE	1	02	PT	09	SCIE102PT09
		スタディスキル	1		SCIE	1	01	PT	10	SCIE101PT10
	学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a		2	ABRO	1	02	PT	51	ABRO102PT51
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b		2	ABRO	1	02	PT	52	ABRO102PT52
		海外セメスター語学研修Ⅰ		4	ABRO	1	04	PT	53	ABRO104PT53
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a		2	ABRO	1	02	PT	54	ABRO102PT54
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b		2	ABRO	1	02	PT	55	ABRO102PT55
		海外語学（英語）研修Ⅰ		2	ABRO	1	02	PT	56	ABRO102PT56
		海外語学（英語）研修Ⅱ		2	ABRO	1	02	PT	57	ABRO102PT57
		海外語学（該当英語外）研修Ⅰ		2	ABRO	1	02	PT	58	ABRO102PT58
		海外語学（該当英語外）研修Ⅱ		2	ABRO	1	02	PT	59	ABRO102PT59
		海外語学（中国語）研修Ⅰ		2	ABRO	1	02	PT	60	ABRO102PT60
		海外語学（中国語）研修Ⅱ		2	ABRO	1	02	PT	61	ABRO102PT61
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1		HUMA	1	01	PT	01	HUMA101PT01
		解剖学Ⅱ	1		HUMA	1	01	PT	02	HUMA101PT02
		解剖学Ⅲ	1		HUMA	1	01	PT	03	HUMA101PT03
		解剖学Ⅳ	1		HUMA	1	01	PT	04	HUMA101PT04
		解剖学Ⅴ	1		HUMA	1	01	PT	05	HUMA101PT05
		解剖学実習	1		HUMA	2	01	PT	06	HUMA201PT06
		生理学Ⅰ	1		HUMA	1	01	PT	07	HUMA101PT07
		生理学Ⅱ	1		HUMA	1	01	PT	08	HUMA101PT08
		生理学Ⅲ	1		HUMA	1	01	PT	09	HUMA101PT09
		生理学実習	1		HUMA	2	01	PT	10	HUMA201PT10
		運動学Ⅰ	1		HUMA	1	01	PT	11	HUMA101PT11
		運動学Ⅱ	1		HUMA	2	01	PT	12	HUMA201PT12
		運動学Ⅲ	1		HUMA	2	01	PT	13	HUMA201PT13
		人間発達学	1		HUMA	2	01	PT	14	HUMA201PT14
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1		DISE	2	01	PT	01	DISE201PT01
		リハビリテーション医学	1		DISE	2	01	PT	02	DISE201PT02
		Basic Life Support	1		DISE	3	01	PT	03	DISE301PT03
		臨床医学内科	1		DISE	2	01	PT	04	DISE201PT04
		リハビリテーション内科	1		DISE	2	01	PT	05	DISE201PT05
		臨床医学整形外科	1		DISE	2	01	PT	06	DISE201PT06
		リハビリテーション整形外科	1		DISE	2	01	PT	07	DISE201PT07
		臨床医学神経内科	1		DISE	2	01	PT	08	DISE201PT08
		リハビリテーション神経内科	1		DISE	2	01	PT	09	DISE201PT09
		臨床医学小児科	1		DISE	2	01	PT	10	DISE201PT10
		臨床医学精神科	1		DISE	2	01	PT	11	DISE201PT11
		臨床心理学	1		DISE	2	01	PT	12	DISE201PT12
		薬理学	1		DISE	3	01	PT	13	DISE301PT13
		栄養学	1		DISE	2	01	PT	14	DISE201PT14
	リハビリテーションの理念	多職種連携論	1		HEAL	4	01	PT	01	HEAL401PT01
		リハビリテーション概論	1		HEAL	1	01	PT	02	HEAL101PT02
		感染・消毒	1		HEAL	2	01	PT	03	HEAL201PT03
		公衆衛生学	1		HEAL	1	01	PT	04	HEAL101PT04
		医療リスクマネジメント	1		HEAL	3	01	PT	05	HEAL301PT05
		社会福祉概論		1	HEAL	2	01	PT	51	HEAL201PT51

保健医療技術学部 理学療法学科 ナンバリング表

授業科目の名称			単位数		科目 グループ	配当 年次	単位数	学科	科目の 特定	ナンバリング
			必修	選択						
専 門 分 野	基礎理学療法学	理学療法学概論	1		BAPH	1	01	PT	01	BAPH101PT01
		理学療法学概論演習	1		BAPH	1	01	PT	02	BAPH101PT02
		Evidence Based Physical Therapy	1		BAPH	3	01	PT	03	BAPH301PT03
		病態運動学	1		BAPH	2	01	PT	04	BAPH201PT04
		運動解剖学	1		BAPH	1	01	PT	05	BAPH101PT05
		身体適応科学	1		BAPH	3	01	PT	06	BAPH301PT06
		理学療法ゼミナールⅠ	1		BAPH	1	01	PT	07	BAPH101PT07
		理学療法ゼミナールⅡ	1		BAPH	2	01	PT	08	BAPH201PT08
		理学療法ゼミナールⅢ	1		BAPH	3	01	PT	09	BAPH301PT09
	理学療法 管理学	理学療法管理学Ⅰ	1		MAPH	3	01	PT	01	MAPH301PT01
		理学療法管理学Ⅱ	1		MAPH	4	01	PT	02	MAPH401PT02
	理学療法 評価学	機能診断技術学Ⅰ	1		PHEV	1	01	PT	01	PHEV101PT01
		機能診断技術学Ⅱ	1		PHEV	2	01	PT	02	PHEV201PT02
		機能診断技術学Ⅲ	1		PHEV	2	01	PT	03	PHEV201PT03
		機能診断技術学Ⅳ	1		PHEV	2	01	PT	04	PHEV201PT04
		機能診断技術学Ⅴ	1		PHEV	3	01	PT	05	PHEV301PT05
	理学療法 治療学	画像評価学	1		PHEV	3	01	PT	06	PHEV301PT06
		運動療法学総論	1		PHIN	1	01	PT	01	PHIN101PT01
		運動療法学基礎実習	1		PHIN	1	01	PT	02	PHIN101PT02
		運動器系理学療法学	1		PHIN	2	01	PT	03	PHIN201PT03
		運動器系理学療法学実習	1		PHIN	3	01	PT	04	PHIN301PT04
		中枢神経系理学療法学	1		PHIN	2	01	PT	05	PHIN201PT05
		中枢神経系理学療法学実習	1		PHIN	3	01	PT	06	PHIN301PT06
		呼吸器系理学療法学	1		PHIN	3	01	PT	07	PHIN301PT07
		循環器系理学療法学	1		PHIN	3	01	PT	08	PHIN301PT08
		呼吸器・循環器系理学療法学実習	1		PHIN	3	01	PT	09	PHIN301PT09
		代謝系理学療法学	1		PHIN	3	01	PT	10	PHIN301PT10
		代謝系理学療法学演習	1		PHIN	3	01	PT	11	PHIN301PT11
		こどもの理学療法学	1		PHIN	3	01	PT	12	PHIN301PT12
		物理療法学	1		PHIN	2	01	PT	13	PHIN201PT13
		物理療法学実習	1		PHIN	3	01	PT	14	PHIN301PT14
		義肢装具学	1		PHIN	3	01	PT	15	PHIN301PT15
		義肢装具学実習	1		PHIN	3	01	PT	16	PHIN301PT16
		日常生活活動学	1		PHIN	2	01	PT	17	PHIN201PT17
		日常生活活動学実習	1		PHIN	2	01	PT	18	PHIN201PT18
		理学療法インテグレーションⅠ	1		PHIN	3	01	PT	19	PHIN301PT19
		理学療法インテグレーションⅡ	1		PHIN	4	01	PT	20	PHIN401PT20
		テーピングスキル		1	PHIN	3	01	PT	51	PHIN301PT51
		スリングセラピースキル		1	PHIN	3	01	PT	52	PHIN301PT52
		インソールスキル		1	PHIN	3	01	PT	53	PHIN301PT53
		スポーツ理学療法学		1	PHIN	3	01	PT	54	PHIN301PT54
		口腔理学療法学		1	PHIN	4	01	PT	55	PHIN401PT55
		臨床バイオメカニクス	1		PHIN	3	01	PT	21	PHIN301PT21
		マニュアルセラピー		1	PHIN	4	01	PT	56	PHIN401PT56
		ウーマンズヘルスケア		1	PHIN	4	01	PT	57	PHIN401PT57
		予防理学療法学	1		PHIN	3	01	PT	22	PHIN301PT22
		理学療法特論		1	PHIN	4	01	PT	58	PHIN401PT58
	地域理 療法学	地域理学療法学	1		PHCO	3	01	PT	01	PHCO301PT01
		地域理学療法学演習	1		PHCO	3	01	PT	02	PHCO301PT02
		バリアフリー	1		PHCO	3	01	PT	03	PHCO301PT03
	臨床 実習	見学実習	2		CLIN	2	02	PT	01	CLIN202PT01
		評価実習	5		CLIN	3	05	PT	02	CLIN305PT02
		臨床実習アセスメントⅠ	1		CLIN	3	01	PT	03	CLIN301PT03
		総合臨床実習	10		CLIN	4	10	PT	04	CLIN410PT04
		臨床実習アセスメントⅡ	1		CLIN	4	01	PT	05	CLIN401PT05
	卒業研究	地域理学療法実習	1		CLIN	4	01	PT	06	CLIN401PT06
		卒業研究	4		RESE	4	04	PT	01	RESE404PT01

・2020（令和2）年度以降の入学用・

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
基 礎 分	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	
		地球環境論Ⅱ	講義	1		2		30
		心理学概論	講義	1	2		30	
		物理学	講義	1	2		30	
		ヒューマンバイオロジー	講義	1	2		30	
		生命倫理	講義	3	2		30	
		統計学	講義	2	2			30
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育実習	実習	1		1		30
		医療経済学	講義	4		1		15
		人間関係論	講義	1	2		30	
		人間関係論実習	実習	1		1		30
		英語Ⅰ	演習	1	1		30	
		英語Ⅱ	演習	1	1			30
		海外短期フィールドワークⅠ（北米）	実習	1・2・3・4		2	30	
		海外短期フィールドワークⅡ（アジア）	実習	3		2		30
野	学部共通留学関係	情報科学	講義	1	2		30	
		スタディスキル	演習	1	1		30	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	1・2・3・4		4	180	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（英語）研修Ⅰ	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（英語）研修Ⅱ	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅰ	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅱ	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（中国語）研修Ⅰ	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（中国語）研修Ⅱ	実習	1・2・3・4		2	90	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	講義	1	1		30	
		解剖学Ⅱ	講義	1	1		30	
		解剖学Ⅲ	講義	1	1		30	
		解剖学Ⅳ	講義	1	1			30
		解剖学Ⅴ	講義	1	1			30
		解剖学実習	実習	2	1			30
		生理学Ⅰ	講義	1	1		30	
		生理学Ⅱ	講義	1	1			30
		生理学Ⅲ	講義	1	1			30
		生理学実習	実習	2	1			30
		運動学Ⅰ	講義	1	1			30
		運動学Ⅱ	講義	2	1		30	
		運動学Ⅲ	講義	2	1			15
		人間発達学	講義	2	1		30	
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	講義	2	1			30
		リハビリテーション医学	講義	2	1		30	
		Basic Life Support	演習	3	1			15
		臨床医学内科	講義	2	1		30	
		リハビリテーション内科	講義	2	1			15

● 2020（令和2）年度以降の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	臨床医学整形外科	講義	2	1		30	
		リハビリテーション整形外科	講義	2	1			15
		臨床医学神経内科	講義	2	1		30	
		リハビリテーション神経内科	講義	2	1			15
		臨床医学小児科	講義	2	1		15	
		臨床医学精神科	講義	2	1		30	
		臨床心理学	講義	2	1			30
		薬理学	講義	3	1		30	
		栄養学	講義	2	1			15
	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	多職種連携論	講義	4	1			15
		リハビリテーション概論	講義	1	1		15	
		感染・消毒	講義	2	1		15	
		公衆衛生学	講義	1	1			30
		医療リスクマネジメント	講義	3	1			15
		社会福祉概論	講義	2		1	30	
専 門 分 野	基礎理学療法学	理学療法学概論	講義	1	1		30	
		理学療法学概論演習	演習	1	1			30
		Evidence Based Physical Therapy	講義	3	1			30
		病態運動学	講義	2	1			30
		運動解剖学	講義	1	1			30
		身体適応科学	講義	3	1			15
		理学療法ゼミナールⅠ	演習	1	1		15	
		理学療法ゼミナールⅡ	演習	2	1		15	
		理学療法ゼミナールⅢ	演習	3	1		15	
	理学療法 管理学	理学療法管理学Ⅰ	講義	3	1			15
		理学療法管理学Ⅱ	講義	4	1			15
	理学療法評価学	機能診断技術学Ⅰ	実習	1	1			30
		機能診断技術学Ⅱ	実習	2	1		30	
		機能診断技術学Ⅲ	実習	2	1		30	
		機能診断技術学Ⅳ	実習	2	1			30
		機能診断技術学Ⅴ	実習	3	1			30
		画像評価学	講義	3	1			15
	理学療法 学 治 療 学	運動療法学総論	講義	1	1		15	
		運動療法学基礎実習	実習	1	1			30
		運動器系理学療法学	講義	2	1			30
		運動器系理学療法学実習	実習	3	1		30	
		中枢神経系理学療法学	講義	2	1			30
		中枢神経系理学療法学実習	実習	3	1		30	
		呼吸器系理学療法学	講義	3	1		15	
		循環器系理学療法学	講義	3	1		30	
		呼吸器・循環器系理学療法学実習	実習	3	1			30
		代謝系理学療法学	講義	3	1		15	
		代謝系理学療法学演習	演習	3	1		15	
		こどもの理学療法学	講義	3	1			15
		物理療法学	講義	2	1			30
		物理療法学実習	実習	3	1		30	
		義肢装具学	講義	3	1		30	
		義肢装具学実習	実習	3	1			30
		日常生活活動学	講義	2	1		30	
		日常生活活動学実習	実習	2	1			30

• 2020（令和2）年度以降の入学者用 •

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専 門 分 野	理学療法治療学	理学療法インテグレーションⅠ	演習	3	1		30	
		理学療法インテグレーションⅡ	演習	4	1			30
		テーピングスキル	演習	3		1	15	
		スリングセラピースキル	演習	3		1	15	
		インソールスキル	演習	3		1		15
		スポーツ理学療法学	講義	3		1	30	
		口腔理学療法学	講義	4		1		15
		臨床バイオメカニクス	講義	3	1		30	
		マニュアルセラピー	演習	4		1		15
		ウーマンズヘルスケア	講義	4		1		15
		予防理学療法学	講義	3	1			15
		理学療法特論	講義	4		1		15
	地域療法学	地域理学療法学	講義	3	1		30	
		地域理学療法学演習	演習	3	1			30
		バリアフリー	講義	3	1		15	
	臨床実習	見学実習	実習	2	2			80
		評価実習	実習	3	5			200
		臨床実習アセスメントⅠ	実習	3	1			40
		総合臨床実習	実習	4	10		400	
		臨床実習アセスメントⅡ	実習	4	1		40	
		地域理学療法実習	実習	4	1		40	
	卒業研究	卒業研究	演習	4	4			120

履修の方法及び卒業の要件

1. 他学科・他学部の単位修得の上限は、30 単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。

● 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学者用 ●

表 1－1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム

授 業 科 目 の 名 称				形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
						必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	科学的 思考の 基盤・ 人間と 生活	大学特別科目	人間共生論	講義	1	2		30	
			新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
			新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
			新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
			地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	
			地球環境論Ⅱ	講義	1		2		30
		心理学概論	講義	1	2		30		
		物理学	講義	1	2		30		
		化学	講義	1	2		30		
		生物学	講義	1	2		30		
		生命科学（生命倫理）	講義	3	2		30		
		統計学	講義	2	2			30	
		保健体育学	講義	1		2	30		
		保健体育実習	実習	1		1		30	
		医療経済学	講義	4		1		15	
		人間関係論	講義	1	2		30		
		人間関係論実習	実習	1		1		30	
		英語Ⅰ	演習	1	1		30		
		英語Ⅱ	演習	1	1			30	
		海外短期フィールドワークⅠ（北米）	実習	2・3・4		2			
		海外短期フィールドワークⅡ（アジア）	実習	2・3・4		2			
		情報科学	講義	1	2		30		
		スタディスキル	演習	1	1		30		
	学部 共通 留学 関係	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90		
		海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	2・3・4		4	180		
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90		
		海外セメスター語学研修Ⅱ	実習	2・3・4		4	180		
		海外語学（英語）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学（英語）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学（該当英語外）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学（該当英語外）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学（中国語）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学（中国語）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90		
専 門 基 礎 分 野	人体の 構造と 機能及 び心身 の発達	解剖学Ⅰ	講義	1	2		60		
		解剖学Ⅱ	講義	1	1			30	
		解剖学Ⅲ	講義	1	1		30		
		解剖学Ⅳ	講義	1	1			30	
		解剖学実習	実習	2	1			30	
		生理学Ⅰ A	講義	1	1		30		
		生理学Ⅰ B	講義	1	1		30		
		生理学Ⅱ	講義	1	1			30	
		生理学実習	実習	2	1			30	
		生化学	講義	1	1			30	
		運動学Ⅰ	講義	1	1			30	
		運動学Ⅱ	講義	2	1		30		
		人間発達学	講義	2	1		30		

● 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	講義	2	1			30
		リハビリテーション医学	講義	2	1		30	
		Basic Life Support I	演習	1	1			15
		Basic Life Support II	演習	3	1			15
		臨床医学内科 I	講義	2	1		30	
		臨床医学内科 II	講義	2	1			30
		臨床医学整形外科 I	講義	2	1		30	
		臨床医学整形外科 II	講義	2	1		30	
		臨床医学神経内科 I	講義	2	1		30	
		臨床医学神経内科 II	講義	2	1			30
		臨床医学小児科	講義	2	1		15	
		臨床医学精神科 I	講義	2	1		30	
		臨床心理学	講義	2	1			30
		薬理学	講義	3	1		30	
	リハビリテーションの理念と保健医療福祉	チーム医療論 I	講義	4	1		15	
		リハビリテーション概論	講義	1	1		15	
		感染・消毒	講義	2	1		15	
		栄養学	講義	2	1		30	
		公衆衛生学	講義	1	1			30
		医療リスクマネジメント	講義	3	1			15
		社会福祉概論	講義	2		1	30	
専 門 分 野	基礎理学療法学	理学療法学概論	講義	1	1		30	
		理学療法学概論演習	演習	1	1			30
		理学療法管理学	講義	4	1			15
		Evidence Based Physical Therapy	講義	4	1			15
		臨床運動学	講義	3	1		30	
		病態運動学	講義	2	1			30
		運動解剖学	講義	1	1			30
		筋機能学	講義	2	1		15	
		身体適応科学	講義	3	1			15
	理学療法評価学	機能診断技術学 I	講義	1	1			30
		機能診断技術学 II	講義	2	1		30	
		機能診断技術学実習 I	実習	2	1		30	
		機能診断技術学実習 II	実習	2	1			30
		クリニカルアセスメント	講義	2	1			15
		画像評価学	講義	3	1			15
	理学療法治療学	運動療法学総論	講義	1	1		15	
		運動療法学基礎実習	実習	1	1			30
		運動器系理学療法学	講義	2	1			30
		運動器系理学療法学実習	実習	3	1		30	
		中枢神経系理学療法学	講義	2	1			30
		中枢神経系理学療法学実習	実習	3	1		30	
		呼吸・循環・代謝系理学療法学	講義	3	1		30	
		呼吸・循環・代謝系理学療法学実習	実習	3	1			30
		こどもの理学療法学	講義	3	1			15
		物理療法学	講義	2	1		30	
		物理療法学実習	実習	2	1			30
		義肢装具学	講義	3	1		30	
		義肢装具学実習	実習	3	1			30

● 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 理学療法学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専 門 分 野	理 学 療 法 治 療 学	日常生活活動学	講義	2	1		30	
		日常生活活動学実習	実習	2	1			30
		理学療法インテグレーションⅠ	演習	3	1			30
		理学療法インテグレーションⅡ	演習	4	1			30
		テーピングスキル	演習	3		1	15	
		スリングセラピースキル	演習	3		1	15	
		インソールスキル	演習	3		1		15
		ワーキングヘルスケア	講義	4		1		15
		スポーツ理学療法学	講義	3		1	30	
		口腔理学療法学	講義	4		1		15
		臨床バイオメカニクス	講義	3	1		30	
		徒手治療技術演習	演習	4		1		15
		ウーマンズヘルスケア	講義	4		1		15
		高齢者リハビリテーション学	講義	4		1		15
		理学療法特論	講義	4		1		15
		理学療法ゼミナールⅠ	演習	1	1			15
		理学療法ゼミナールⅡ	演習	2	1			15
		理学療法ゼミナールⅢ	演習	3	1		15	
		理学療法ゼミナールⅣ	演習	4	1		7.5	7.5
		卒業研究	演習	4	4			120
	地 域 理 学 療 法 学	地域理学療法学	講義	3	1		30	
		地域理学療法学演習	演習	3	1			30
		Community Based Rehabilitation	講義	4	1			15
		バリアフリー	講義	3	1		15	
	臨 床 実 習	総合評価学実習Ⅰ	実習	2	2			90
		総合評価学実習Ⅱ	実習	3	4			180
		総合臨床実習Ⅰ	実習	4	6		270	
		総合臨床実習Ⅱ	実習	4	6		270	

履修の方法及び卒業の要件

1. 他学科・他学部の単位修得の上限は、30 単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活科目の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a、b」は2年生、3年生も履修できる。

・2020（令和2）年度以降の入学用・

表 2－1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
基礎分野	科学的思考の基盤・ 人間と生活・ 社会の理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目（19単位）を含め、21単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論Ⅰ		2	
			地球環境論Ⅱ		2	
			心理学概論	2		
			物理学	2		
			ヒューマンバイオロジー	2		
			生命倫理	2		
			統計学	2		
			保健体育学		2	
			保健体育実習		1	
			医療経済学		1	
	人間関係論	2				
	人間関係論実習		1			
	英語Ⅰ	1				
	英語Ⅱ	1				
	海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2			
	海外短期フィールドワークⅡ（アジア）		2			
	学部共通留学関係科目	情報科学		2		
		スタディスキル		1		
海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a				2		
海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b				2		
海外セメスター語学研修Ⅰ				4		
海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a				2		
海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b				2		
海外語学（英語）研修Ⅰ				2		
海外語学（英語）研修Ⅱ				2		
海外語学（該当英語外）研修Ⅰ				2		
海外語学（該当英語外）研修Ⅱ			2			
海外語学（中国語）研修Ⅰ			2			
海外語学（中国語）研修Ⅱ			2			
(小 計)		(14)		19	43	
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学Ⅰ	1		専門基礎分野において、必修科目を含め、33単位以上修得すること。
			解剖学Ⅱ	1		
			解剖学Ⅲ	1		
			解剖学Ⅳ	1		
			解剖学Ⅴ	1		
			解剖学実習	1		
			生理学Ⅰ	1		
			生理学Ⅱ	1		
			生理学Ⅲ	1		
			生理学実習	1		
			運動学Ⅰ	1		
			運動学Ⅱ	1		
			運動学Ⅲ	1		
			人間発達学	1		

• 2020（令和2）年度以降の入学用 •

表 2－1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	病理学	1		
			リハビリテーション医学	1		
			Basic Life Support	1		
			臨床医学内科	1		
			リハビリテーション内科	1		
			臨床医学整形外科	1		
			リハビリテーション整形外科	1		
			臨床医学神経内科	1		
			リハビリテーション神経内科	1		
			臨床医学小児科	1		
			臨床医学精神科	1		
			臨床心理学	1		
			薬理学	1		
	栄養学	1				
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	4	多職種連携論	1	1		
		リハビリテーション概論	1			
		感染・消毒	1			
		公衆衛生学	1			
		医療リスクマネジメント	1			
		社会福祉概論				
(小 計)	(30)		33	1		
専門分野	基礎理学療法学	6	理学療法学概論	1		専門分野において、必修科目を含め、71単位以上修得すること。
			理学療法学概論演習	1		
			Evidence Based Physical Therapy	1		
			病態運動学	1		
			運動解剖学	1		
			身体適応科学	1		
			理学療法ゼミナールⅠ	1		
			理学療法ゼミナールⅡ	1		
			理学療法ゼミナールⅢ	1		
	理学療法管理学	2	理学療法管理学Ⅰ	1		
			理学療法管理学Ⅱ	1		
	理学療法評価学	6	機能診断技術学Ⅰ	1		
			機能診断技術学Ⅱ	1		
			機能診断技術学Ⅲ	1		
機能診断技術学Ⅳ			1			
機能診断技術学Ⅴ			1			
画像評価学	1					

• 2020（令和2）年度以降の入学用 •

表 2－1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 分 野	理学療法治療学	20	運動療法学総論	1		
			運動療法学基礎実習	1		
			運動器系理学療法学	1		
			運動器系理学療法学実習	1		
			中枢神経系理学療法学	1		
			中枢神経系理学療法学実習	1		
			呼吸器系理学療法学	1		
			循環器系理学療法学	1		
			呼吸器・循環器系理学療法学実習	1		
			代謝系理学療法学	1		
			代謝系理学療法学演習	1		
			こどもの理学療法学	1		
			物理療法学	1		
			物理療法学実習	1		
			義肢装具学	1		
			義肢装具学実習	1		
			日常生活活動学	1		
			日常生活活動学実習	1		
			理学療法インテグレーションⅠ	1		
			理学療法インテグレーションⅡ	1		
			テーピングスキル		1	
			スリングセラピースキル		1	
			インソールスキル		1	
			スポーツ理学療法学		1	
			口腔理学療法学		1	
			臨床バイオメカニクス	1		
			マニュアルセラピー		1	
			ウーマンズヘルスケア		1	
			予防理学療法学	1		
			理学療法特論		1	
	地域理学療法学	3	地域理学療法学	1		
			地域理学療法学演習	1		
			バリアフリー	1		
	臨床実習	20	見学実習	2		
			評価実習	5		
			臨床実習アセスメントⅠ	1		
			総合臨床実習	10		
			臨床実習アセスメントⅡ	1		
			地域理学療法実習	1		
	卒業研究		卒業研究	4		
	（小 計）	（57）		66	8	
	合 計	101		118	52	

• 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学者用 •

表 2－1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
基 礎 分 野	科学的思考の基盤 人間と生活	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、21単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論Ⅰ		2	
			地球環境論Ⅱ		2	
			心理学概論	2		
			物理学	2		
			化学	2		
			生物学	2		
			生命科学（生命倫理）	2		
			統計学	2		
			保健体育学		2	
			保健体育実習		1	
			医療経済学		1	
専 門 基 礎 分 野	学部共通留学関係科目	14	人間関係論	2		
			人間関係論実習		1	
			英語Ⅰ	1		
			英語Ⅱ	1		
			海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2	
			海外短期フィールドワークⅡ（アジア）		2	
			情報科学	2		
			スタディスキル	1		
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a		2	
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b		2	
			海外セメスター語学研修Ⅰ		4	
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ a		2	
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ b		2	
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a		2	
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b		2	
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ a		2	
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ b		2	
			海外セメスター語学研修Ⅱ		4	
			海外語学（英語）研修Ⅰ		2	
			海外語学（英語）研修Ⅱ		2	
			海外語学（該当英語外）研修Ⅰ		2	
			海外語学（該当英語外）研修Ⅱ		2	
			海外語学（中国語）研修Ⅰ		2	
			海外語学（中国語）研修Ⅱ		2	
				21	55	
	(小 計)	(14)				
	人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学Ⅰ	2		専門基礎分野において、必修科目を含め、34単位以上修得すること。
			解剖学Ⅱ	1		
			解剖学Ⅲ	1		
			解剖学Ⅳ	1		
			解剖学実習	1		
			生理学Ⅰ A	1		
			生理学Ⅰ B	1		
			生理学Ⅱ	1		
			生理学実習	1		
			生化学	1		
			運動学Ⅰ	1		
			運動学Ⅱ	1		
			人間発達学	1		

• 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学者用 •

表 2－1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	12	病理学	1		
			リハビリテーション医学	1		
			Basic Life Support I	1		
			Basic Life Support II	1		
			臨床医学内科 I	1		
			臨床医学内科 II	1		
			臨床医学整形外科 I	1		
			臨床医学整形外科 II	1		
			臨床医学神経内科 I	1		
			臨床医学神経内科 II	1		
			臨床医学小児科	1		
			臨床医学精神科 I	1		
			臨床心理学	1		
			薬理学	1		
	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	2	チーム医療論 I	1		
			リハビリテーション概論	1		
			感染・消毒	1		
			栄養学	1		
			公衆衛生学	1		
			医療リスクマネジメント	1		
			社会福祉概論		1	
	（小 計）	（26）		34	1	
専 門 分 野	基礎理学療法学	6	理学療法学概論	1		専門分野において、必修科目を含め、63 単位以上修得すること。
			理学療法学概論演習	1		
			理学療法管理学	1		
			Evidence Based Physical Therapy	1		
			臨床運動学	1		
			病態運動学	1		
			運動解剖学	1		
			筋機能学	1		
			身体適応科学	1		
	理学療法評価学	5	機能診断技術学 I	1		
			機能診断技術学 II	1		
			機能診断技術学実習 I	1		
			機能診断技術学実習 II	1		
			クリニカルアセスメント	1		
			画像評価学	1		

• 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学者用 •

表 2－1 理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 分 野	理学療法治療学	20	運動療法学総論	1		
			運動療法学基礎実習	1		
			運動器系理学療法学	1		
			運動器系理学療法学実習	1		
			中枢神経系理学療法学	1		
			中枢神経系理学療法学実習	1		
			呼吸・循環・代謝系理学療法学	1		
			呼吸・循環・代謝系理学療法学実習	1		
			こどもの理学療法学	1		
			物理療法学	1		
			物理療法学実習	1		
			義肢装具学	1		
			義肢装具学実習	1		
			日常生活活動学	1		
			日常生活活動学実習	1		
			理学療法インテグレーションⅠ	1		
			理学療法インテグレーションⅡ	1		
			テーピングスキル		1	
			スリングセラピースキル		1	
			インソールスキル		1	
			ワーキングヘルスケア		1	
			スポーツ理学療法学		1	
			口腔理学療法学		1	
			臨床バイオメカニクス	1		
			徒手治療技術演習		1	
			ウーマンズヘルスケア		1	
			高齢者リハビリテーション学		1	
			理学療法特論		1	
			理学療法ゼミナールⅠ	1		
			理学療法ゼミナールⅡ	1		
			理学療法ゼミナールⅢ	1		
			理学療法ゼミナールⅣ	1		
			卒業研究	4		
	地域理学療法学	4	地域理学療法学	1		
			地域理学療法学演習	1		
			Community Based Rehabilitation	1		
			バリアフリー	1		
	臨床実習	18	総合評価学実習Ⅰ	2		
			総合評価学実習Ⅱ	4		
			総合臨床実習Ⅰ	6		
			総合臨床実習Ⅱ	6		
	(小 計)	(53)		63	10	
	合 計	93		118	66	

1. 卒業研究の目的

【一般目標】

4年間の教育課程の最終において理学療法の研究に必要な知識、技術、態度を修得することおよび、卒業後も将来にわたり、研究に興味を持ち、問題を追及する姿勢を獲得する基礎を修得することを目的とする。また発表能力や批判的に論文を読む能力などを得ることで自らの臨床人としての基礎を築く。

【行動目標】

1. 先行研究を正しく収集できる。
2. 研究計画立案ができる。
3. 実験を遂行し論理的分析ができる。
4. 形式に基づいた論文を作成できる。
5. 形式に基づいた発表が出来る。

2. 卒業研究の内容

研究の内容は、教員の指導に基づき興味・関心がある研究テーマを選別し、最終的には論文を提出する。具体的には、研究テーマの決定、研究計画の立案、研究実施、論文作成、口頭発表を行うことである。

3. 卒業研究の指導方法

卒業研究の指導は原則として、ゼミナール形式で行う。ゼミナールには、教員2名につき学生10名程度を配属する。学生は担当教員の指導に基づき研究を進める。

4. 配当年次と単位数

4年次の必修科目であり4単位である。

5. スケジュール

4年次の4月より準備を始め、11月に論文を提出し、卒業研究発表会で発表する。

6. 成績判定

成績については行動目標に基づき、1から5について学科教員全員で判定する。ただし、研究の経過を考え、行動目標の1および3については担当教員の判定とする。作成された論文と、発表における判定は学科教員全員で判定し集計して決定する。1～3を評価の50%、4～5を50%とする。

VI 作業療法学科

「作業療法士国家試験受験資格」について

カリキュラムマップ

ナンバリング

カリキュラム

国家試験受験資格の授業科目履修方法

卒業研究要綱

VI 作業療法学科

作業療法学科で取得可能な「作業療法士国家試験受験資格」について

1. 作業療法士とは

作業療法とは「理学療法士及び作業療法士法」において、次のように定義されています。

この法律で「作業療法」とは、身体又は精神に障害のある者に対し、主としてその応用的動作能力又は社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作その他の作業を行なわせることをいう。

また、作業療法士とは同法にて、次のように定義されています。

この法律で「作業療法士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、作業療法士の名称を用いて、医師の指示の下に、作業療法を行うことを業とする者をいう。

従って、「作業療法士」として働くためには、厚生労働大臣の免許が必要であり、これには作業療法士国家試験受験資格を取得し、作業療法士国家試験を受験して合格しなければなりません。

2. 作業療法士国家試験受験資格の取得要件

文部科学大臣が指定した学校又は厚生労働大臣が指定した作業療法士養成施設において、3年以上作業療法士として必要な知識及び技能を修得した者に作業療法士国家試験受験資格が与えられます。

従って、作業療法学科学生は作業療法士の受験資格に必要な履修単位を修得し、4年次に卒業見込みとなれば、受験資格を満たし、国家試験を受験することができます。

3. 作業療法士国家試験とは

作業療法士として必要な知識及び技能について行われる国家試験です。例年、2月下旬から3月初旬頃に試験があり、3月末に合格発表が行われています。試験の概要は以下の通りです。

1) 筆記試験

一般問題及び実地問題に区分して次の科目について行う。

一般問題

解剖学、生理学、運動学、病理学概論、臨床心理学、リハビリテーション医学（リハビリテーション概論を含む。）、臨床医学大要（人間発達学を含む。）及び作業療法

実地問題

運動学、臨床心理学、リハビリテーション医学、臨床医学大要（人間発達学を含む。）及び作業療法

2) 試験地

東京都、北海道、宮城県、愛知県、大阪府、香川県、福岡県、沖縄県の8都道府県で行われておりますが、大学で一括して願書提出を行いますので、本学学生は「東京都」で受験することになります。

3) 受験料

受験手数料の額に相当する収入印紙を受験願書に貼ることにより納付することになります。
(参考：2021 年度 受験手数料 10,100 円)

4) 受験願書と写真用台紙の作成

戸籍と同一の氏名文字、本籍地（都道府県名まで）を記載していただきます。10月初旬頃までに、戸籍抄本などによりそれらを確認しておいてください。合格発表時の住所（合格証書送付先）を記載する欄がありますので、確認をしてください。受験願書および写真用台紙の見本例は次の通りです。受験手続き等については、教務グループより別途指示いたします。

様式第五号（第十四関係）

作業療法士国家試験願書

10,100 円の収
入印紙を貼付
し、押印しない
こと

受験地 東京都

上記により、作業療法士国家試験を受験したいので申請します。

年 月 日

本籍（国海）

住 所 電話（ ）

〒

ふりがな
氏 名

年 月 日生

厚生労働大臣 殿

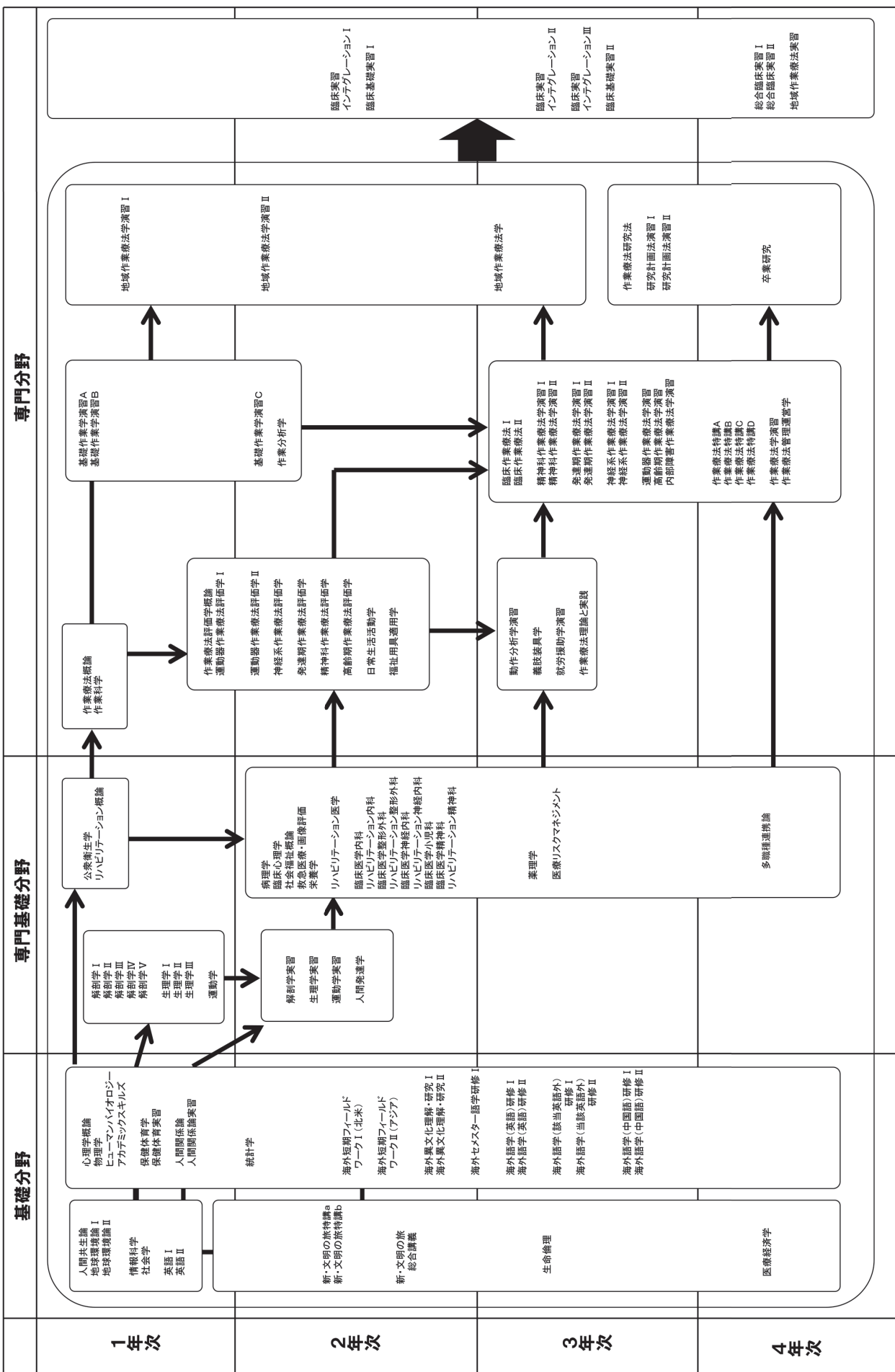
[illegible]

4. 作業療法士免許

卒業見込みで受験した場合、受験した年の3月31日までに卒業し、かつ作業療法士国家試験に合格して初めて作業療法士免許が交付されます。卒業できなかった場合、作業療法士国家試験に合格していても作業療法士免許は交付されません。

また、理学療法士及び作業療法士法第二章第四条において、「次の各号のいずれかに該当する者には、免許を与えないことがある」と定められていますので、注意してください。

- 一 罰金以上の刑に処せられた者
- 二 前号に該当する者を除くほか、理学療法士又は作業療法士の業務に関し犯罪又は不正の行為があった者
- 三 心身の障害により理学療法士又は作業療法士の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- 四 麻薬、大麻又はあへんの中毒者



保健医療技術学部科目ナンバリング体系（作業療法学科）

11桁の英数字を使用

科目グループ + 配当年次 + 単位数 + 学科番号 + 科目特定番号

サンプル **UNIV1020T01**

①

②

③

④

⑤

①科目グループ：4つのアルファベット（下記の表）

②配当年次：1：1年次・2：2年次・3：3年次・4：4年次

※配当年次1・2・3・4の場合は1で表記（履修できる最小年次で表記）

③単位数：2桁で表示

④学科番号：PT：理学療法学科・OT：作業療法学科・CM：臨床検査学科・NS：看護学科

⑤科目特定番号：01～50までの番号は必修科目・51～99までの番号は選択科目

科目グループアルファベット対照表

作業療法学科

区分	区分あるいは科目グループ	科目グループ英語名称	
基本科目	大学特別科目	UNIV	University
	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	SCIE	Science
	学部共通留学関係科目	ABRO	Abroad
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	HUMA	Human
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	DISE	Disease
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	HEAL	Health
専門科目	基礎作業療法学	BAOC	Basic Occupational Therapy
	作業療法管理学	MAOC	Management of Occupational Therapy
	作業療法評価学	OCEV	Occupational Therapy Evaluation
	作業療法治療学	OCIN	Occupational Therapy Intervention
	地域作業療法学	OCCO	Occupational Therapy in Community
	臨床実習	CLIN	Clinical Practice
	作業療法研究	RESE	Research

保健医療技術学部 作業療法学科 ナンバリング表

		授業科目の名称	単位数		科目 グループ	配当 年次	単位数	学科	科目の 特定	ナンバリング	
			必修	選択							
基礎 分野	大学 特別 科目	人間共生論	2		UNIV	1	02	OT	01	UNIV1020T01	
		新・文明の旅特講 a		2	UNIV	1	02	OT	51	UNIV1020T51	
		新・文明の旅特講 b		2	UNIV	1	02	OT	52	UNIV1020T52	
		新・文明の旅総合講義		2	UNIV	1	02	OT	53	UNIV1020T53	
		地球環境論Ⅰ		2	UNIV	1	02	OT	54	UNIV1020T54	
		地球環境論Ⅱ		2	UNIV	1	02	OT	55	UNIV1020T55	
	科学的 思考の 基盤・ 人間と 生活・ 社会の 理解	心理学概論	2		SCIE	1	02	OT	01	SCIE1020T01	
		物理学	1		SCIE	1	01	OT	02	SCIE1010T02	
		ヒューマンバイオロジー	2		SCIE	1	02	OT	03	SCIE1020T03	
		生命倫理	2		SCIE	3	02	OT	04	SCIE3020T04	
		統計学	2		SCIE	2	02	OT	05	SCIE2020T05	
		保健体育学		2	SCIE	1	02	OT	51	SCIE1020T51	
		保健体育実習		1	SCIE	1	01	OT	52	SCIE1010T52	
		医療経済学		1	SCIE	4	01	OT	53	SCIE4010T53	
		人間関係論	2		SCIE	1	02	OT	06	SCIE1020T06	
		人間関係論実習		1	SCIE	1	01	OT	54	SCIE1010T54	
		英語Ⅰ	1		SCIE	1	01	OT	07	SCIE1010T07	
		英語Ⅱ	1		SCIE	1	01	OT	08	SCIE1010T08	
		海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2	SCIE	1	02	OT	55	SCIE1020T55	
		海外短期フィールドワークⅡ（アジア）		2	SCIE	3	02	OT	56	SCIE3020T56	
	情報科学	2		SCIE	1	02	OT	09	SCIE1020T09		
	社会学		2	SCIE	1	02	OT	57	SCIE1020T57		
	アカデミックスキルズ	1		SCIE	1	01	OT	10	SCIE1010T10		
	学部 共通 留学 関係 科目	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a		2	ABRO	1	02	OT	51	ABRO1020T51	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b		2	ABRO	1	02	OT	52	ABRO1020T52	
		海外セメスター語学研修Ⅰ		4	ABRO	1	04	OT	53	ABRO1040T53	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a		2	ABRO	1	02	OT	54	ABRO1020T54	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b		2	ABRO	1	02	OT	55	ABRO1020T55	
		海外語学（英語）研修Ⅰ		2	ABRO	1	02	OT	56	ABRO1020T56	
		海外語学（英語）研修Ⅱ		2	ABRO	1	02	OT	57	ABRO1020T57	
海外語学（該当英語外）研修Ⅰ			2	ABRO	1	02	OT	58	ABRO1020T58		
海外語学（該当英語外）研修Ⅱ			2	ABRO	1	02	OT	59	ABRO1020T59		
海外語学（中国語）研修Ⅰ			2	ABRO	1	02	OT	60	ABRO1020T60		
海外語学（中国語）研修Ⅱ		2	ABRO	1	02	OT	61	ABRO1020T61			
専門 基礎 分野	人体 の構造 と機能 及び心 身の発 達	解剖学Ⅰ	1		HUMA	1	01	OT	01	HUMA1010T01	
		解剖学Ⅱ	1		HUMA	1	01	OT	02	HUMA1010T02	
		解剖学Ⅲ	1		HUMA	1	01	OT	03	HUMA1010T03	
		解剖学Ⅳ	1		HUMA	1	01	OT	04	HUMA1010T04	
		解剖学Ⅴ	1		HUMA	1	01	OT	05	HUMA1010T05	
		解剖学実習	1		HUMA	2	01	OT	06	HUMA2010T06	
		生理学Ⅰ	1		HUMA	1	01	OT	07	HUMA1010T07	
		生理学Ⅱ	1		HUMA	1	01	OT	08	HUMA1010T08	
		生理学Ⅲ	1		HUMA	1	01	OT	09	HUMA1010T09	
		生理学実習	1		HUMA	2	01	OT	10	HUMA2010T10	
		運動学	2		HUMA	1	02	OT	11	HUMA1020T11	
		人間発達学	1		HUMA	2	01	OT	12	HUMA2010T12	
	疾病と 障害の 成り立 ち及び 回復過 程の促 進	運動学実習	1		DISE	2	01	OT	01	DISE2010T01	
		病理学	1		DISE	2	01	OT	02	DISE2010T02	
		リハビリテーション医学	1		DISE	2	01	OT	03	DISE2010T03	
		臨床医学内科	1		DISE	2	01	OT	04	DISE2010T04	
		リハビリテーション内科	1		DISE	2	01	OT	05	DISE2010T05	
		臨床医学整形外科	1		DISE	2	01	OT	06	DISE2010T06	
		リハビリテーション整形外科	1		DISE	2	01	OT	07	DISE2010T07	
		臨床医学神経内科	1		DISE	2	01	OT	08	DISE2010T08	
		リハビリテーション神経内科	1		DISE	2	01	OT	09	DISE2010T09	
		臨床医学小児科	1		DISE	2	01	OT	10	DISE2010T10	
		臨床医学精神科	1		DISE	2	01	OT	11	DISE2010T11	
		リハビリテーション精神科	1		DISE	2	01	OT	12	DISE2010T12	
		臨床心理学	1		DISE	2	01	OT	13	DISE2010T13	
		薬理学	1		DISE	3	01	OT	14	DISE3010T14	
		救急医療・画像評価	1		DISE	2	01	OT	15	DISE2010T15	
		栄養学	1		DISE	2	01	OT	16	DISE2010T16	
		リハビ リテー ション の理 念	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	1		HEAL	4	01	OT	01	HEAL4010T01
			多職種連携論	1		HEAL	1	01	OT	02	HEAL1010T02
リハビリテーション概論	1			HEAL	1	01	OT	03	HEAL1010T03		
公衆衛生学	1			HEAL	2	01	OT	04	HEAL2010T04		
社会福祉概論	1			HEAL	3	01	OT	05	HEAL3010T05		
		医療リスクマネジメント	1							HEAL3010T05	

保健医療技術学部 作業療法学科 ナンバリング表

授業科目の名称			単位数		科目 グループ	配当 年次	単位数	学科	科目の 特定	ナンバリング
			必修	選択						
専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論	1		BAOC	1	01	OT	01	BAOC1010T01
		作業科学	1		BAOC	1	01	OT	02	BAOC1010T02
		基礎作業学演習 A	1		BAOC	1	01	OT	03	BAOC1010T03
		基礎作業学演習 B	1		BAOC	1	01	OT	04	BAOC1010T04
		基礎作業学演習 C		1	BAOC	2	01	OT	51	BAOC2010T51
		作業分析学	1		BAOC	2	01	OT	05	BAOC2010T05
	作業療法管理学	作業療法管理運営学	2		MAOC	4	02	OT	01	MAOC4020T01
		作業療法評価学概論	1		OCEV	1	01	OT	01	OCEV1010T01
	作業療法評価学	運動器作業療法評価学Ⅰ	1		OCEV	1	01	OT	02	OCEV1010T02
		運動器作業療法評価学Ⅱ	1		OCEV	2	01	OT	03	OCEV2010T03
		神経系作業療法評価学	1		OCEV	2	01	OT	04	OCEV2010T04
		発達期作業療法評価学	1		OCEV	2	01	OT	05	OCEV2010T05
		精神科作業療法評価学	1		OCEV	2	01	OT	06	OCEV2010T06
		高齢期作業療法評価学	1		OCEV	2	01	OT	07	OCEV2010T07
		動作分析学演習		2	OCEV	3	02	OT	51	OCEV3020T51
	作業療法治療学	作業療法理論と実践	1		OCIN	3	01	OT	01	OCIN3010T01
		福祉用具適用学	1		OCIN	2	01	OT	02	OCIN2010T02
		日常生活活動学	1		OCIN	2	01	OT	03	OCIN2010T03
		臨床作業療法Ⅰ	2		OCIN	3	02	OT	04	OCIN3020T04
		運動器作業療法学演習	1		OCIN	3	01	OT	05	OCIN3010T05
		精神科作業療法学演習Ⅰ	1		OCIN	3	01	OT	06	OCIN3010T06
		精神科作業療法学演習Ⅱ	1		OCIN	3	01	OT	07	OCIN3010T07
		発達期作業療法学演習Ⅰ	1		OCIN	3	01	OT	08	OCIN3010T08
		発達期作業療法学演習Ⅱ	1		OCIN	3	01	OT	09	OCIN3010T09
		神経系作業療法学演習Ⅰ	1		OCIN	3	01	OT	10	OCIN3010T10
		神経系作業療法学演習Ⅱ	1		OCIN	3	01	OT	11	OCIN3010T11
		高齢期作業療法学演習	1		OCIN	3	01	OT	12	OCIN3010T12
		内部障害作業療法学演習	1		OCIN	3	01	OT	13	OCIN3010T13
		義肢装具学	1		OCIN	3	01	OT	14	OCIN3010T14
		就労援助学演習	1		OCIN	3	01	OT	15	OCIN3010T15
		臨床作業療法Ⅱ	2		OCIN	3	02	OT	16	OCIN3020T16
		作業療法特講 A		1	OCIN	4	01	OT	51	OCIN4010T51
		作業療法特講 B		1	OCIN	4	01	OT	52	OCIN4010T52
		作業療法特講 C		1	OCIN	4	01	OT	53	OCIN4010T53
		作業療法特講 D		1	OCIN	4	01	OT	54	OCIN4010T54
		作業療法学演習		1	OCIN	4	01	OT	55	OCIN4010T55
		臨床実習インテグレーションⅠ	1		OCIN	2	01	OT	17	OCIN2010T17
		臨床実習インテグレーションⅡ	1		OCIN	3	01	OT	18	OCIN3010T18
		臨床実習インテグレーションⅢ	1		OCIN	3	01	OT	19	OCIN3010T19
	地域作業療法学	地域作業療法学演習Ⅰ	1		OCCO	1	01	OT	01	OCCO1010T01
		地域作業療法学演習Ⅱ	1		OCCO	2	01	OT	02	OCCO2010T02
		地域作業療法学	2		OCCO	3	02	OT	03	OCCO3020T03
	臨床実習	臨床基礎実習Ⅰ	4		CLIN	2	04	OT	01	CLIN2040T01
		臨床基礎実習Ⅱ	4		CLIN	3	04	OT	02	CLIN3040T02
		総合臨床実習Ⅰ	7		CLIN	4	07	OT	03	CLIN4070T03
		総合臨床実習Ⅱ	7		CLIN	4	07	OT	04	CLIN4070T04
		地域作業療法実習	1		CLIN	4	01	OT	05	CLIN4010T05
	作業療法学研究	作業療法研究法	1		RESE	3	01	OT	01	RESE3010T01
		研究計画法演習Ⅰ	1		RESE	3	01	OT	02	RESE3010T02
		研究計画法演習Ⅱ	1		RESE	3	01	OT	03	RESE3010T03
		卒業研究	2		RESE	4	02	OT	04	RESE4020T04

・2020（令和2）年度以降の入学用・

表 1－1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
基 礎 分	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	
		地球環境論Ⅱ	講義	1		2		30
		心理学概論	講義	1	2		30	
		物理学	講義	1	1		15	
		ヒューマンバイオロジー	講義	1	2		30	
		生命倫理	講義	3	2		30	
		統計学	講義	2	2			30
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育実習	実習	1		1		30
		医療経済学	講義	4		1		15
		人間関係論	講義	1	2		30	
		人間関係論実習	実習	1		1		30
		英語Ⅰ	演習	1	1		30	
		英語Ⅱ	演習	1	1			30
		海外短期フィールドワークⅠ（北米）	実習	1・2・3・4		2	30	
		海外短期フィールドワークⅡ（アジア）	実習	3		2		30
	学部共通留学関係	情報科学	講義	1	2		30	
		社会学	講義	1		2		30
		アカデミックスキルズ	講義	1	1		30	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a	実習	1・2・3・4		2	90	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能及び心身の発達	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	1・2・3・4		4	180	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（英語）研修Ⅰ	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（英語）研修Ⅱ	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅰ	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅱ	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（中国語）研修Ⅰ	実習	1・2・3・4		2	90	
		海外語学（中国語）研修Ⅱ	実習	1・2・3・4		2	90	
		解剖学Ⅰ	講義	1	1		30	
		解剖学Ⅱ	講義	1	1		30	
		解剖学Ⅲ	講義	1	1		30	
		解剖学Ⅳ	講義	1	1			30
		解剖学Ⅴ	講義	1	1			30
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	解剖学実習	実習	2	1			30
		生理学Ⅰ	講義	1	1		30	
		生理学Ⅱ	講義	1	1			30
		生理学Ⅲ	講義	1	1			30
		生理学実習	実習	2	1			30
		運動学	講義	1	2			60
		人間発達学	講義	2	1		30	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	運動学実習	実習	2	1		30	
		病理学	講義	2	1		30	
		リハビリテーション医学	講義	2	1		30	
		臨床医学内科	講義	2	1		30	
		リハビリテーション内科	講義	2	1			15
		臨床医学整形外科	講義	2	1		30	

● 2020（令和2）年度以降の入学用 ●

表 1－1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	リハビリテーション整形外科	講義	2	1			15
		臨床医学神経内科	講義	2	1		30	
		リハビリテーション神経内科	講義	2	1			15
		臨床医学小児科	講義	2	1		15	
		臨床医学精神科	講義	2	1		30	
		リハビリテーション精神科	講義	2	1			15
		臨床心理学	講義	2	1			30
		薬理学	講義	3	1			30
		救急医療・画像評価	講義	2	1			15
		栄養学	講義	2	1			15
	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	多職種連携論	講義	4	1			15
		リハビリテーション概論	講義	1	1		15	
		公衆衛生学	講義	1	1			30
		社会福祉概論	講義	2	1		30	
		医療リスクマネジメント	講義	3	1			15
専 門 分 野	基礎作業療法学	作業療法概論	講義	1	1		30	
		作業科学	講義	1	1			30
		基礎作業学演習 A	演習	1	1		30	
		基礎作業学演習 B	演習	1	1			30
		基礎作業学演習 C	演習	2		1	30	
		作業分析学	講義	2	1			30
		作業療法管理運営学	講義	4	2			15
	作業療法評価学	作業療法評価学概論	講義	1	1			30
		運動器作業療法評価学Ⅰ	講義	1	1			15
		運動器作業療法評価学Ⅱ	演習	2	1		30	
		神経系作業療法評価学	講義	2	1			30
		発達期作業療法評価学	講義	2	1		30	
		精神科作業療法評価学	講義	2	1			30
		高齢期作業療法評価学	講義	2	1		30	
		動作分析学演習	演習	3		2	30	
	作業療法	作業療法理論と実践	講義	3	1		30	
		福祉用具適学	講義	2	1		30	
		日常生活活動学	講義	2	1		30	
		臨床作業療法Ⅰ	演習	3	2		60	
		運動器作業療法学演習	演習	3	1		30	
		精神科作業療法学演習Ⅰ	演習	3	1		30	
		精神科作業療法学演習Ⅱ	演習	3	1			30
		発達期作業療法学演習Ⅰ	演習	3	1		30	
		発達期作業療法学演習Ⅱ	演習	3	1			30
		神経系作業療法学演習Ⅰ	演習	3	1		30	
		神経系作業療法学演習Ⅱ	演習	3	1			30
		高齢期作業療法学演習	演習	3	1		30	
		内部障害作業療法学演習	演習	3	1			15
		義肢装具学	演習	3	1			30
		就労援助学演習	演習	3	1		30	
		臨床作業療法Ⅱ	演習	3	2			45
		作業療法特講 A	講義	4		1		15
		作業療法特講 B	講義	4		1		15
		作業療法特講 C	講義	4		1		15
		作業療法特講 D	講義	4		1		15
		作業療法学演習	演習	4		1		30
		臨床実習インテグレーションⅠ	演習	2	1			15
		臨床実習インテグレーションⅡ	演習	3	1		15	
		臨床実習インテグレーションⅢ	演習	3	1			15

• 2020（令和2）年度以降の入学用 •

表 1－1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専 門 分 野	地域 療法 学	地域作業療法学演習Ⅰ	演習	1	1			30
		地域作業療法学演習Ⅱ	演習	2	1			30
		地域作業療法学	講義	3	2		30	
	臨床 実習	臨床基礎実習Ⅰ	実習	2	4			160
		臨床基礎実習Ⅱ	実習	3	4			160
		総合臨床実習Ⅰ	実習	4	7		280	
		総合臨床実習Ⅱ	実習	4	7		280	
		地域作業療法実習	実習	4	1			40
	作業 療法 研究	作業療法研究法	講義	3	1		15	
		研究計画法演習Ⅰ	演習	3	1		30	
		研究計画法演習Ⅱ	演習	3	1			30
		卒業研究	演習	4	2			60

1. 他学科・他学部の単位修得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a，b」は2年生、3年生も履修できる。

● 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学者用 ●

表 1－1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム

授 業 科 目 の 名 称				形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
						必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	科学的思考の基盤・人間と生活	大学特別科目	人間共生論	講義	1	2		30	
			新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
			新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
			新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
			地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	
			地球環境論Ⅱ	講義	1		2		30
		心理学概論	講義	1	2		30		
		物理学	講義	1	2		30		
		化学	講義	1	2		30		
		生物学	講義	1	2		30		
		生命科学（生命倫理）	講義	3	2		30		
		統計学	講義	2	2			30	
		保健体育学	講義	1		2	30		
		保健体育実習	実習	1		1		30	
		医療経済学	講義	4		1		15	
		人間関係論	講義	1		2	30		
		人間関係論実習	実習	1		1		30	
		英語Ⅰ	演習	1	1		30		
		英語Ⅱ	演習	1	1			30	
		海外短期フィールドワークⅠ（北米）	実習	2・3・4		2			
		海外短期フィールドワークⅡ（アジア）	実習	2・3・4		2			
		情報科学	講義	1	2		30		
		社会学	講義	1		2		30	
		哲学	講義	1		2		30	
	学部共通留学関係	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90		
		海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	2・3・4		4	180		
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90		
海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ b		実習	2・3・4		2	90			
海外セメスター語学研修Ⅱ		実習	2・3・4		4	180			
海外語学（英語）研修Ⅰ		実習	2・3・4		2	90			
海外語学（英語）研修Ⅱ		実習	2・3・4		2	90			
海外語学（該当英語外）研修Ⅰ		実習	2・3・4		2	90			
海外語学（該当英語外）研修Ⅱ		実習	2・3・4		2	90			
海外語学（中国語）研修Ⅰ		実習	2・3・4		2	90			
海外語学（中国語）研修Ⅱ		実習	2・3・4		2	90			
専 門 基 礎 分 野		人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	講義	1	2		60	
			解剖学Ⅱ	講義	1	1			30
	解剖学Ⅲ		講義	1	1		30		
	解剖学Ⅳ		講義	1	1			30	
	解剖学実習		実習	2	1			30	
	生理学Ⅰ A		講義	1	1		30		
	生理学Ⅰ B		講義	1	1		30		
	生理学Ⅱ		講義	1	1			30	
	生理学実習		実習	2	1			30	
	生化学		講義	1	1			30	
	運動学		講義	1	2			60	
	人間発達学		講義	2	1		30		

● 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学用 ●

表 1－1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	運動学実習	実習	2	1		30	
		病理学	講義	2	1		30	
		リハビリテーション医学	講義	2	1		30	
		臨床医学内科Ⅰ	講義	2	1		30	
		臨床医学内科Ⅱ	講義	2	1			30
		臨床医学整形外科Ⅰ	講義	2	1		30	
		臨床医学整形外科Ⅱ	講義	2	1		30	
		臨床医学神経内科Ⅰ	講義	2	1		30	
		臨床医学神経内科Ⅱ	講義	2	1			30
		臨床医学小児科	講義	2	1		15	
		臨床医学精神科Ⅰ	講義	2	1		30	
		臨床医学精神科Ⅱ	講義	2	1			30
		臨床心理学	講義	2	1			30
		薬理学	講義	3	1			30
	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテーション概論	講義	1	1		15	
		公衆衛生学	講義	1	1			30
		社会福祉概論	講義	2	1		30	
		医療リスクマネジメント	講義	3	1			15
		チーム医療論Ⅰ	講義	4	1		15	
専 門 分 野	基礎作業療法学	コミュニケーションスキルズ	演習	1	1		15	
		作業療法概論Ⅰ	講義	1	1		30	
		作業療法概論Ⅱ	講義	1	1			30
		作業科学	講義	1	1			30
		基礎作業学演習A	演習	1		1		30
		基礎作業学演習B	演習	1		1		30
		基礎作業学演習C	演習	2		1	30	
		基礎作業学演習D	演習	2		1	30	
		作業分析学	講義	2	1			30
		作業療法研究法	講義	3	1		15	
		管理運営学	講義	4	1			15
	作業療法評価学	作業療法評価学概論	講義	1	1			30
		運動器障害作業療法評価学Ⅰ	講義	1	1			15
		運動器障害作業療法評価学Ⅱ	演習	2	1		30	
		神経障害作業療法評価学	講義	2	1		30	
		発達障害作業療法評価学	講義	2	1		30	
		精神障害作業療法評価学	講義	2	1			30
		老年期作業療法評価学	講義	2	1			30
		動作分析学演習	演習	3		2	45	
	作業療法治療学	作業療法理論	講義	2	1			15
		人間工学	講義	2	1		30	
		日常生活活動学	講義	2	1			30
		作業療法総論	演習	3	2		60	
		作業療法治療学原論	講義	3	1		30	
		運動器障害作業療法学演習	演習	3	1		30	
		精神障害作業療法学演習Ⅰ	演習	3	1		30	
		精神障害作業療法学演習Ⅱ	演習	3	1			30
		発達障害作業療法学演習	演習	3	2			60
		神経障害作業療法学演習Ⅰ	演習	3	1		30	
		神経障害作業療法学演習Ⅱ	演習	3	1			30
		老年期作業療法学演習	演習	3	1		30	
		義肢装具学	演習	3	1			30

• 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学者用 •

表 1－1 保健医療技術学部 作業療法学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専 門 分 野	作 業 療 法 治 療 学	就労援助学演習	演習	3	1		30	
		作業療法学総合演習	演習	3		2		45
		臨床技術演習	演習	3	1			30
		作業療法特講 A	講義	4		1		15
		作業療法特講 B	講義	4		1		15
		作業療法特講 C	講義	4		1		15
		作業療法特講 D	講義	4		1		15
		作業療法学演習	演習	4		1		30
		研究計画法演習 I	演習	3	1		30	
		研究計画法演習 II	演習	3	1			30
		卒業研究	演習	4	2			60
	地 域 作 業 療 法 学	地域作業療法学演習 I	演習	1	1			30
		地域作業療法学演習 II	演習	2	1		30	
		地域作業療法学	講義	3	2		30	
		ヘルスプロモーション論	講義	3	2			30
	臨 床 実 習	臨床基礎実習 I	実習	2	3			135
		臨床基礎実習 II	実習	3	4			180
		総合臨床実習 I	実習	4	8		360	
		総合臨床実習 II	実習	4	8		360	

1. 他学科・他学部の単位修得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活科目の領域として扱う。
2. 「新・文明の旅特講 a, b」は2年生、3年生も履修できる。

表 2－1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
基礎分野	科学的思考の基盤・ 人間と生活・ 社会の理解	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、21単位以上修得すること。
			新・文明の旅特講 a		2	
			新・文明の旅特講 b		2	
			新・文明の旅総合講義		2	
			地球環境論Ⅰ		2	
			地球環境論Ⅱ		2	
			心理学概論	2		
			物理学	1		
			ヒューマンバイオロジー	2		
			生命倫理	2		
			統計学	2		
			保健体育学		2	
			保健体育実習		1	
			医療経済学		1	
	人間関係論	2				
	人間関係論実習		1			
	英語Ⅰ	1				
	英語Ⅱ	1				
	海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2			
	海外短期フィールドワークⅡ（アジア）		2			
	情報科学	2				
社会学		2				
アカデミックスキルズ	1					
学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a		2			
	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b		2			
	海外セメスター語学研修Ⅰ		4			
	海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a		2			
	海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b		2			
	海外語学（英語）研修Ⅰ		2			
	海外語学（英語）研修Ⅱ		2			
	海外語学（該当英語外）研修Ⅰ		2			
	海外語学（該当英語外）研修Ⅱ		2			
	海外語学（中国語）研修Ⅰ		2			
海外語学（中国語）研修Ⅱ		2				
(小 計)		(14)		18	45	
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学Ⅰ	1		専門基礎分野において、必修科目34単位修得すること。
			解剖学Ⅱ	1		
			解剖学Ⅲ	1		
			解剖学Ⅳ	1		
			解剖学Ⅴ	1		
			解剖学実習	1		
			生理学Ⅰ	1		
			生理学Ⅱ	1		
			生理学Ⅲ	1		
			生理学実習	1		
			運動学	2		
			人間発達学	1		

• 2020（令和2）年度以降の入学用 •

表 2－1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	運動学実習	1		専 門 基 礎 分 野 において、必修 科目 34 単位 修 得すること。
			病理学	1		
			リハビリテーション医学	1		
			臨床医学内科	1		
			リハビリテーション内科	1		
			臨床医学整形外科	1		
			リハビリテーション整形外科	1		
			臨床医学神経内科	1		
			リハビリテーション神経内科	1		
			臨床医学小児科	1		
			臨床医学精神科	1		
			リハビリテーション精神科	1		
			臨床心理学	1		
			薬理学	1		
			救急医療・画像評価	1		
			栄養学	1		
	保健医療福祉と リハビリテーションの 理念	4	多職種連携論	1		
			リハビリテーション概論	1		
			医療リスクマネジメント	1		
			社会福祉概論	1		
			公衆衛生学	1		
	(小 計)	(30)		34	0	
専 門 分 野	基礎作業療法学	5	作業療法概論	1		専 門 分 野 に お い て、必修科目を含め、70 単位修得すること。
			基礎作業学演習 A	1		
			基礎作業学演習 B	1	1	
			基礎作業学演習 C			
			作業科学	1		
			作業分析学	1		
	作業療法管理学	2	作業療法管理運営学	2		
	作業療法評価学	5	作業療法評価学概論	1		
			運動器作業療法評価学Ⅰ	1		
			運動器作業療法評価学Ⅱ	1		
			神経系作業療法評価学	1		
			発達期作業療法評価学	1		
			精神科作業療法評価学	1		
			高齢期作業療法評価学	1		
			動作分析学演習		2	

• 2020（令和2）年度以降の入学用 •

表 2－1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	作業療法治療学	19	作業療法理論と実践	1		専門分野において、必修科目を含め、70 単位修得すること。
			福祉用具適用学	1		
			日常生活活動学	1		
			臨床作業療法Ⅰ	2		
			運動器作業療法学演習	1		
			精神科作業療法学演習Ⅰ	1		
			精神科作業療法学演習Ⅱ	1		
			発達期作業療法学演習Ⅰ	1		
			発達期作業療法学演習Ⅱ	1		
			神経系作業療法学演習Ⅰ	1		
			神経系作業療法学演習Ⅱ	1		
			高齢期作業療法学演習	1		
			内部障害作業療法学演習	1		
			義肢装具学	1		
			就労援助学演習	1		
			臨床作業療法Ⅱ	2		
			作業療法特講A		1	
			作業療法特講B		1	
			作業療法特講C		1	
			作業療法特講D		1	
			作業療法学演習		1	
	地域作業療法学	4	臨床実習インテグレーションⅠ	1		
			臨床実習インテグレーションⅡ	1		
			臨床実習インテグレーションⅢ	1		
野	臨床実習	22	地域作業療法学演習Ⅰ	1		
			地域作業療法学演習Ⅱ	1		
			地域作業療法学	2		
			臨床基礎実習Ⅰ	4		
			臨床基礎実習Ⅱ	4		
	作業療法研究		総合臨床実習Ⅰ	7		
			総合臨床実習Ⅱ	7		
			地域作業療法実習	1		
	(小 計)	(57)	作業療法研究法	1		
			研究計画法演習Ⅰ	1		
			研究計画法演習Ⅱ	1		
			卒業研究	2		
	合 計	101		67	8	
				119	53	

表 2－1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授業科目	単位数		備考	
				必修	選択		
基礎分野	科学的思考の基盤・ 人間と生活	14	人間共生論	2		基礎分野において、必修科目を含め、18単位以上修得すること。	
			新・文明の旅特講 a		2		
			新・文明の旅特講 b		2		
			新・文明の旅総合講義		2		
			地球環境論Ⅰ		2		
			地球環境論Ⅱ		2		
			心理学概論	2			
			物理学	2			
			化学	2			
			生物学	2			
			生命科学（生命倫理）	2			
			統計学	2			
			保健体育学		2		
			保健体育実習		1		
			医療経済学		1		
			人間関係論		2		
			人間関係論実習		1		
			英語Ⅰ	1			
	英語Ⅱ	1					
	海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2				
	海外短期フィールドワークⅡ（アジア）		2				
	情報科学	2		2			
	社会学		2				
	哲学		2				
	学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a		2			
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b		2			
海外セメスター語学研修Ⅰ			4				
海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ a			2				
海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ b			2				
海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a			2				
海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b			2				
海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ a			2				
海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ b			2				
海外セメスター語学研修Ⅱ			4				
海外語学（英語）研修Ⅰ			2				
海外語学（英語）研修Ⅱ			2				
海外語学（該当英語外）研修Ⅰ			2				
海外語学（該当英語外）研修Ⅱ			2				
海外語学（中国語）研修Ⅰ			2				
海外語学（中国語）研修Ⅱ			2				
(小 計)		(14)		18		61	
専門基礎分野		人体の構造と機能 及び心身の発達	12	解剖学Ⅰ		2	
	解剖学Ⅱ			1			
	解剖学Ⅲ			1			
	解剖学Ⅳ			1			
	解剖学実習			1			
	生理学Ⅰ A			1			
	生理学Ⅰ B			1			
	生理学Ⅱ			1			
	生理学実習			1			
	生化学			1			
	運動学			2			
	人間発達学			1			

• 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学者用 •

表 2－1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12	運動学実習	1		専 門 基 礎 分 野 において、必修 科目 33 単位 修 得すること。
			病理学	1		
			リハビリテーション医学	1		
			臨床医学内科Ⅰ	1		
			臨床医学内科Ⅱ	1		
			臨床医学整形外科Ⅰ	1		
			臨床医学整形外科Ⅱ	1		
			臨床医学神経内科Ⅰ	1		
			臨床医学神経内科Ⅱ	1		
			臨床医学小児科	1		
			臨床医学精神科Ⅰ	1		
			臨床医学精神科Ⅱ	1		
			臨床心理学	1		
			薬理学	1		
	保健医療福祉と リハビリテーションの 理念	2	チーム医療論Ⅰ リハビリテーション概論 医療リスクマネジメント 社会福祉概論 公衆衛生学	1 1 1 1 1		
	（小 計）	（26）		33	0	
専 門 分 野	基礎作業療法学	6	コミュニケーションスキルズ	1		専 門 分 野 に お い て、必修科目を 含め、66 単位 修 得すること。 （基礎作業療法学 からは必修単位 を含め 9 単位 以 上 修得すること）
			作業療法概論Ⅰ	1		
			作業療法概論Ⅱ	1		
			作業療法研究法	1		
			管理運営学	1		
			基礎作業学演習 A		1	
			基礎作業学演習 B		1	
			基礎作業学演習 C		1	
			基礎作業学演習 D		1	
			作業科学	1		
			作業分析学	1		
	作業療法評価学	5	作業療法評価学概論	1		
			運動器障害作業療法評価学Ⅰ	1		
			運動器障害作業療法評価学Ⅱ	1		
			神経障害作業療法評価学	1		
			発達障害作業療法評価学	1		
			精神障害作業療法評価学	1		
			老年期作業療法評価学	1		
			動作分析学演習		2	

• 2014（平成26）～2019（令和元）年度の入学者用 •

表 2－1 作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	作業療法治療学	20	作業療法治療学原論	1		専門分野において、必修科目を含め、66単位修得すること。 （基礎作業療法学からは必修単位を含め9単位以上修得すること）
			人間工学	1		
			作業療法理論	1		
			日常生活活動学	1		
			作業療法総論	2		
			運動器障害作業療法学演習	1		
			精神障害作業療法学演習Ⅰ	1		
			精神障害作業療法学演習Ⅱ	1		
			発達障害作業療法学演習	2		
			神経障害作業療法学演習Ⅰ	1		
			神経障害作業療法学演習Ⅱ	1		
			老年期作業療法学演習	1		
			義肢装具学	1		
			就労援助学演習	1		
			作業療法学総合演習		2	
			臨床技術演習	1		
			作業療法特講A		1	
			作業療法特講B		1	
			作業療法特講C		1	
			作業療法特講D		1	
	地域作業療法学	4	作業療法学演習		1	
			研究計画法演習Ⅰ	1		
			研究計画法演習Ⅱ	1		
			卒業研究	2		
	地域作業療法学	4	地域作業療法学演習Ⅰ	1		
			地域作業療法学演習Ⅱ	1		
			地域作業療法学	2		
			ヘルスプロモーション論	2		
	臨床実習	18	臨床基礎実習Ⅰ	3		
			臨床基礎実習Ⅱ	4		
			総合臨床実習Ⅰ	8		
			総合臨床実習Ⅱ	8		
	（小 計）	（53）		64	13	
	合 計	93		115	74	

文京学院大学保健医療技術学部作業療法学科卒業研究要綱

1. 卒業研究の目的

【一般目標】

本学科で学んだ知識・技術・態度をもとに自らの知識と問題探求の姿勢を土台に作業療法研究を自ら行える力を養うこと。

【行動目標】

- ① 問題意識を持ち課題を探究することができる。
- ② 先行研究を分析し、自らの研究に活用することができる。
- ③ 計画性をもって研究に臨むことができる。
- ④ 課題解決のための創造性を身につけることができる。

2. 卒業研究の内容

研究内容は教員の指導のもとで興味・関心に基づき、先行研究を展望し、適切な研究テーマを選択して課題を設定する。調査または実験・観察などにより解明し、論文の形にまとめ、口頭発表を行なうことである。

3. 卒業研究の指導方法

教員が複数の学生を担当するゼミナール形式で行う。学生は卒業研究に必要な知識を深め、担当教員の指導に基づき研究を進める。

4. 配当年次と単位数

4年次の必修科目であり2単位である。

5. 実施スケジュール

3年次の研究計画法演習Ⅰ・Ⅱを準備段階として、4年次4月より始め、11月に論文を提出し卒業研究発表会で発表する。

6. 卒業研究の成績評価について

行動目標①から④について、ゼミナールにおける学生の研究活動と作成された論文は担当教員が判定する（70%配分）。卒業研究発表における判定は、学科教員全員で決定する（30%配分）。

VII 臨床検査学科

「臨床検査技師国家試験受験資格」について

取得可能な認定資格について

カリキュラムマップ

ナンバリング

カリキュラム

国家試験受験資格の授業科目履修方法

臨地実習について

卒業研究要綱

VII 臨床検査学科

臨床検査学科で取得可能な資格「臨床検査技師国家試験受験資格」について

1. 臨床検査技師とは

『医療法等の一部を改正する法律』（平成 29 年 6 月 14 日公布）により、『臨床検査技師等に関する法律』で定められる臨床検査技師の定義は次のようになります。

この法律で、「臨床検査技師」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、臨床検査技師の名称を用いて、医師又は歯科医師の指示の下に、人体から排出され、又は採取された検体の検査として厚生労働省令で定めるもの（以下「検体検査」という。）及び厚生労働省令で定める生理学的検査を行うことを業とする者をいう。

2. 臨床検査技師の免許

臨床検査技師の免許は、臨床検査技師国家試験に合格した者に与えられます。試験は検査に必要な知識及び技能（採血及び検体採取に必要な知識及び技能を含む）について、厚生労働大臣が毎年少なくとも 1 回行います。

3. 臨床検査技師国家試験受験資格の取得要件

『臨床検査技師等に関する法律施行令』で、臨床検査技師国家試験を受けることができる要件の一つとして、以下の場合が定められています。

学校教育法に基づく大学において保健衛生学の正規の課程を修めて卒業した者で、生理学的検査並びに採血及び検体採取に関する科目で厚生労働大臣の指定するものを修めたもの。

本学臨床検査学科の科目は、厚生労働大臣が指定した科目に該当することが厚生労働省との協議において承認されています。したがって、卒業が認められれば臨床検査技師国家試験受験資格が得られます。

4. 臨床検査技師国家試験

臨床検査技師国家試験は例年 2 月第 3 水曜日に行われています。卒業見込み者は受験の手続きを進めます。

臨床検査技師国家試験の内容を具体的な項目に拠って示しているのが国家試験出題基準です。これにより妥当な範囲が示され、適切なレベルが確保されます。試験科目は以下の 10 科目から構成されています。

臨床検査総論、臨床検査医学総論、臨床生理学、臨床化学、病理組織細胞学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学、公衆衛生学、医用工学概論
--

合格基準は次のように定められています。

配点を 1 問 1 点、合計 200 点満点とし、次の基準を満たした者を合格とする。 総得点 120 点以上／200 点

合格発表は例年 3 月下旬に行われています。臨床検査技師国家試験問題と正答は厚生労働省によって公開されています。

5. 参考

『臨床検査技師等に関する法律』

(https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc_keyword?keyword=%E8%87%A8%E5%BA%8A%E6%A4%9C%E6%9F%BB%E6%8A%80%E5%B8%AB%E7%AD%89%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E6%B3%95%E5%BE%8B&dataId=80018000&dataType=0&pageNo=1&mode=0 ; 2022 年 1 月 11 日確認)



『臨床検査技師等に関する法律施行令』

(https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc_keyword?keyword=%E8%87%A8%E5%BA%8A%E6%A4%9C%E6%9F%BB%E6%8A%80%E5%B8%AB%E7%AD%89%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E6%B3%95%E5%BE%8B&dataId=80020000&dataType=0&pageNo=1&mode=0 ; 2022 年 1 月 11 日確認)



『臨床検査技師国家試験問題および正答について』第 67 回 (2021 年 2 月 17 日実施)

(https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/topics/tp210416-07.html ; 2022 年 1 月 11 日確認)



『令和 3 年版臨床検査技師国家試験出題基準について』

(<https://www.mhlw.go.jp/topics/2009/05/tp0513-1.html>; 2022 年 1 月 11 日確認)



『国家試験合格発表』

(https://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shikaku_shiken/goukaku.html ; 2022 年 1 月 11 日確認)



臨床検査学科で取得可能な認定資格について

1. 健康食品管理士

健康食品管理士認定資格（日本食品安全協会）とは、健康食品に関するさまざまな問題に対し、的確な判断ができるアドバイザースタッフです。本学保健医療技術学部臨床検査学科で指定科目を修得することにより受験資格を取得し、試験に合格した者に与えられる認定資格です。

1) 健康食品管理士とは

日本食品安全協会が、健康食品に関わる品質保証に基づく安全性、健康食品と薬剤との有効性の比較、当該健康食品を摂取する対象者の的確な選択、食品摂取者の健康状態などを判断できる人材を「健康食品管理士」として認定する資格です。

2) 認定試験の受験資格者

協会が認めた認定校で指定教育カリキュラムすべてを履修した者。なお、本学臨床検査学科は、日本食品安全協会の認定団体となっており、2021（令和3）年度以前の入学生は必修科目のほか「健康食品総論（4年次）」、「栄養化学（1、4年次）」、「薬理学（4年次）」の各選択科目を修得することにより受験資格を得ることになります。2022（令和4）年度以降の入学生は必修科目のほか「健康食品総論（1～4年次）」の選択科目を4年次に修得することにより受験資格を得る予定です。

3) 認定試験の受験申請

- 受験申込み 日本食品安全協会のホームページで確認すること
<http://www.ffcci.jp/>
受験申請は大学で一括して行います。受験申請日程は、担当教員より後日連絡いたします。

4) 認定試験

①試験日：試験日程は、担当教員より後日連絡いたします。

②試験の科目および方法

a) 試験科目

- (1) 健康食品総論
- (2) 健康食品各論
- (3) 食品と栄養
- (4) 食品表示・食品の安全性
- (5) 疾患と栄養
- (6) 医薬品と食品の相互作用
- (7) 関係法規
- (8) 疾患と病態解析

ただし、有する資格による科目免除はありません。

b) 試験の方法

択一式の学科試験

82

工 棟数の年次で履修できる選択科目
必修科目
 選択科目
 実習・演習(を含む)科目
 —— とくに対応 関連している科目
 2022年2月作成

保健医療技術学部科目ナンバリング体系（臨床検査学科）

1 1桁の英数字を使用

科目グループ + 配当年次 + 単位数 + 学科番号 + 科目特定番号

サンプル **UNIV102CM01**

UNIV
1
02
CM
01

①
②
③
④
⑤

①科目グループ：4つのアルファベット（下記の表）

②配当年次：1：1年次・2：2年次・3：3年次・4：4年次

※配当年次1・2・3・4の場合は1で表記（履修できる最小年次で表記）

③単位数：2桁で表示

④学科番号：PT：理学療法学科・OT：作業療法学科・CM：臨床検査学科・NS：看護学科

⑤科目特定番号：01～50までの番号は必修科目・51～99までの番号は選択科目

科目グループアルファベット対照表

臨床検査学科

区分	区分あるいは科目グループ	科目グループ英語名称
基本科目	大学特別科目	UNIV
	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	LIBE
	学部共通留学関係科目	ABRO
専門基礎科目	人体の構造と機能	HUMA
	臨床検査の基礎とその疾病との関連	DISE
	保健医療福祉と臨床検査	HEAL
	医療工学及び医療情報	ENGI
専門科目	病態学	CLIN
	血液学的検査	HAEM
	病理学的検査	PATH
	尿・糞便等一般検査	URIN
	生化学的検査・免疫学的検査	BIOC
	遺伝子関連・染色体検査	GENE
	輸血・移植検査	TRAN
	微生物学的検査	MICR
	生理学的検査	PHYS
	臨床検査総合管理	MANA
	医療安全管理	SAFE
	卒業研究	RESE
	臨地実習	PRAC

保健医療技術学部 臨床検査学科 ナンバリング表

		授業科目の名称	形態	配当年次	単位数		時間数		科目グループ	科目の 特定	ナンバリング
					必修	選択	必修	選択			
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	大学特別科目	人間共生論	講義	1	2	30		UNIV	01	UNIV102CM01
			新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	UNIV	51	UNIV102CM51
			新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2	30	UNIV	52	UNIV102CM52
			新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	UNIV	53	UNIV102CM53
			地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	UNIV	54	UNIV102CM54
			地球環境論Ⅱ	講義	1		2	30	UNIV	55	UNIV102CM55
			心理学概論	講義	1	2		30	LIBE	01	LIBE102CM01
			数学	講義	1	2		30	LIBE	02	LIBE102CM02
			物理学	講義	1	2		30	LIBE	03	LIBE102CM03
			基礎化学	講義	1		1	15	LIBE	51	LIBE101CM51
			化学（無機・有機）	講義	1	2		30	LIBE	04	LIBE102CM04
			化学実習（無機・有機）	実習	1	1		45	LIBE	05	LIBE101CM05
			生物学	講義	1	2		30	LIBE	06	LIBE102CM06
			人間関係論	講義	1		2	30	LIBE	52	LIBE102CM52
			保健体育学	講義	1		2	30	LIBE	53	LIBE102CM53
			保健体育学実習	実習	1		1	30	LIBE	54	LIBE101CM54
			英語Ⅰ	演習	1	1		30	LIBE	07	LIBE101CM07
			英語Ⅱ	演習	1	1		30	LIBE	08	LIBE101CM08
			医療英語演習Ⅰ a	演習	2	1		30	LIBE	09	LIBE201CM09
			医療英語演習Ⅰ b	演習	2	1		30	LIBE	10	LIBE201CM10
	学部共通留学関係科目		海外短期フィールドワークⅠ（北米）	実習	1・2・3・4		2	30	LIBE	55	LIBE102CM55
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	ABRO	51	ABRO202CM51
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	ABRO	52	ABRO202CM52
			海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	2・3・4		4	180	ABRO	53	ABRO204CM53
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	ABRO	56	ABRO202CM56
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	ABRO	57	ABRO202CM57
			海外語学（英語）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	ABRO	61	ABRO202CM61
			海外語学（英語）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	ABRO	62	ABRO202CM62
			海外語学（該当英語外）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	ABRO	63	ABRO202CM63
			海外語学（該当英語外）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	ABRO	64	ABRO202CM64
専門基礎分野	人体の構造と機能		解剖学Ⅰ	講義	1	1		30	HUMA	01	HUMA101CM01
			解剖学Ⅱ	講義	1	1		30	HUMA	02	HUMA101CM02
			解剖学実習	実習	1	1		30	HUMA	03	HUMA101CM03
			生理学Ⅰ	講義	1	1		30	HUMA	04	HUMA101CM04
			生理学Ⅱ	講義	1	1		30	HUMA	05	HUMA101CM05
			生化学Ⅰ	講義	1	1		30	HUMA	06	HUMA101CM06
			生化学Ⅱ	講義	2	1		30	HUMA	07	HUMA201CM07
			生化学実習	実習	2	1		45	HUMA	08	HUMA201CM08
	臨床検査の基礎とその疾病との関連		病理学	講義	1	2		30	DISE	01	DISE102CM01
			栄養と薬理	講義	4	1		30	DISE	02	DISE401CM02
			チーム医療概論	講義	3	2		30	DISE	03	DISE302CM03
			健康食品総論	講義	4		2	30	DISE	51	DISE202CM51
	保健医療福祉と臨床検査		公衆衛生学Ⅰ	講義	1	1		30	HEAL	01	HEAL101CM01
			公衆衛生学Ⅱ	講義	1	1		30	HEAL	02	HEAL101CM02
			公衆衛生学実習	実習	2	1		45	HEAL	03	HEAL201CM03
			統計学	講義	2	2		30	HEAL	04	HEAL202CM04
			保健医療福祉総論	講義	2	2		30	HEAL	05	HEAL202CM05
	医療工学及び医療情報		医用工学概論	講義	2	1		30	ENGI	01	ENGI201CM01
			医用工学実習	実習	2	1		30	ENGI	02	ENGI201CM02
			情報科学	講義	1	2		30	ENGI	03	ENGI102CM03

保健医療技術学部 臨床検査学科 ナンバリング表

授業科目の名称			形態	配当年次	単位数		時間数		科目 グループ	科目の 特定	ナンバリング
					必修	選択	必修	選択			
専門分野	病態学	医療工学及び医療情報	講義	3	1		30		CLIN	01	CLIN301CM01
		臨床医学総論Ⅰ	講義	3	1		30		CLIN	02	CLIN301CM02
		臨床医学総論Ⅱ	講義	3	1		30		CLIN	03	CLIN301CM03
		救急総論	講義	3		2	30		CLIN	51	CLIN302CM51
		臨床病理学	講義	3	2		30		CLIN	04	CLIN302CM04
		病態解析学	講義	4	2		30		CLIN	05	CLIN302CM05
	血液学的検査	血液検査学Ⅰ	講義	2	1		30		HAEM	01	HAEM201CM01
		血液検査学Ⅱ	講義	3	1		30		HAEM	02	HAEM301CM02
		血液検査学実習Ⅰ	実習	2	1		30		HAEM	03	HAEM301CM03
		血液検査学実習Ⅱ	実習	3	1		30		HAEM	04	HAEM301CM04
	病理学的検査	臨床検査概論	講義	1	1		30		PATH	01	PATH101CM01
		病理検査学Ⅰ	講義	2	1		30		PATH	02	PATH201CM02
		病理検査学Ⅱ	講義(実習)	2	1		30		PATH	03	PATH201CM03
		病理検査学実習	実習	2	2		60		PATH	04	PATH202CM04
	一般検査等	一般検査学Ⅰ	講義	1	1		30		URIN	01	URIN101CM01
		一般検査学Ⅱ	講義	2	1		30		URIN	02	URIN201CM02
		一般検査学実習	実習	2	1		45		URIN	03	URIN201CM03
		医動物学Ⅰ	講義	2	1		30		URIN	04	URIN201CM04
		医動物学Ⅱ(含む実習)	講義(実習)	2	1		15		URIN	05	URIN201CM05
	免疫学的検査・生化学的検査	臨床化学検査学Ⅰa	講義	2	1		30		BIOC	01	BIOC201CM01
		臨床化学検査学Ⅰb	講義	2	1		30		BIOC	02	BIOC201CM02
		臨床化学検査学Ⅱ	講義	4	1		30		BIOC	03	BIOC401CM03
		臨床化学検査学実習	実習	2	2		60		BIOC	04	BIOC202CM04
		免疫学	講義	2	1		30		BIOC	05	BIOC201CM05
	遺伝子検査・染色体検査	遺伝子検査学	講義	2	1		30		GENE	01	GENE201CM01
		遺伝子検査学実習	実習	2	1		30		GENE	02	GENE201CM02
		分子生物学	講義	1	2		30		GENE	03	GENE102CM03
	移植検査	免疫検査学	講義	2	2		30		TRAN	01	TRAN202CM01
		免疫検査学実習	実習	3	2		60		TRAN	02	TRAN302CM02
	微生物学的検査	微生物学	講義(実習)	2	1		30		MICR	01	MICR201CM01
		微生物検査学	講義	3	2		30		MICR	02	MICR302CM02
		微生物検査学実習Ⅰ	実習	2	1		30		MICR	03	MICR201CM03
		微生物検査学実習Ⅱ	実習	3	2		60		MICR	04	MICR302CM04
	生理学的検査	生理・画像検査学Ⅰ	講義	2	3		30		PHYS	01	PHYS203CM01
		生理・画像検査学Ⅱ	講義	3	2		30		PHYS	02	PHYS302CM02
		生理・画像検査学Ⅲ	講義	4	1		30		PHYS	03	PHYS401CM03
		生理・画像検査学実習Ⅰ	実習	2	2		30		PHYS	04	PHYS202CM04
		生理・画像検査学実習Ⅱ	実習	3	1		60		PHYS	05	PHYS301CM05
		医療心理学	講義	3	1		30		PHYS	06	PHYS301CM06
	臨床検査総合管理	検査管理総論	講義	3	2		30		MANA	01	MANA302CM01
		総合臨床検査学Ⅰ	講義	4	1		30		MANA	02	MANA401CM02
		総合臨床検査学Ⅱ	講義	4	1		60		MANA	03	MANA401CM03
		医療情報処理演習	演習	4	1		30		MANA	04	MANA401CM04
		検査機器総論(含む実習)	講義(実習)	1	1		30		MANA	05	MANA401CM05
		チーム医療論Ⅰ	講義	4	1		15		MANA	06	MANA401CM06
		実験動物学	講義	3		2	30		MANA	51	MANA401CM51
	医療安全管理	医療リスクマネジメント	講義	3	2		30		SAFE	01	SAFE302CM01
		生命科学(生命倫理)	講義	1	2		30		SAFE	02	SAFE102CM02
	卒業研究	卒業研究	演習	4	10		450		RESE	01	RESE410CM01
	臨地実習	臨地実習前技能実習	実習	3	1		30		PRAC	01	PRAC301CM01
		臨地実習	実習	3	11		440		PRAC	02	PRAC311CM02

● 2022 (令和4) 年度以降の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム

授 業 科 目 の 名 称				形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
						必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	大学特別科目	人間共生論	講義	1	2		30	
			新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
			新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
			新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
			地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	
			地球環境論Ⅱ	講義	1		2		30
		心理学概論	講義	1	2			30	
		数学	講義	1	2		30		
		物理学	講義	1	2		30		
		基礎化学	講義	1		1	15		
		化学（無機・有機）	講義	1	2		30		
		化学実習（無機・有機）	実習	1	1			45	
		生物学	講義	1	2		30		
		人間関係論	講義	1		2		30	
		保健体育学	講義	1		2	30		
		保健体育学実習	実習	1		1		30	
		英語Ⅰ	演習	1	1		30		
		英語Ⅱ	演習	1	1			30	
		医療英語演習Ⅰ a	演習	2	1		30		
	医療英語演習Ⅰ b	演習	2	1			30		
	海外短期フィールドワークⅠ（北米）	実習	1・2・3・4		2	30			
	学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90		
		海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	2・3・4		4	180		
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90		
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学（英語）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学（英語）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学（該当英語外）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学（該当英語外）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学（中国語）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90		
		海外語学（中国語）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90		
専 門 基 礎 分 野		人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	講義	1	1		30	
			解剖学Ⅱ	講義	1	1			30
	解剖学実習		実習	1	1		30		
	生理学Ⅰ		講義	1	1		30		
	生理学Ⅱ		講義	1	1			30	
	生化学Ⅰ		講義	1	1			30	
	生化学Ⅱ		講義	2	1		30		
	生化学実習		実習	2	1		45		
	臨床検査の基礎とその疾病との関連	病理学	講義	1	2			30	
		栄養と薬理	講義	4	1			30	
		チーム医療概論	講義	3	2		30		
		健康食品総論	講義	4		2	30		
	保健医療福祉と臨床検査	公衆衛生学Ⅰ	講義	1	1		30		
		公衆衛生学Ⅱ	講義	1	1			30	
		公衆衛生学実習	実習	2	1		45		
		統計学	講義	2	2			30	
		保健医療福祉総論	講義	2	2		30		
	医療工学及び医療情報	医用工学概論	講義	2	1			30	
		医用工学実習	実習	2	1			30	
		情報科学	講義	1	2		30		

● 2022 (令和4) 年度以降の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム (続き)

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専 門 分 野	病 態 学	臨床化学検査学 Ic	講義	3	1		30	
		臨床医学総論 I	講義	3	1		30	
		臨床医学総論 II	講義	3	1			30
		救急総論	講義	3		2	30	
		臨床病理学	講義	3	2			30
		病態解析学	講義	4	2		30	
	血 液 学 的 検 査	血液検査学 I	講義	2	1		30	
		血液検査学 II	講義	3	1		30	
		血液検査学実習 I	実習	3	1			30
		血液検査学実習 II	実習	3	1		30	
	病 理 学 的 検 査	臨床検査概論	講義	1	1		30	
		病理検査学 I	講義	2	1		30	
		病理検査学 II	講義	2	1			30
		病理検査学実習	実習	2	2			60
	一 般 検 査 ・ 尿・糞便等	一般検査学 I	講義	1	1			30
		一般検査学 II	講義	2	1		30	
		一般検査学実習	実習	2	1		45	
		医動物学 I	講義	2	1		30	
		医動物学 II (含む実習)	講義(実習)	2	1			15
	免 疫 学 的 検 査 ・ 生 化 学 的 検 査	臨床化学検査学 I a	講義	2	1		30	
		臨床化学検査学 I b	講義	2	1			30
		臨床化学検査学 II	講義	4	1			30
		臨床化学検査学実習	実習	2	2			60
		免疫学	講義	2	1		30	
	遺 伝 子 検 査 ・ 染 色 体 検 査	遺伝子検査学	講義	2	1		30	
		遺伝子検査学実習	実習	2	1			30
		分子生物学	講義	1	2			30
	輸 血・ 移 植 検 査	免疫検査学	講義	2	2			30
		免疫検査学実習	実習	3	2		60	
	微 生 物 学 的 検 査	微生物学	講義	2	1			30
		微生物検査学	講義	3	2		30	
		微生物検査学実習 I	実習	2	1			30
		微生物検査学実習 II	実習	3	2		60	
	生 理 学 的 検 査	生理・画像検査学 I	講義	2	3			30
		生理・画像検査学 II	講義	3	2		30	
		生理・画像検査学実習 I	実習	2	2			30
		生理・画像検査学実習 II	実習	3	1		60	
		生理・画像検査学 III	講義	4	1			30
		医療心理学	講義	3	1			30
	臨 床 検 査 総 合 管 理	検査管理総論	講義	3	2		30	
		総合臨床検査学 I	講義	4	1		30	
		総合臨床検査学 II	講義	4	1			60
		医療情報処理演習	演習	4	1		30	
		検査機器総論 (含む実習)	講義(実習)	1	1			30
		チーム医療論 I	講義	4	1		15	
		実験動物学	講義	3		2	30	
	医 療 安 全 管 理	医療リスクマネジメント	講義	3	2		30	
		生命科学 (生命倫理)	講義	1	2			30
	卒 業 研 究	卒業研究	演習	4	10		450	
	臨 地 実 習	臨地実習前技能実習	実習	3	1		30	
		臨地実習	実習	3	11			440

● 2018（平成30）～2021（令和3）年度の入学用 ●

表 1－2 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム

授 業 科 目 の 名 称				形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
						必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	大学 特別 科目	人間共生論	講義	1	2		30		
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30		
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30	
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30		
		地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30		
		地球環境論Ⅱ	講義	1		2		30	
	科学的 思考の 基盤・ 人間と 生活	心理学概論	講義	1	2			30	
		生命科学（生命倫理）	講義	1	2			30	
		数学	講義	1	2			30	
		統計学	講義	2	2			30	
		物理学	講義	1	2			30	
		基礎化学	講義	1		1	15		
		化学（無機・有機）	講義	1	2			30	
		化学実習（無機・有機）	実習	1	1			45	
		生物学	講義	1	2			30	
		分子生物学	講義	1	2			30	
		医療心理学	講義	3	1			30	
		人間関係論	講義	1		2	30		
		保健体育学	講義	1		2	30		
		保健体育学実習	実習	1		1		30	
		臨床検査概論	講義	1	1		30		
		英語Ⅰ	演習	1	1		30		
		英語Ⅱ	演習	1	1			30	
		医療英語演習Ⅰ a	演習	2	1		30		
		医療英語演習Ⅰ b	演習	2	1			30	
		医療英語演習Ⅱ	演習	3・4		1	30		
		医療英語演習Ⅲ	演習	3・4		1		30	
		海外短期フィールドワークⅠ（北米）	実習	1・2・3・4		2	30		
		学 部 共 通 留 学 関 係 科 目	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	
			海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	2・3・4		4	180	
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
	海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b		実習	2・3・4		2	90		
	海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ a		実習	2・3・4		2	90		
	海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ b		実習	2・3・4		2	90		
	海外セメスター語学研修Ⅱ		実習	2・3・4		4	180		
	海外語学（英語）研修Ⅰ		実習	2・3・4		2	90		
	海外語学（英語）研修Ⅱ		実習	2・3・4		2	90		
	海外語学（該当英語外）研修Ⅰ		実習	2・3・4		2	90		
	海外語学（該当英語外）研修Ⅱ		実習	2・3・4		2	90		
	海外語学（中国語）研修Ⅰ		実習	2・3・4		2	90		
	海外語学（中国語）研修Ⅱ		実習	2・3・4		2	90		
専 門 基 礎 分 野	人体の 構造と 機能		解剖学Ⅰ	講義	1	1		30	
			解剖学Ⅱ	講義	1	1			30
		解剖学実習	実習	1	1		15	15	
		生理学Ⅰ	講義	1	1		30		
		生理学Ⅱ	講義	1	1			30	
		生化学Ⅰ	講義	1	1			30	
		生化学Ⅱ	講義	2	1		30		
		生化学実習	実習	2	1		45		
	その 医学 検査 との 関連	病理学	講義	1	2			30	
		微生物学	講義	2	1			30	
		血液学	講義	2	1		30		
		免疫学	講義	2	1		30		
	保健 医療 福祉と 医学 検査	公衆衛生学Ⅰ	講義	1	1		30		
		公衆衛生学Ⅱ	講義	1	1			30	
		公衆衛生学実習	実習	2	1		45		
		医学概論	講義	1	1			30	
		保健医療福祉総論	講義	2	2		30		

● 2018 (平成30) ～2021 (令和3) 年度の入学用 ●

表 1-2 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム (続き)

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専門基礎分野	医療工学及び情報科学	医用工学概論	講義	2	1		30	
		医用工学実習	実習	2	1			30
		情報科学	講義	1	2		30	
		情報科学演習	演習	1	1		15	15
専門分野	臨床病理学	臨床医学総論Ⅰ	講義	3	1		30	
		臨床医学総論Ⅱ	講義	3	1			30
		臨床病理学	講義	3	2			30
		病態解析学	講義	4	2		30	
	形態検査学	病理検査学Ⅰ	講義	2	1		30	
		病理検査学Ⅱ	講義	2	1			30
		病理検査学実習	実習	2	2			60
		血液検査学	講義	3	1		30	
		血液検査学実習Ⅰ	実習	2	1			30
		血液検査学実習Ⅱ	実習	3	1		30	
		医動物学Ⅰ	講義	2	1		30	
		医動物学Ⅱ (含む実習)	講義(実習)	2	1			15
	生物化学分析検査学	臨床化学検査学Ⅰ a	講義	2	1		30	
		臨床化学検査学Ⅰ b	講義	2	1			30
		臨床化学検査学Ⅱ	講義	4	2			30
		臨床化学検査学実習	実習	2	2			60
		核医学検査学	講義	3	2		30	
		一般検査学Ⅰ	講義	1	1			30
		一般検査学Ⅱ	講義	2	1		30	
		一般検査学実習	実習	2	1		45	
	病因・生体防御検査学	微生物検査学	講義	3	2		30	
		微生物検査学実習Ⅰ	実習	2	1			30
		微生物検査学実習Ⅱ	実習	3	2		60	
		免疫検査学	講義	2	2			30
		免疫検査学実習	実習	3	2		60	
		遺伝子検査学	講義	2	1		30	
		遺伝子検査学実習	実習	2	1			30
	生理機能検査学	生理・画像検査学Ⅰ	講義	2	3		60	
		生理・画像検査学Ⅱ	講義	3	2		60	
		生理・画像検査学実習Ⅰ	実習	2	2			60
		生理・画像検査学実習Ⅱ	実習	3	1		30	
		心電図学	講義	4	1			30
	検査総合管理学	検査管理総論	講義	3	2		30	
		総合臨床検査学Ⅰ	講義	4	1		30	
		総合臨床検査学Ⅱ	講義	4	1			60
		医療情報処理演習Ⅰ	演習	2	1		30	
		医療情報処理演習Ⅱ	演習	4	1		30	
		検査機器総論 (含む実習)	講義(実習)	1	1			30
		チーム医療論Ⅰ	講義	4	1		15	
		チーム医療概論	講義	3		2	30	
		救急総論	講義	3		2	30	
		健康食品総論	講義	4		2	30	
		栄養化学	講義	1		2		30
		薬理学	講義	4		2		30
		実験動物学	講義	3		2	30	
	医療安全管理学	医療リスクマネジメント	講義	3	2		30	
	卒業研究	卒業研究	演習	4	10		450	
	臨地実習	臨地実習	実習	3	10			450

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部臨床検査学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め126単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活科目の領域として扱う。

● 2016（平成28）～2017（平成29）年度の入学用 ●

表 1－3 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム

授 業 科 目 の 名 称				形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
						必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	科学的 思考の 基盤・人 間と生活	大学 特別 科目	人間共生論	講義	1	2		30	
			新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
			新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
			新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
			地球環境論 I	講義	1		2	30	
			地球環境論 II	講義	1		2		30
		心理学概論	心理学概論	講義	1	2		30	
			生命科学（生命倫理）	講義	1	2			30
			数学	講義	1	2		30	
			統計学	講義	2	2			30
			物理学	講義	1	2		30	
			化学（無機・有機）	講義	1	2		30	
			化学実習（無機・有機）	実習	1	1			45
			生物学	講義	1	2		30	
			分子生物学	講義	1	2			30
			医療心理学	講義	3	1			30
			医療経済学	講義	1		2		30
			人間関係論	講義	1		2		30
			人間関係論実習	実習	3		1	30	
			保健体育学	講義	1		2	30	
			保健体育学実習	実習	1		1		30
			臨床検査概論	講義	1	1		30	
	英語 I	英語 II	英語 I	演習	1	1		30	
			英語 II	演習	1	1			30
			医療英語演習 I a	演習	2	1		30	
			医療英語演習 I b	演習	2	1			30
			医療英語演習 II	演習	3		1		30
			海外短期フィールドワーク	実習	2・3・4		2	30	
専 門 基 礎 分 野	人体の 構造と 機能 その疾 病との 関連 保健医 療福祉 と 医学検 査	学部 共通 留学 関係	海外個人フィールドワーク（日本語） I a	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（日本語） I b	実習	2・3・4		2	90	
			海外セメスター語学研修 I	実習	2・3・4		4	180	
			海外個人フィールドワーク（日本語） II a	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（日本語） II b	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（英語） I a	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（英語） I b	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（英語） II a	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（英語） II b	実習	2・3・4		2	90	
			海外セメスター語学研修 II	実習	2・3・4		4	180	
			海外語学（英語）研修 I	実習	2・3・4		2	90	
			海外語学（英語）研修 II	実習	2・3・4		2	90	
			海外語学（該当英語外）研修 I	実習	2・3・4		2	90	
			海外語学（該当英語外）研修 II	実習	2・3・4		2	90	
			海外語学（中国語）研修 I	実習	2・3・4		2	90	
			海外語学（中国語）研修 II	実習	2・3・4		2	90	
	解剖学 I	解剖学 II	解剖学 I	講義	1	1		30	
			解剖学 II	講義	1	1			30
			解剖学実習	実習	1	1			30
			生理学 I	講義	1	1		30	
			生理学 II	講義	1	1			30
			生化学	講義	1	2			60
			生化学実習	実習	2	1		45	
			病理学	講義	2	2		30	
			微生物学	講義	2	1			30
			血液学	講義	2	1		30	
			免疫学	講義	2	1			30
	公衆衛生学 I	公衆衛生学 II	公衆衛生学 I	講義	2	1		30	
			公衆衛生学 II	講義	2	1			30
			公衆衛生学実習	実習	3	1		45	
			医学概論	講義	1	1			30
			保健医療福祉総論	講義	4	2		30	

● 2016（平成28）～2017（平成29）年度の入学者用 ●

表 1－3 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専門基礎分野	医療工学及び情報科学	医用工学概論Ⅰ	講義	2	1			30
		医用工学概論Ⅱ	講義	2	1			30
		情報科学	講義	1	2		30	
		情報科学演習	演習	1	1		30	
専門分野	臨床病態学	臨床医学総論Ⅰ	講義	2	1		30	
		臨床医学総論Ⅱ	講義	2	1		30	
		臨床病理学	講義	3	2		30	
		病態解析学	講義	3	2			30
	形態検査学	病理検査学Ⅰ	講義	2	1		30	
		病理検査学Ⅱ	講義	2	1			30
		病理検査学実習	実習	2	2			75
		血液検査学	講義	3	1		30	
		血液検査学実習Ⅰ	実習	2	1			30
		血液検査学実習Ⅱ	実習	3	1		45	
		医動物学Ⅰ	講義	2	1		30	
		医動物学Ⅱ（含む実習）	講義（実習）	2	1			15
	生物化学分析検査学	臨床化学検査学Ⅰ a	講義	2	1		30	
		臨床化学検査学Ⅰ b	講義	2	1			30
		臨床化学検査学Ⅱ	講義	4	2			30
		臨床化学検査学実習	実習	2	2			75
		核医学検査学（含む実習）	講義（実習）	3	2		30	
		一般検査学Ⅰ	講義	2	1		30	
		一般検査学Ⅱ	講義	2	1			30
		一般検査学実習	実習	3	1		45	
	病因・生体防御検査学	微生物検査学	講義	3	2		30	
		微生物検査学実習Ⅰ	実習	2	1			30
		微生物検査学実習Ⅱ	実習	3	2		90	
		免疫検査学	講義	3	2		30	
		免疫検査学実習	実習	3	2		60	
		遺伝子検査学	講義	2	1		30	
		遺伝子検査学実習	実習	2	1			30
	生理機能検査学	生理検査学	講義	2	3		90	
		画像検査学	講義	2	2		30	
		生理・画像検査学実習Ⅰ	実習	2	1		30	
		生理・画像検査学実習Ⅱ	実習	2	3			90
	医療安全管理学	医療リスクマネジメント	講義	3	2		30	
	検査総合管理学	検査管理総論	講義	3	2		30	
		臨床検査総合演習Ⅰ	演習	4	1		30	
		臨床検査総合演習Ⅱ	演習	4	1			60
		医療情報処理演習Ⅰ	演習	2	1		30	
		医療情報処理演習Ⅱ	演習	4	1		30	
		検査機器総論（含む実習）	講義（実習）	1	1			30
		チーム医療論Ⅰ	講義	4	1		15	
		チーム医療概論	講義	3		2	30	
		救急総論	講義	3		2	30	
		健康食品総論	講義	4		2	30	
		栄養化学	講義	4		2	30	
		薬理学	講義	4		2		30
		遺伝学	講義	4		2		30
		実験動物学	講義	3		2	30	
		先端バイオセンシング学	講義	4		2	30	
	卒業研究	卒業研究	演習	4	10		450	
	臨地実習	臨地実習	実習	3	10			450

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部臨床検査学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め126単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活科目の領域として扱う。

● 2014（平成26）～2015（平成27）年度の入学者用 ●

表 1－4 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム

授 業 科 目 の 名 称				形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
						必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	科学的 思考の 基盤・人 間と生活	大学 特別 科目	人間共生論	講義	1	2		30	
			新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
			新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
			新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
			地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	
			地球環境論Ⅱ	講義	1		2		30
		心理学概論	心理学概論	講義	1	2		30	
			生命科学（生命倫理）	講義	1	2			30
			数学	講義	1	2		30	
			統計学	講義	2	2			30
			物理学	講義	1	2		30	
			化学（無機・有機）	講義	1	2		30	
			化学実習（無機・有機）	実習	1	1			45
			生物学	講義	1	2		30	
			分子生物学	講義	1	2			30
			医療心理学	講義	3	1			30
			医療経済学	講義	1		2		30
			人間関係論	講義	1		2		30
			人間関係論実習	実習	3		1	30	
			保健体育学	講義	1		2	30	
			保健体育学実習	実習	1		1		30
			臨床検査概論	講義	1	1		30	
		英語Ⅰ	英語Ⅰ	演習	1	1		30	
			英語Ⅱ	演習	1	1			30
			医療英語演習Ⅰ a	演習	2	1		30	
			医療英語演習Ⅰ b	演習	2	1			30
			医療英語演習Ⅱ	演習	3		1		30
			海外短期フィールドワーク	実習	2・3・4		2	30	
	学部 共通 留学 関係	海外個人 フィールド ワーク（日 本語）Ⅰ a 海外個人 フィールド ワーク（日 本語）Ⅰ b 海外セメ スター語 学研修Ⅰ 海外個人 フィールド ワーク（日 本語）Ⅱ a 海外個人 フィールド ワーク（日 本語）Ⅱ b 海外個人 フィールド ワーク（英 語）Ⅰ a 海外個人 フィールド ワーク（英 語）Ⅰ b 海外個人 フィールド ワーク（英 語）Ⅱ a 海外個人 フィールド ワーク（英 語）Ⅱ b 海外セメ スター語 学研修Ⅱ 海外語学 （英語） 研修Ⅰ 海外語学 （英語） 研修Ⅱ 海外語学 （該当英 語外）研 修Ⅰ 海外語学 （該当英 語外）研 修Ⅱ 海外語学 （中国語 ）研修Ⅰ 海外語学 （中国語 ）研修Ⅱ	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	
			海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	2・3・4		4	180	
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90	
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90	
			海外セメスター語学研修Ⅱ	実習	2・3・4		4	180	
			海外語学（英語）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
			海外語学（英語）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	
			海外語学（該当英語外）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
			海外語学（該当英語外）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	
			海外語学（中国語）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
			海外語学（中国語）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	
専 門 基 礎 分 野	人体の 構造と 機能		解剖学Ⅰ	講義	1	1		30	
			解剖学Ⅱ	講義	1	1			30
			解剖学実習	実習	1	1			30
			生理学Ⅰ	講義	1	1		30	
			生理学Ⅱ	講義	1	1			30
			生化学	講義	1	2			60
			生化学実習	実習	2	1		45	
	医学 検査の 基礎と 関連		病理学	講義	2	2		30	
			微生物学	講義	2	1			30
			血液学	講義	2	1		30	
			免疫学	講義	2	1			30
	保健 医療 福祉と 医学 検査		公衆衛生学Ⅰ	講義	2	1		30	
			公衆衛生学Ⅱ	講義	2	1			30
			公衆衛生学実習	実習	3	1		45	
			医学概論	講義	1	1			30
			医療リスクマネジメント	講義	3	2		30	
			保健医療福祉総論	講義	4	2			30

● 2014（平成26）～2015（平成27）年度の入学者用 ●

表 1－4 保健医療技術学部 臨床検査学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専門基礎分野	医療工学及び情報科学	医用工学概論Ⅰ	講義	2	1			30
		医用工学概論Ⅱ	講義	2	1			30
		情報科学	講義	1	2		30	
		情報科学演習	演習	1	1		30	
専門分野	臨床病理学	臨床医学総論Ⅰ	講義	2	1		30	
		臨床医学総論Ⅱ	講義	2	1		30	
		臨床病理学	講義	3	2		30	
		病態解析学	講義	3	2			30
	形態検査学	病理検査学Ⅰ	講義	2	1		30	
		病理検査学Ⅱ	講義	2	1			30
		病理検査学実習	実習	2	2			75
		血液検査学	講義	3	1		30	
		血液検査学実習Ⅰ	実習	2	1			30
		血液検査学実習Ⅱ	実習	3	1		45	
		医動物学Ⅰ	講義	2	1		30	
		医動物学Ⅱ（含む実習）	講義（実習）	2	1			15
	生物化学分析検査学	臨床化学検査学Ⅰ a	講義	2	1		30	
		臨床化学検査学Ⅰ b	講義	2	1			30
		臨床化学検査学Ⅱ	講義	4	2			30
		臨床化学検査学実習	実習	2	2			75
		核医学検査学（含む実習）	講義（実習）	3	2		30	
		一般検査学Ⅰ	講義	2	1		30	
		一般検査学Ⅱ	講義	2	1			30
		一般検査学実習	実習	3	1		45	
	病因・生体防御検査学	微生物検査学	講義	3	2		30	
		微生物検査学実習Ⅰ	実習	2	1			30
		微生物検査学実習Ⅱ	実習	3	2		90	
		免疫検査学	講義	3	2		30	
		免疫検査学実習	実習	3	2		60	
		遺伝子検査学	講義	2	1		30	
		遺伝子検査学実習	実習	2	1			30
	生理機能検査学	生理検査学	講義	2	3		90	
		画像検査学	講義	2	2		30	
		生理・画像検査学実習Ⅰ	実習	2	1		30	
		生理・画像検査学実習Ⅱ	実習	2	3			90
	検査総合管理学	検査管理総論	講義	3	2		30	
		臨床検査総合演習Ⅰ	演習	4	1		30	
		臨床検査総合演習Ⅱ	演習	4	1			60
		医療情報処理演習Ⅰ	演習	2	1		30	
		医療情報処理演習Ⅱ	演習	4	1		30	
		検査機器総論（含む実習）	講義（実習）	1	1			30
		チーム医療論Ⅰ	講義	4	1			15
		チーム医療概論	講義	3		2	30	
		救急総論	講義	3		2	30	
		健康食品総論	講義	4		2	30	
		栄養化学	講義	4		2	30	
		薬理学	講義	4		2		30
		遺伝学	講義	4		2		30
		実験動物学	講義	3		2	30	
		先端バイオセンシング学	講義	4		2	30	
	卒業研究	卒業研究	演習	4	10		450	
	臨地実習	臨地実習	実習	3	10			450

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部臨床検査学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め126単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、基礎分野の科学的思考の基盤・人間と生活科目の領域として扱う。

・2022（令和4）年度以降の入学用・

表 2－1 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区 分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
基 <						

● 2022（令和4）年度以降の入学用 ●

表 2－1 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区 分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	病態学	7	臨床化学検査学Ⅰ c 臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ 救急総論 臨床病理学 病態解析学	1 1 1 2 2	2	専門分野において、必修科目を含め、84単位以上修得すること。
	血液学的検査	4	血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ	1 1 1 1		
	病理学的検査	5	臨床検査概論 病理検査学Ⅰ 病理検査学Ⅱ 病理検査学実習	1 1 1 2		
	尿・糞便等一般検査	3	一般検査学Ⅰ 一般検査学Ⅱ 一般検査学実習 医動物学Ⅰ 医動物学Ⅱ（含む実習）	1 1 1 1 1		
	生化学的検査・ 免疫学的検査	6	臨床化学検査学Ⅰ a 臨床化学検査学Ⅰ b 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習 免疫学	1 1 1 2 1		
	遺伝子関連・染色体検査	2	遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 分子生物学	2 1 1		
	輸血・移植検査	4	免疫検査学 免疫検査学実習	2 2		
	微生物学的検査	6	微生物学 微生物検査学 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ	1 2 1 2		
	生理学的検査	10	生理・画像検査学Ⅰ 生理・画像検査学Ⅱ 生理・画像検査学実習Ⅰ 生理・画像検査学実習Ⅱ 生理・画像検査学Ⅲ 医療心理学	3 2 2 1 1 1		
	臨床検査総合管理	6	検査管理総論 総合臨床検査学Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ 医療情報処理演習 検査機器総論（含む実習） チーム医療論Ⅰ 実験動物学	2 1 1 1 1 1 1	2	
	医療安全管理	2	医療リスクマネジメント 生命科学（生命倫理）	2 2		
	卒業研究		卒業研究	10		
	臨地実習	12	臨地実習前技能実習 臨地実習	1 11		
	（小 計）	（67）		84	4	
	合 計	102		125	48	

• 2018（平成30）～2021（令和3）年度の入学用 •

表 2－2 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区 分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単 位 数	授 業 科 目		単 位 数		備 考
					必修	選択	
基 <							

• 2018（平成30）～2021（令和3）年度の入学用 •

表 2－2 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区 分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専門基礎分野	医療工学及び情報科学	4	医用工学概論 医用工学実習 情報科学 情報科学演習	1 1 2 1		
	（小 計）	（21）		24	0	
専門分野	臨床病態学	6	臨床医学総論Ⅰ	1		専門分野において、必修科目を含め、76単位以上修得すること。
			臨床医学総論Ⅱ	1		
			臨床病理学	2		
			病態解析学	2		
	形態検査学	9	病理検査学Ⅰ	1		
			病理検査学Ⅱ	1		
			病理検査学実習	2		
			血液検査学	1		
			血液検査学実習Ⅰ	1		
			血液検査学実習Ⅱ	1		
			医動物学Ⅰ	1		
			医動物学Ⅱ（含む実習）	1		
	生物化学分析検査学	11	臨床化学検査学Ⅰ a	1		
			臨床化学検査学Ⅰ b	1		
			臨床化学検査学Ⅱ	2		
			臨床化学検査学実習	2		
			核医学検査学	2		
			一般検査学Ⅰ	1		
			一般検査学Ⅱ	1		
			一般検査学実習	1		
	病因・生体防御検査学	10	微生物検査学	2		
			微生物検査学実習Ⅰ	1		
			微生物検査学実習Ⅱ	2		
			免疫検査学	2		
			免疫検査学実習	2		
			遺伝子検査学	1		
	生理機能検査学	9	遺伝子検査学実習	1		
			生理・画像検査学Ⅰ	3		
			生理・画像検査学Ⅱ	2		
			生理・画像検査学実習Ⅰ	2		
			生理・画像検査学実習Ⅱ	1		
	検査総合管理学	7	心電図学	1		
			検査管理総論	2		
			総合臨床検査学Ⅰ	1		
			総合臨床検査学Ⅱ	1		
			医療情報処理演習Ⅰ	1		
			医療情報処理演習Ⅱ	1		
			検査機器総論（含む実習）	1		
			チーム医療論Ⅰ	1		
			チーム医療概論		2	
			救急総論		2	
			健康食品総論		2	
			栄養化学		2	
			薬理学		2	
			実験動物学		2	
	卒業研究		卒業研究	10		
	医療安全管理学	1	医療リスクマネジメント	2		
	臨地実習	7	臨地実習	10		
	（小 計）	（60）		76	12	
	合 計	95		125	68	

• 2016（平成28）～2017（平成29）年度の入学用 •

表 2－3 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区 分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
基 礎 分 野	科学的思考の基盤 人間と生活	14	大学 特別 科目 人間共生論 新・文明の旅特講 a 新・文明の旅特講 b 新・文明の旅総合講義 地球環境論Ⅰ 地球環境論Ⅱ	2	2 2 2 2 2	基礎分野において、必修科目を含め、25単位以上修得すること。
			心理学概論 生命科学（生命倫理） 数学 統計学 物理学 化学（無機・有機） 化学実習（無機・有機） 生物学 分子生物学 医療心理学 医療経済学 人間関係論 人間関係論実習 保健体育学 保健体育学実習 臨床検査概論	2 2 2 2 2 2 1 2 2 1 2 2 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	
			英語Ⅰ 英語Ⅱ 医療英語演習Ⅰ a 医療英語演習Ⅰ b 医療英語演習Ⅱ 海外短期フィールドワーク	1 1 1 1 1 1	1 2 1 1 1 1	
専 門 基 礎 分 野	(小 計)	(14)	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a 海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b 海外セメスター語学研修Ⅰ 海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ a 海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ b 海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a 海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b 海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ a 海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ b 海外セメスター語学研修Ⅱ 海外語学（英語）研修Ⅰ 海外語学（英語）研修Ⅱ 海外語学（該当英語外）研修Ⅰ 海外語学（該当英語外）研修Ⅱ 海外語学（中国語）研修Ⅰ 海外語学（中国語）研修Ⅱ	2 2 4 2 2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2	2 2 4 2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2	専門基礎分野において、必修科目24単位修得すること。
			解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生化学 生化学実習	1 1 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 2 1	
			病理学 微生物学 血液学 免疫学	2 1 1 1	1 1 1 1	
			公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 公衆衛生学実習 医学概論 保健医療福祉総論	1 1 1 1 2	1 1 1 1 2	
				25	57	

• 2016（平成28）～2017（平成29）年度の入学用 •

表 2－3 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区 分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専門基礎分野	医療工学及び情報科学	4	医用工学概論Ⅰ 医用工学概論Ⅱ 情報科学 情報科学演習	1 1 2 1		
	（小 計）	（21）		24	0	
専門分野	臨床病態学	6	臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ 臨床病理学 病態解析学	1 1 2 2		専門分野において、必修科目を含め、76単位以上修得すること。
	形態検査学	9	病理検査学Ⅰ 病理検査学Ⅱ 病理検査学実習 血液検査学 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 医動物学Ⅰ 医動物学Ⅱ（含む実習）	1 1 2 1 1 1 1 1		
	生物化学分析検査学	11	臨床化学検査学Ⅰ a 臨床化学検査学Ⅰ b 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習 核医学検査学（含む実習） 一般検査学Ⅰ 一般検査学Ⅱ 一般検査学実習	1 1 2 2 2 1 1 1		
	病因・生体防御検査学	10	微生物検査学 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ 免疫検査学 免疫検査学実習 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習	2 1 2 2 2 1 1		
	生理機能検査学	9	生理検査学 画像検査学 生理・画像検査学実習Ⅰ 生理・画像検査学実習Ⅱ	3 2 1 3		
	検査総合管理学	7	検査管理総論 臨床検査総合演習Ⅰ 臨床検査総合演習Ⅱ 医療情報処理演習Ⅰ 医療情報処理演習Ⅱ 検査機器総論（含む実習）	2 1 1 1 1 1		
			チーム医療論Ⅰ チーム医療概論 救急総論 健康食品総論 栄養化学 薬理学 遺伝学 実験動物学 先端バイオセンシング学	1	2 2 2 2 2 2 2 2	
	卒業研究		卒業研究	10		
	医療安全管理学	1	医療リスクマネジメント	2		
	臨地実習	7	臨地実習	10		
	（小 計）	（60）		76	16	
	合 計	95		125	73	

• 2014（平成26）～2015（平成27）年度の入学者用 •

表 2－4 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区 分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単 位 数	授 業 科 目		単 位 数		備 考
					必修	選択	
基 							

• 2014（平成26）～2015（平成27）年度の入学者用 •

表 2－4 臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区 分	指定規則上の教育内容	指定規則上の単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専門基礎分野	医療工学及び情報科学	4	医用工学概論Ⅰ 医用工学概論Ⅱ 情報科学 情報科学演習	1 1 2 1		
	（小 計）	（20）		26	0	
専門分野	臨床病態学	6	臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ 臨床病理学 病態解析学	1 1 2 2		専門分野において、必修科目を含め、74単位以上修得すること。
	形態検査学	9	病理検査学Ⅰ 病理検査学Ⅱ 病理検査学実習 血液検査学 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 医動物学Ⅰ 医動物学Ⅱ（含む実習）	1 1 2 1 1 1 1 1		
	生物化学分析検査学	11	臨床化学検査学Ⅰa 臨床化学検査学Ⅰb 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習 核医学検査学（含む実習） 一般検査学Ⅰ 一般検査学Ⅱ 一般検査学実習	1 1 2 2 2 1 1 1		
	病因・生体防御検査学	10	微生物検査学 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ 免疫検査学 免疫検査学実習 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習	2 1 2 2 2 1 1		
	生理機能検査学	9	生理検査学 画像検査学 生理・画像検査学実習Ⅰ 生理・画像検査学実習Ⅱ	3 2 1 3		
	検査総合管理学	7	検査管理総論 臨床検査総合演習Ⅰ 臨床検査総合演習Ⅱ 医療情報処理演習Ⅰ 医療情報処理演習Ⅱ 検査機器総論（含む実習）	2 1 1 1 1 1		
			チーム医療論Ⅰ チーム医療概論 救急総論 健康食品総論 栄養化学 薬理学 遺伝学 実験動物学 先端バイオセンシング学	1	2 2 2 2 2 2 2 2	
	卒業研究		卒業研究	10		
	臨地実習	7	臨地実習	10		
	（小 計）	（59）		74	16	
	合 計	93		125	73	

臨地実習について【2022(令和4)年度以降の入学用】

1. 概要

臨地実習は、専門科目の総合的な実践技術、医療現場の管理・運営に関する基礎知識・態度、ならびに倫理観・人間性、医療チームの一員としての自覚と責任感を獲得するために保健学系教育の中で広く行われるものです。臨床検査学科では、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県ならびに静岡県の 36 病院、1 検査施設で臨地実習を依頼しています（2021(令和3)年度現在）。

2. 目標

病院検査部の各部門を回る中で、次の6項目を達成することを目標とします。

- 1) 臨床検査の基本的実践技術を習得する。
- 2) 精度管理の必要性を認識する。
- 3) 検査情報から病態解析へのアプローチを習得する。
- 4) 病院・検査部の組織、運営を理解する。
- 5) コミュニケーション能力を身に付ける。
- 6) 医療人としての自覚を持つ。

3. 配当年次、期間、単位

3年次、後期、11単位。別に3年次、前期、1単位の「臨地実習前技能実習」が設けられています。

4. 指導方法

学生は医療施設に割り振られ、そこで55日の実習を行います。実施に先立って、担当教員とともに施設を訪問してご挨拶します。実習初日にオリエンテーションを受け、各施設の実習計画に従って各部門を回ります。学生は検査部の技師長、実習指導係、各部門のチーフならびにスタッフの指導・指示に従って行動します。

実習にあたり、各施設の規則に従うことが求められます。医療の現場であるとともに、一般社会の組織の中にいることをふまえ、常識と法を守る義務があります。

学生は登校日（月曜日）に、『臨地実習の手引き』（教科書指定）を担当教員に提出します。教員は内容のチェックをするとともに、連絡と相談を受けます。実習の中間で教員は実習施設に伺い、学生の様子について確認します。

5. 臨地実習の前後に大学で行うこと

臨地実習では、医療施設の患者の身体・検体の複数種類の検査を学生が直接実施します。そこで「臨地実習前技能実習」の接遇・実技指導および接遇・実技試験（含、筆記試験）を通じて、臨地実習先医療施設の医療の質と安全を確保するに十分な接遇態度と手技を備えていることを確認します。実習後にも到達度確認筆記試験を行い、専門知識の定着度を評価します。

臨地実習終了後、報告会を行い、各施設での体験を共有します。また、実習指導者会議を2回催します。出席する実習施設の担当者と情報交換する機会になります。

6. 成績評価法

実習施設の評価（70%）と学内評価（30%）の合計で判定します。学内評価は臨地実習後の到達度確認試験、レポートなどで総合的に行います。

臨地実習について【2021（令和3）年度以前の入学者用】

1. 概要

臨地実習は、専門科目の総合的な実践技術、医療現場の管理・運営に関する基礎知識・態度、ならびに倫理観・人間性、医療チームの一員としての自覚と責任感を獲得するために保健学系教育の中で広く行われるものです。臨床検査学科では、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県ならびに静岡県の 36 病院、1 検査施設で臨地実習を依頼しています（2021（令和3）年度現在）。

2. 目標

病院検査部の各部門を回る中で、次の6項目を達成することを目標とします。

- 1) 臨床検査の基本的実践技術を習得する。
- 2) 精度管理の必要性を認識する。
- 3) 検査情報から病態解析へのアプローチを習得する。
- 4) 病院・検査部の組織、運営を理解する。
- 5) コミュニケーション能力を身に付ける。
- 6) 医療人としての自覚を持つ。

3. 配当年次、期間、単位

3年次、後期、10単位

4. 指導方法

学生は病院に割り振られ、そこで **56** 日の実習を行います。一部の学生は病院で **52** 日、検査施設で **4** 日の実習を行います。実施に先立って、担当教員とともに施設を訪問してご挨拶します。実習初日にオリエンテーションを受け、各施設の実習計画に従って各部門を回ります。学生は検査部の技師長、実習指導係、各部門のチーフならびにスタッフの指導・指示に従って行動します。

実習にあたり、各施設の規則に従うことが求められます。医療の現場であるとともに、一般社会の組織の中にいることをふまえ、常識と法を守る義務があります。

学生は登校日（月曜日）に、『臨地実習の手引き』（教科書指定）を担当教員に提出します。教員は内容のチェックをするとともに、連絡と相談を受けます。実習の中間で教員は実習施設に伺い、学生の様子について確認します。

5. 臨地実習の前後に大学で行うこと

臨地実習に先立って、マナー講座と模擬患者（simulation patient, SP）実習を行います。患者と接する練習になります。

実習の前後に関門試験を行い、専門知識の定着度を評価します。また、実習指導者会議を2回催します。出席する実習施設の担当者と情報交換する機会になります。

臨地実習終了後、報告会を行い、各施設での体験を共有します。

6. 成績評価法

実習施設の評価（70%）と学内評価（30%）の合計で判定します。学内評価は臨地実習前・後の関門試験、SP実習、臨地実習後のレポートなどで総合的にを行います。

文京学院大学保健医療技術学部臨床検査学科卒業研究要綱

1. 概要

卒業研究は、臨床検査学科の教育において、創造的な能力を養成するものとして重要な位置づけにあります。本研究では、学生は担当指導教員の下でテーマを設定し、自ら研究目的や方法を定め、実際に実験・調査し、結果をまとめ、考察し、その成果を卒業研究発表会において口頭発表します。また、定められた期日までに卒業研究論文を提出します。

2. 目標

講義あるいは関連実習で得た知識を有機的に結合させ、臨床検査学および関連分野に関わる研究をすすめることによって、研究の進め方、関連論文の読み方、研究報告のまとめ方、口頭発表の仕方などを学び、研究できる能力を身につけることを目標とします。

3. 配当年次、期間、単位

4 年次、前期、10 単位

4. 指導方法

学生は教員の所属する研究室に割り振られます。教員が窓口となって外部施設に指導を委託する場合があります。学生は、配属された研究室の担当教員の指導に基づいて研究を行います。その際、以下の注意事項に留意しなければなりません。

- 1) 実習と同様に 4 / 5 以上の出席がない場合、卒業研究単位は修得できない。
- 2) 外部機関の研究室を含め、所属研究室の約束事を遵守する。
- 3) 指導教員や所属研究員の意見をとりいれながら積極的に研究に取り組む。
- 4) 緊急連絡先は各研究室の担当者とする。但し、担当者と連絡が取れない場合には本郷キャンパス教務グループに連絡する。

5. 成績評価法

担当指導教員による評価（80 点）と研究発表会における評価委員（臨床検査学科助手以上の教員）による評価（20 点）を合わせて総合評価を行います。

6. 日程

論文提出日・口頭発表会日程については、後日配布する資料を参照してください。

VIII 看護学科

「看護師国家試験受験資格」ならびに
「保健師国家試験受験資格」について

カリキュラムマップ

ナンバリング

カリキュラム

国家試験受験資格の授業科目履修方法

統合実習・アドバンス実習要綱

看護学科で取得可能な「看護師国家試験受験資格」ならびに「保健師国家試験受験資格」について

1. 看護職とは

看護職には、保健師、助産師、看護師、准看護師の4つの職種があります。

本学科において国家試験受験資格を取得できる職種は、保健師と看護師です。

1) 看護師とは

「保健師助産師看護師法」において、次のように定義されています。

この法律において、「看護師」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者もしくはじょく婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者をいう。

すなわち、看護師は、病気やけがをかかえて生活している人の日常性が損なわれないように援助する専門職です。

2) 保健師とは

「保健師助産師看護師法」において、次のように定義されています。

この法律において、「保健師」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、保健師の名称を用いて、保健指導に従事することを業とする者をいう。

すなわち、保健師は、人々が健康な生活を送ることを目指して、人々が自分の健康問題を認識し、望ましい対処行動をとれるように、健康に関することや生活に関すること等について知識や技術、方法を教えたり、支援したりする専門職です。

看護師として、保健師として働くためには、厚生労働大臣の免許が必要であり、これには看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格をそれぞれ取得し、該当する国家試験を受験して合格しなければなりません。

2. 看護師国家試験受験資格・保健師国家試験受験資格の取得条件

1) 看護師国家試験受験資格

文部科学大臣が指定した学校または厚生労働大臣が指定した看護師養成所において、3年以上看護師になるために必要な学科を修めた者に与えられます。国家試験受験年の3月31日までに修業した者、または修業する見込みの者となります。

従って、本学科は文部科学大臣からの指定を受けていますので、本学科の学生は看護師の受験資格に必要な履修単位(P119～127参照)を修得し、4年次に卒業見込みとなれば、受験資格を満たし、国家試験を受験することができます。

2) 保健師国家試験受験資格

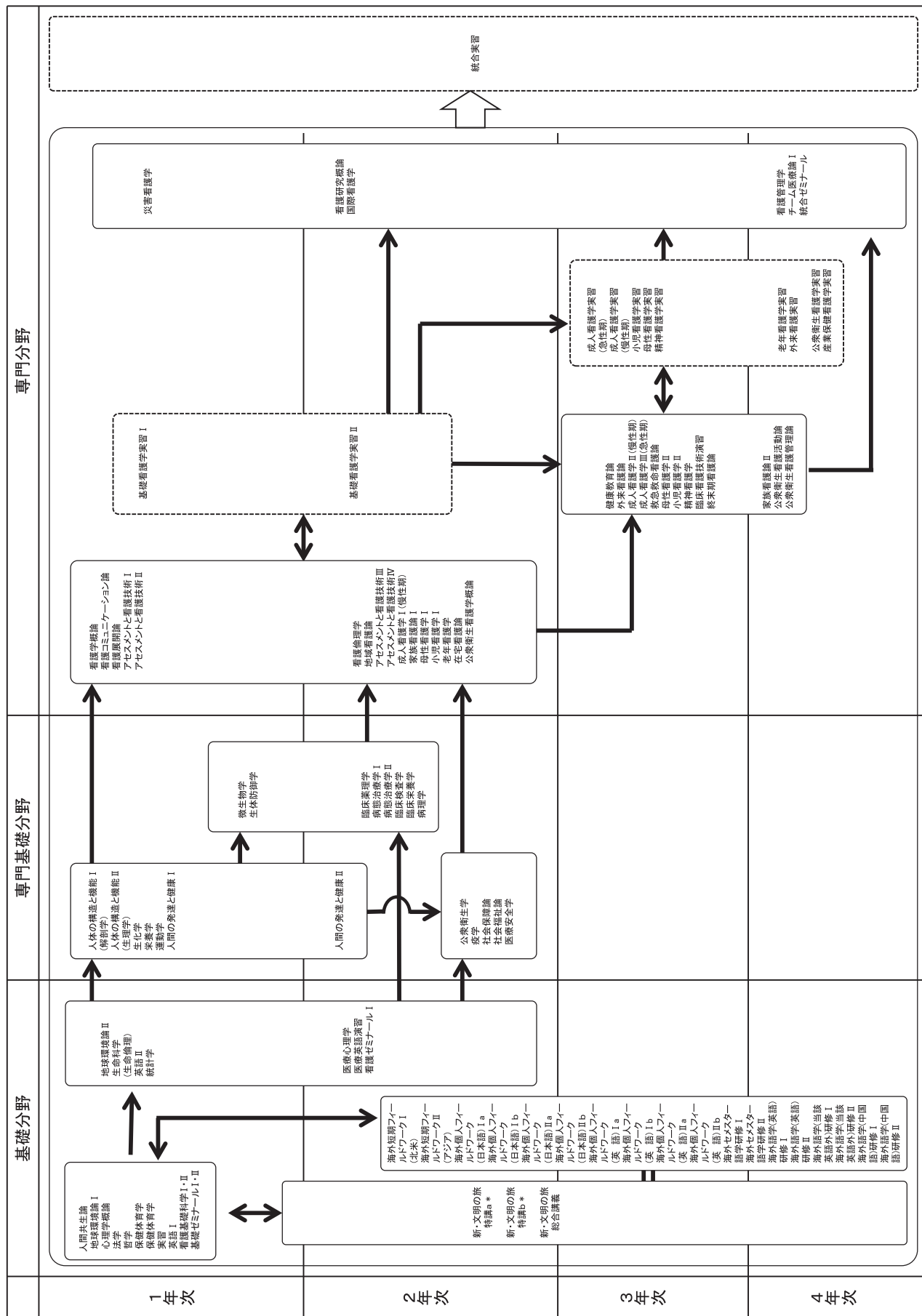
文部科学大臣が指定した学校または厚生労働大臣が指定した保健師養成所において、1年以上保健師になるために必要な学科を修めた者に与えられます。国家試験受験年の3月31日までに修業した者、または修業する見込みの者となります。

従って、本学科は文部科学大臣からの指定を受けていますので、本学科の学生は保健師の受験資格に必要な履修単位(P128～136参照)を修得し、4年次に卒業見込みとなれば、受験資格を満たし、国家試験を受験することができます。ただし、受験資格取得に必要な履修科目である「公衆衛生看護学実習」と「産業保健看護学実習」は履修人数の制限があるため選抜制となります。

3. 国家試験受験資格取得に必要な授業科目

看護師ならびに保健師の国家試験受験資格を取得するためには、「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」という法律に定められた内容に応じた必要単位数を修得しなければなりません。また保健師の基礎資格として看護師免許を取得していることが条件となっています。そのため、看護師国家試験を受験して不合格であれば、保健師国家試験を受験して合格であっても保健師免許を得ることはできません。「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」では、必要な教育内容について看護師は97単位以上(内、臨地実習は23単位以上)、保健師は28単位以上(内、臨地実習は5単位以上)を修学することが定められています。本学科においては、指定規則に定められた内容と単位数を担保した上で、さらにより高い質の看護職育成を目指した教育内容を組み入れ、卒業単位数としています。特に臨地実習は、講義や演習(学内実習)により学修した知識・技能の統合を図りながら実際に対象の人々に実践を提供する重要な授業科目であるため、履修するにあたり保健医療技術学部臨床実習・臨地実習履修規程第6条に定める実習の要件を満たさなければなりません。日々の学修を大切にして、一つひとつの知識と技能を自分のものにして下さい。

文京学院大学 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラムマップ(令和4年度以降の入学用)



* 新・文明の旅特講 a・b については、1～3年の配当

2018

保健医療技術学部科目ナンバリング体系（看護学科）

11桁の英数字を使用

科目グループ + 配当年次 + 単位数 + 学科番号 + 科目特定番号

サンプル **UNIV102NS01**

①	②	③	④	⑤

①科目グループ：4つのアルファベット（下記の表）

②配当年次：1：1年次・2：2年次・3：3年次・4：4年次

※配当年次1・2・3・4の場合は1で表記（履修できる最小年次で表記）

③単位数：2桁で表示

④学科番号：PT：理学療法学科・OT：作業療法学科・CM：臨床検査学科・NS：看護学科

⑤科目特定番号：01～50までの番号は必修科目・51～99までの番号は選択科目

科目グループアルファベット対照表

看護学科

区分	区分あるいは科目グループ	科目グループ英語名称	
基本科目	大学特別科目	UNIV	University
	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	SCIE	Science
	学部共通留学関係科目	ABRO	Abroad
専門基礎科目	人体の構造と機能および心身の発達	HUMA	Human
	疾病の成り立ちと健康回復の促進	DISE	Disease
	健康の保持・増進と社会保障	HEAL	Health
専門科目	看護の基本	FUND	Fundamental Nursing
	看護の実践	PRAC	Practice in Nursing
	看護の統合	INTE	Integrated Nursing

保健医療技術学部 看護学科（看護師） ナンバリング表

授業科目の名称				単位数		科目 グループ	配当 年次	単位数	学科	科目の 特定	ナンバリング
				必修	選択						
基礎 分野	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	大学 特別 科目	人間共生論	2		UNIV	1	02	NS	01	UNIV102NS01
			新・文明の旅特講 a		2	UNIV	1	02	NS	51	UNIV102NS51
			新・文明の旅特講 b		2	UNIV	1	02	NS	52	UNIV102NS52
			新・文明の旅総合講義		2	UNIV	1	02	NS	53	UNIV102NS53
			地球環境論Ⅰ		2	UNIV	1	02	NS	54	UNIV102NS54
			地球環境論Ⅱ		2	UNIV	1	02	NS	55	UNIV102NS55
		心理学概論	2		SCIE	1	02	NS	01	SCIE102NS01	
		生命科学（生命倫理）	2		SCIE	1	02	NS	02	SCIE102NS02	
		哲学		2	SCIE	1	02	NS	51	SCIE102NS51	
		法学		2	SCIE	1	02	NS	52	SCIE102NS52	
		医療心理学		2	SCIE	2	02	NS	53	SCIE202NS53	
		保健体育学		2	SCIE	1	02	NS	54	SCIE102NS54	
		保健体育学実習		1	SCIE	1	01	NS	55	SCIE101NS55	
		英語Ⅰ	1		SCIE	1	01	NS	03	SCIE101NS03	
		英語Ⅱ	1		SCIE	1	01	NS	04	SCIE101NS04	
		医療英語演習	1		SCIE	2	01	NS	05	SCIE201NS05	
		統計学（保健統計学含む）	2		SCIE	1	02	NS	06	SCIE102NS06	
		看護基礎科学Ⅰ	2		SCIE	1	02	NS	07	SCIE102NS07	
		看護基礎科学Ⅱ	2		SCIE	1	02	NS	08	SCIE102NS08	
		基礎ゼミナールⅠ	1		SCIE	1	01	NS	09	SCIE101NS09	
		基礎ゼミナールⅡ	1		SCIE	1	01	NS	10	SCIE101NS10	
		看護ゼミナールⅠ	1		SCIE	2	01	NS	11	SCIE201NS11	
		海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2	SCIE	1	02	NS	56	SCIE102NS56	
	学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a		2	ABRO	2	02	NS	51	ABRO202NS51	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b		2	ABRO	2	02	NS	52	ABRO202NS52	
		海外セメスター語学研修Ⅰ		4	ABRO	2	04	NS	53	ABRO204NS53	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a		2	ABRO	2	02	NS	56	ABRO202NS56	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b		2	ABRO	2	02	NS	57	ABRO202NS57	
		海外語学（英語）研修Ⅰ		2	ABRO	2	02	NS	61	ABRO202NS61	
		海外語学（英語）研修Ⅱ		2	ABRO	2	02	NS	62	ABRO202NS62	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅰ		2	ABRO	2	02	NS	63	ABRO202NS63	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅱ		2	ABRO	2	02	NS	64	ABRO202NS64	
		海外語学（中国語）研修Ⅰ		2	ABRO	2	02	NS	65	ABRO202NS65	
		海外語学（中国語）研修Ⅱ		2	ABRO	2	02	NS	66	ABRO202NS66	
専門 基礎 分野	人体の構造と機能 および心身の発達	人体の構造と機能Ⅰ（解剖学）	3		HUMA	1	03	NS	01	HUMA103NS01	
		人体の構造と機能Ⅱ（生理学）	3		HUMA	1	03	NS	02	HUMA103NS02	
		生化学	2		HUMA	1	02	NS	03	HUMA102NS03	
		栄養学	1		HUMA	1	01	NS	04	HUMA101NS04	
		臨床栄養学	1		HUMA	2	01	NS	05	HUMA201NS05	
		運動学		1	HUMA	1	01	NS	51	HUMA101NS51	
		人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	2		HUMA	1	02	NS	06	HUMA102NS06	
		人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	2		HUMA	1	02	NS	07	HUMA102NS07	
	疾病の成り立ちと 健康回復の促進	病理学	2		DISE	2	02	NS	01	DISE202NS01	
		微生物学	2		DISE	1	02	NS	02	DISE102NS02	
		生体防御学	1		DISE	1	01	NS	03	DISE101NS03	
		臨床薬理学	2		DISE	2	02	NS	04	DISE202NS04	
		病態治療学Ⅰ	2		DISE	2	02	NS	05	DISE202NS05	
		病態治療学Ⅱ	2		DISE	2	02	NS	06	DISE202NS06	
		臨床検査学	2		DISE	2	02	NS	07	DISE202NS07	
		増進と社会 健康の保持・ 社会福祉	公衆衛生学	1		HEAL	2	01	NS	01	HEAL201NS01
	疫学		2		HEAL	2	02	NS	02	HEAL202NS02	
	社会保障論		2		HEAL	2	02	NS	03	HEAL202NS03	
	社会福祉論 ※			2	HEAL	2	02	NS	51	HEAL202NS51	
	医療安全学	1		HEAL	2	01	NS	04	HEAL201NS04		

保健医療技術学部 看護学科（看護師） ナンバリング表

授業科目の名称		単位数		科目グループ	配当年次	単位数	学科	科目の特定	ナンバリング		
		必修	選択								
専門分野	看護の基本	看護学概論	2		FUND	1	02	NS	01	FUND102NS01	
		看護コミュニケーション論	1		FUND	1	01	NS	02	FUND101NS02	
		看護展開論	1		FUND	2	01	NS	03	FUND201NS03	
		看護倫理学	1		FUND	2	01	NS	04	FUND201NS04	
		アセスメントと看護技術Ⅰ	1		FUND	1	01	NS	05	FUND101NS05	
		アセスメントと看護技術Ⅱ	2		FUND	1	02	NS	06	FUND102NS06	
		アセスメントと看護技術Ⅲ	2		FUND	2	02	NS	07	FUND202NS07	
		アセスメントと看護技術Ⅳ	2		FUND	2	02	NS	08	FUND202NS08	
		地域看護論	2		FUND	2	02	NS	09	FUND202NS09	
		健康教育論	1		FUND	3	01	NS	10	FUND301NS10	
		基礎看護学実習Ⅰ	1		FUND	1	01	NS	11	FUND101NS11	
		基礎看護学実習Ⅱ	2		FUND	2	02	NS	12	FUND202NS12	
	看護の実践	成人看護学Ⅰ（慢性期）	1		PRAC	3	01	NS	01	PRAC301NS01	
		成人看護学Ⅱ（慢性期）	2		PRAC	3	02	NS	02	PRAC302NS02	
		成人看護学Ⅲ（急性期）	3		PRAC	3	03	NS	03	PRAC303NS03	
		終末期看護論	1		PRAC	2	01	NS	04	PRAC201NS04	
		救急救命看護論		1	PRAC	3	01	NS	51	PRAC301NS51	
		家族看護論Ⅰ	1		PRAC	2	01	NS	05	PRAC201NS05	
		家族看護論Ⅱ	1		PRAC	4	01	NS	06	PRAC401NS06	
		在宅看護論	2		PRAC	2	02	NS	07	PRAC202NS07	
		外来看護論	1		PRAC	3	01	NS	08	PRAC301NS08	
		母性看護学Ⅰ	1		PRAC	2	01	NS	09	PRAC201NS09	
		母性看護学Ⅱ	2		PRAC	3	02	NS	10	PRAC302NS10	
		小児看護学Ⅰ	1		PRAC	2	01	NS	11	PRAC201NS11	
		小児看護学Ⅱ	2		PRAC	3	02	NS	12	PRAC302NS12	
		精神看護学	3		PRAC	3	03	NS	13	PRAC303NS13	
		老年看護学	3		PRAC	2	03	NS	14	PRAC203NS14	
		臨床看護技術演習	1		PRAC	3	01	NS	15	PRAC301NS15	
		公衆衛生看護学概論	2		PRAC	2	02	NS	16	PRAC202NS16	
		公衆衛生看護活動論 ※		2	PRAC	4	02	NS	52	PRAC402NS52	
		公衆衛生看護管理論 ※		2	PRAC	4	02	NS	53	PRAC402NS53	
		成人看護学実習（急性期）	3		PRAC	3	03	NS	17	PRAC303NS17	
		成人看護学実習（慢性期）	3		PRAC	3	03	NS	18	PRAC303NS18	
		老年看護学実習	3		PRAC	4	03	NS	19	PRAC403NS19	
		外来看護実習	1		PRAC	4	01	NS	20	PRAC401NS20	
		母性看護学実習	2		PRAC	3	02	NS	21	PRAC302NS21	
		小児看護学実習	2		PRAC	3	02	NS	22	PRAC302NS22	
		精神看護学実習	2		PRAC	3	02	NS	23	PRAC302NS23	
		公衆衛生看護学実習 ※		4	PRAC	4	04	NS	54	PRAC404NS54	
		産業保健看護学実習 ※		1	PRAC	4	01	NS	55	PRAC401NS55	
		看護の統合	看護研究概論	1		INTE	2	01	NS	01	INTE201NS01
			看護管理学	2		INTE	4	02	NS	02	INTE402NS02
			チーム医療論Ⅰ	1		INTE	4	01	NS	03	INTE401NS03
			国際看護学		1	INTE	2	01	NS	51	INTE201NS51
	災害看護学			1	INTE	1	01	NS	52	INTE101NS52	
	統合ゼミナール		1		INTE	4	01	NS	04	INTE401NS04	
	統合実習		4		INTE	4	04	NS	05	INTE404NS05	

保健医療技術学部 看護学科（保健師） ナンバリング表

		授業科目の名称		単位数		科目 グループ	配当 年次	単位数	学科	科目の 特定	ナンバリング
				必修	選択						
基礎 分野	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	大学 特別 科目	人間共生論	2		UNIV	1	02	NS	01	UNIV102NS01
			新・文明の旅特講 a		2	UNIV	1	02	NS	51	UNIV102NS51
			新・文明の旅特講 b		2	UNIV	1	02	NS	52	UNIV102NS52
			新・文明の旅総合講義		2	UNIV	1	02	NS	53	UNIV102NS53
			地球環境論Ⅰ		2	UNIV	1	02	NS	54	UNIV102NS54
			地球環境論Ⅱ		2	UNIV	1	02	NS	55	UNIV102NS55
		心理学概論	2		SCIE	1	02	NS	01	SCIE102NS01	
		生命科学（生命倫理）	2		SCIE	1	02	NS	02	SCIE102NS02	
		哲学		2	SCIE	1	02	NS	51	SCIE102NS51	
		法学		2	SCIE	1	02	NS	52	SCIE102NS52	
		医療心理学		2	SCIE	2	02	NS	53	SCIE202NS53	
		保健体育学		2	SCIE	1	02	NS	54	SCIE102NS54	
		保健体育学実習		1	SCIE	1	01	NS	55	SCIE101NS55	
		英語Ⅰ	1		SCIE	1	01	NS	03	SCIE101NS03	
		英語Ⅱ	1		SCIE	1	01	NS	04	SCIE101NS04	
		医療英語演習	1		SCIE	2	01	NS	05	SCIE201NS05	
		統計学（保健統計学含む）	2		SCIE	1	02	NS	06	SCIE102NS06	
		看護基礎科学Ⅰ	2		SCIE	1	02	NS	07	SCIE102NS07	
		看護基礎科学Ⅱ	2		SCIE	1	02	NS	08	SCIE102NS08	
		基礎ゼミナールⅠ	1		SCIE	1	01	NS	09	SCIE101NS09	
		基礎ゼミナールⅡ	1		SCIE	1	01	NS	10	SCIE101NS10	
		看護ゼミナールⅠ	1		SCIE	2	01	NS	11	SCIE201NS11	
		海外短期フィールドワークⅠ（北米）		2	SCIE	1	02	NS	56	SCIE102NS56	
	学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a		2	ABRO	2	02	NS	51	ABRO202NS51	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b		2	ABRO	2	02	NS	52	ABRO202NS52	
		海外セメスター語学研修Ⅰ		4	ABRO	2	04	NS	53	ABRO204NS53	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a		2	ABRO	2	02	NS	56	ABRO202NS56	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b		2	ABRO	2	02	NS	57	ABRO202NS57	
		海外語学（英語）研修Ⅰ		2	ABRO	2	02	NS	61	ABRO202NS61	
		海外語学（英語）研修Ⅱ		2	ABRO	2	02	NS	62	ABRO202NS62	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅰ		2	ABRO	2	02	NS	63	ABRO202NS63	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅱ		2	ABRO	2	02	NS	64	ABRO202NS64	
		海外語学（中国語）研修Ⅰ		2	ABRO	2	02	NS	65	ABRO202NS65	
海外語学（中国語）研修Ⅱ		2	ABRO	2	02	NS	66	ABRO202NS66			
専門 基礎 分野	人体の構造と機能 および 心身の発達	人体の構造と機能Ⅰ（解剖学）	3		HUMA	1	03	NS	01	HUMA103NS01	
		人体の構造と機能Ⅱ（生理学）	3		HUMA	1	03	NS	02	HUMA103NS02	
		生化学	2		HUMA	1	02	NS	03	HUMA102NS03	
		栄養学	1		HUMA	1	01	NS	04	HUMA101NS04	
		臨床栄養学	1		HUMA	2	01	NS	05	HUMA201NS05	
		運動学		1	HUMA	1	01	NS	51	HUMA101NS51	
		人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	2		HUMA	1	02	NS	06	HUMA102NS06	
		人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	2		HUMA	1	02	NS	07	HUMA102NS07	
	疾病の成り立ちと 健康回復の促進	病理学	2		DISE	2	02	NS	01	DISE202NS01	
		微生物学	2		DISE	1	02	NS	02	DISE102NS02	
		生体防御学	1		DISE	1	01	NS	03	DISE101NS03	
		臨床薬理学	2		DISE	2	02	NS	04	DISE202NS04	
		病態治療学Ⅰ	2		DISE	2	02	NS	05	DISE202NS05	
		病態治療学Ⅱ	2		DISE	2	02	NS	06	DISE202NS06	
	増進と社会 健康の保持・ 社会保障	臨床検査学	2		DISE	2	02	NS	07	DISE202NS07	
		公衆衛生学	1		HEAL	2	01	NS	01	HEAL201NS01	
		疫学	2		HEAL	2	02	NS	02	HEAL202NS02	
		社会保障論	2		HEAL	2	02	NS	03	HEAL202NS03	
		社会福祉論	2		HEAL	2	02	NS	04	HEAL202NS04	
		医療安全学	1		HEAL	2	01	NS	05	HEAL201NS05	

保健医療技術学部 看護学科（保健師） ナンバリング表

授業科目の名称			単位数		科目グループ	配当年次	単位数	学科	科目の特定	ナンバリング	
			必修	選択							
専門分野	看護の基本	看護学概論	2		FUND	1	02	NS	01	FUND102NS01	
		看護コミュニケーション論	1		FUND	1	01	NS	02	FUND101NS02	
		看護展開論	1		FUND	2	01	NS	03	FUND201NS03	
		看護倫理学	1		FUND	2	01	NS	04	FUND201NS04	
		アセスメントと看護技術Ⅰ	1		FUND	1	01	NS	05	FUND101NS05	
		アセスメントと看護技術Ⅱ	2		FUND	1	02	NS	06	FUND102NS06	
		アセスメントと看護技術Ⅲ	2		FUND	2	02	NS	07	FUND202NS07	
		アセスメントと看護技術Ⅳ	2		FUND	2	02	NS	08	FUND202NS08	
		地域看護論	2		FUND	2	02	NS	09	FUND202NS09	
		健康教育論	1		FUND	3	01	NS	10	FUND301NS10	
		基礎看護学実習Ⅰ	1		FUND	1	01	NS	11	FUND101NS11	
	基礎看護学実習Ⅱ	2		FUND	2	02	NS	12	FUND202NS12		
	看護の実践	成人看護学Ⅰ（慢性期）	1		PRAC	3	01	NS	01	PRAC301NS01	
		成人看護学Ⅱ（慢性期）	2		PRAC	3	02	NS	02	PRAC302NS02	
		成人看護学Ⅲ（急性期）	3		PRAC	3	03	NS	03	PRAC303NS03	
		終末期看護論	1		PRAC	2	01	NS	04	PRAC201NS04	
		救急救命看護論		1	PRAC	3	01	NS	51	PRAC301NS51	
		家族看護論Ⅰ	1		PRAC	2	01	NS	05	PRAC201NS05	
		家族看護論Ⅱ	1		PRAC	4	01	NS	06	PRAC401NS06	
		在宅看護論	2		PRAC	2	02	NS	07	PRAC202NS07	
		外来看護論	1		PRAC	3	01	NS	08	PRAC301NS08	
		母性看護学Ⅰ	1		PRAC	2	01	NS	09	PRAC201NS09	
		母性看護学Ⅱ	2		PRAC	3	02	NS	10	PRAC302NS10	
		小児看護学Ⅰ	1		PRAC	2	01	NS	11	PRAC201NS11	
		小児看護学Ⅱ	2		PRAC	3	02	NS	12	PRAC302NS12	
		精神看護学	3		PRAC	3	03	NS	13	PRAC303NS13	
		老年看護学	3		PRAC	2	03	NS	14	PRAC203NS14	
		臨床看護技術演習	1		PRAC	3	01	NS	15	PRAC301NS15	
		公衆衛生看護学概論	2		PRAC	2	02	NS	16	PRAC202NS16	
		公衆衛生看護活動論	2		PRAC	4	02	NS	17	PRAC402NS17	
		公衆衛生看護管理論	2		PRAC	4	02	NS	18	PRAC402NS18	
		成人看護学実習（急性期）	3		PRAC	3	03	NS	19	PRAC303NS19	
		成人看護学実習（慢性期）	3		PRAC	3	03	NS	20	PRAC303NS20	
		老年看護学実習	3		PRAC	4	03	NS	21	PRAC403NS21	
		外来看護実習	1		PRAC	4	01	NS	22	PRAC401NS22	
		母性看護学実習	2		PRAC	3	02	NS	23	PRAC302NS23	
		小児看護学実習	2		PRAC	3	02	NS	24	PRAC302NS24	
		精神看護学実習	2		PRAC	3	02	NS	25	PRAC302NS25	
		公衆衛生看護学実習	4		PRAC	4	04	NS	26	PRAC404NS26	
		産業保健看護学実習	1		PRAC	4	01	NS	27	PRAC401NS27	
		看護の統合	看護研究概論	1		INTE	2	01	NS	01	INTE201NS01
			看護管理学	2		INTE	4	02	NS	02	INTE402NS02
			チーム医療論Ⅰ	1		INTE	4	01	NS	03	INTE401NS03
			国際看護学		1	INTE	2	01	NS	51	INTE201NS51
			災害看護学		1	INTE	1	01	NS	52	INTE101NS52
			統合ゼミナール	1		INTE	4	01	NS	04	INTE401NS04
			統合実習	4		INTE	4	04	NS	05	INTE404NS05

● 2022 (令和4) 年度以降の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	大学 特別 科目	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	
		地球環境論Ⅱ	講義	1		2		30
	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	心理学概論	講義	1	2		30	
		生命科学（生命倫理）	講義	1	2			30
		哲学	講義	1		2		30
		法学	講義	1		2	30	
		医療心理学	講義	2		2		30
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育学実習	実習	1		1	30	
		英語Ⅰ	演習	1	1		30	
		英語Ⅱ	演習	1	1			30
		医療英語演習	演習	2	1		30	
		統計学（保健統計学含む）	講義（演習含む）	1	2			45
		看護基礎科学Ⅰ	講義	1	2		30	
		看護基礎科学Ⅱ	講義	1	2		30	
		基礎ゼミナールⅠ	講義	1	1		15	
		基礎ゼミナールⅡ	演習	1	1		15	15
		看護ゼミナールⅠ	演習	2	1		30	
		海外短期フィールドワークⅠ（北米）	演習	1・2・3・4		2	60	
	学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	2・3・4		4	180	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外セメスター語学研修Ⅱ	実習	2・3・4		4	180	
		海外語学（英語）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学（英語）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学（中国語）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学（中国語）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	
専 門 基 礎 分 野	おおよび心身の発達	人体の構造と機能Ⅰ（解剖学）	講義（演習含む）	1	3		60	
		人体の構造と機能Ⅱ（生理学）	講義（演習含む）	1	3			60
		生化学	講義	1	2			30
		栄養学	講義	1	1			15
		臨床栄養学	講義	2	1			15
		運動学	講義	1		1		15
		人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	講義	1	2		30	
		人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	講義	1	2			30
	健康回復の促進	病理学	講義	2	2		30	
		微生物学	講義	1	2			30
		生体防御学	講義	1	1			15
		臨床薬理学	講義	2	2		30	
		病態治療学Ⅰ	講義	2	2		30	
		病態治療学Ⅱ	講義	2	2		30	
		臨床検査学	講義	2	2			30
	増進と社会・健康の保持・保障	公衆衛生学	講義	2	1			15
		疫学	講義	2	2			30
		社会保障論	講義	2	2			30
		社会福祉論	講義	2		2		30
		医療安全学	講義	2	1			30

● 2022 (令和4) 年度以降の入学用 ●

表 1-1 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム (続き)

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専	護 の 基 本	看護学概論	講義	1	2		30	
		看護コミュニケーション論	演習	1	1		30	
		看護展開論	講義	2	1		15	
		看護倫理学	講義	2	1		30	
		アセスメントと看護技術Ⅰ	演習	1	1		30	
		アセスメントと看護技術Ⅱ	演習	1	2			60
		アセスメントと看護技術Ⅲ	演習	2	2		60	
		アセスメントと看護技術Ⅳ	演習	2	2			60
		地域看護論	講義	2	2		15	15
		健康教育論	演習	3	1		30	
		基礎看護学実習Ⅰ	実習	1	1			45
		基礎看護学実習Ⅱ	実習	2	2		45	45
門	分	成人看護学Ⅰ (慢性期)	演習	2	1		30	
		成人看護学Ⅱ (慢性期)	演習	3	2		60	
		成人看護学Ⅲ (急性期)	講義 (演習含む)	3	3		45	
		終末期看護論	講義	3	1		15	
		救急救命看護論	講義	3		1	15	
		家族看護論Ⅰ	講義	2	1		15	
		家族看護論Ⅱ	講義	4	1		15	
		在宅看護論	講義	2	2		15	15
		外来看護論	講義	3	1		15	
		母性看護学Ⅰ	講義	2	1		15	
		母性看護学Ⅱ	講義 (演習含む)	3	2		60	
		小児看護学Ⅰ	講義 (演習含む)	2	1		15	
		小児看護学Ⅱ	講義 (演習含む)	3	2		60	
		精神看護学	講義 (演習含む)	3	3		60	
		老年看護学	講義 (演習含む)	2	3			60
		臨床看護技術演習	演習	3	1		15	15
		公衆衛生看護学概論	講義 (演習含む)	2	2			45
		公衆衛生看護活動論	講義 (演習含む)	4		2	45	
		公衆衛生看護管理論	講義	4		2		30
		成人看護学実習 (急性期)	実習	3	3			135
		成人看護学実習 (慢性期)	実習	3	3			135
		老年看護学実習	実習	4	3		70	65
		外来看護実習	実習	4	1		45	
		母性看護学実習	実習	3	2			90
		小児看護学実習	実習	3	2			90
		精神看護学実習	実習	3	2			90
		公衆衛生看護学実習	実習	4		4	180	
		産業保健看護学実習	実習	4		1	25	20
野	統 合	看護研究概論	講義	2	1		7.5	7.5
		看護管理学	講義	4	2			30
		チーム医療論Ⅰ	講義	4	1		15	
		国際看護学	講義	2		1		15
		災害看護学	講義	1		1		15
		統合ゼミナール	演習	4	1			30
		統合実習	実習	4	4		90	90

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部看護学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め126単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤の領域として扱う。

● 2018（平成30）～2021（令和3）年度の入学者用 ●

表 1－2 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	大学 特別 科目	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	
		地球環境論Ⅱ	講義	1		2		30
	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	心理学概論	講義	1	2		30	
		生命科学（生命倫理）	講義	1	2			30
		哲学	講義	1		2		30
		法学	講義	1		2	30	
		医療心理学	講義	2		2		30
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育学実習	実習	1		1	30	
		英語Ⅰ	演習	1	1		30	
		英語Ⅱ	演習	1	1			30
		医療英語演習	演習	2	1		30	
		統計学（保健統計学含む）	講義（演習含む）	1	2			45
		看護基礎科学Ⅰ	講義	1	2		30	
		看護基礎科学Ⅱ	講義	1	2		30	
		基礎ゼミナールⅠ	講義	1	1		15	
		基礎ゼミナールⅡ	演習	1	1		15	15
		看護ゼミナールⅠ	演習	2	1		30	
		看護ゼミナールⅡ	演習	3	1		30	
		海外短期フィールドワークⅠ（北米）	演習	1・2・3・4		2	60	
	学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	2・3・4		4	180	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ a	実習	2・3・4		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ b	実習	2・3・4		2	90	
		海外セメスター語学研修Ⅱ	実習	2・3・4		4	180	
		海外語学（英語）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学（英語）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学（中国語）研修Ⅰ	実習	2・3・4		2	90	
		海外語学（中国語）研修Ⅱ	実習	2・3・4		2	90	
専 門 基 礎 分 野	おおよび心身の発達	人体の構造と機能Ⅰ（解剖学）	講義（演習含む）	1	3		60	
		人体の構造と機能Ⅱ（生理学）	講義（演習含む）	1	3			60
		生化学	講義	1	2			30
		栄養学	講義	1	1			15
		臨床栄養学	講義	2	1			15
		運動学	講義	1		1		15
		人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	講義	1	2		30	
		人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	講義	1	2			30
	健康の成り立ちと健康回復の促進	病理学	講義	2	2		30	
		微生物学	講義	1	2			30
		生体防御学	講義	1	1			15
		臨床薬理学	講義	2	2		30	
		病態治療学Ⅰ	講義	2	2		30	
		病態治療学Ⅱ	講義	2	2		30	
		臨床検査学	講義	2	2			30
	増進と社会保障	公衆衛生学	講義	2	1			15
		疫学	講義	2	2			30
		社会保障論	講義	2	2			30
		社会福祉論	講義	2		2		30
		医療安全学	講義	2	1			30

● 2018（平成30）～2021（令和3）年度の入学用 ●

表 1-2 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専	門	看護学概論	講義	1	2		30	
		看護コミュニケーション論	演習	1	1		30	
		看護展開論	講義	2	1		15	
		看護倫理学	講義	2	1		30	
		アセスメントと看護技術Ⅰ	演習	1	1		30	
		アセスメントと看護技術Ⅱ	演習	1	2			60
		アセスメントと看護技術Ⅲ	演習	2	2		60	
		アセスメントと看護技術Ⅳ	演習	2	2			60
		地域看護論	講義	2	2		30	
		健康教育論	演習	3	1		30	
		基礎看護学実習Ⅰ	実習	1	1			45
		基礎看護学実習Ⅱ	実習	2	1		45	
		基礎看護学実習Ⅲ	実習	2	2			90
分	野	成人看護学Ⅰ（慢性期）	演習	2	1		30	
		成人看護学Ⅱ（慢性期）	演習	3	2		60	
		成人看護学Ⅲ（急性期）	講義（演習含む）	3	3		45	
		終末期看護論	講義	2	1			15
		救急救命看護論	講義	3		1	15	
		家族看護論Ⅰ	講義	2	1		15	
		家族看護論Ⅱ	講義	4	1		15	
		在宅看護論	講義	2	2		15	15
		外来看護論	講義	3	1		15	
		母性看護学Ⅰ	講義	2	1		15	
		母性看護学Ⅱ	講義（演習含む）	3	2		60	
		小児看護学Ⅰ	講義（演習含む）	2	1		15	
		小児看護学Ⅱ	講義（演習含む）	3	2		60	
		精神看護学	講義（演習含む）	3	3		60	
		老年看護学	講義（演習含む）	2	3			60
		臨床看護技術演習	演習	3	1		30	
		公衆衛生看護学概論	講義（演習含む）	2	2			45
		公衆衛生看護学活動論	講義（演習含む）	4		2	45	
		公衆衛生看護学管理論	講義	4		2		30
		成人看護学実習（急性期）	実習	3	3			135
		成人看護学実習（慢性期）	実習	3	3			135
		老年看護学実習	実習	4	3		135	
		外来看護学実習	実習	4	1		45	
		母性看護学実習	実習	3	2			90
		小児看護学実習	実習	3	2			90
		精神看護学実習	実習	3	2			90
		公衆衛生看護学実習	実習	4		4	180	
		産業保健看護学実習	実習	4		1	45	
	看護の統合	看護研究概論	講義	2	1		7.5	7.5
		看護管理学	講義	4	2			30
		チーム医療論Ⅰ	講義	4	1		15	
		国際看護学	講義	2		1		15
		災害看護学	講義	1		1		15
		統合ゼミナール	演習	4	1			30
		統合実習	実習	4	3			135

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部看護学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め126単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤の領域として扱う。

● 2014（平成26）～2017（平成29）年度の入学用 ●

表 1－3 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
基 礎 分 野	大学 特別 科目	人間共生論	講義	1	2		30	
		新・文明の旅特講 a	講義	1・2・3		2	30	
		新・文明の旅特講 b	講義	1・2・3		2		30
		新・文明の旅総合講義	講義	1・2・3・4		2	30	
		地球環境論Ⅰ	講義	1		2	30	
		地球環境論Ⅱ	講義	1		2		30
	人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤	心理学概論	講義	1	2		30	
		人間関係論	講義	1	2			30
		生命科学（生命倫理）	講義	1	2			30
		哲学	講義	1		2		30
		法学	講義	1		2	30	
		医療心理学	講義	3		2	30	
		医療経済学	講義	1	2			30
		保健体育学	講義	1		2	30	
		保健体育学実習	実習	1		1	30	
		国語表現論	演習	1	1		15	15
		英語Ⅰ	演習	1	1		30	
		英語Ⅱ	演習	1	1			30
		医療英語演習Ⅰ	演習	2	1		30	
		医療英語演習Ⅱ	演習	3		1	30	
		物理学	講義	1		2		30
		生物学	講義	1	2		30	
		化学	講義	1		2	30	
		数学	講義	1		2	30	
		統計学（保健統計学含む）	講義（演習含む）	1	2			45
	学部共通留学関係科目	海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a	実習	2・3・4前		2	90	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b	実習	2・3・4前		2	90	
		海外セメスター語学研修Ⅰ	実習	2・3・4前		4	180	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ a	実習	2・3・4前		2	90	
		海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅱ b	実習	2・3・4前		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a	実習	2・3・4前		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b	実習	2・3・4前		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ a	実習	2・3・4前		2	90	
		海外個人フィールドワーク（英語）Ⅱ b	実習	2・3・4前		2	90	
		海外セメスター語学研修Ⅱ	実習	2・3・4前		4	180	
		海外語学（英語）研修Ⅰ	実習	2・3・4前		2	90	
		海外語学（英語）研修Ⅱ	実習	2・3・4前		2	90	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅰ	実習	2・3・4前		2	90	
		海外語学（該当英語外）研修Ⅱ	実習	2・3・4前		2	90	
		海外語学（中国語）研修Ⅰ	実習	2・3・4前		2	90	
		海外語学（中国語）研修Ⅱ	実習	2・3・4前		2	90	
専 門 基 礎 分 野	およ び 心 身 の 発 達	人体の構造と機能Ⅰ（解剖・生理学）	講義（演習含む）	1	3		30	30
		人体の構造と機能Ⅱ（解剖・生理学）	講義（演習含む）	1	3		30	30
		生化学	講義	1	2		30	
		栄養学	講義	1	1			15
		運動学	講義	1	1			15
		人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	講義	1	2			30
		人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	講義	2	2		15	15
		病理学	講義	2	2		30	
	疾 病 の 成 り 立 ち と 健 康 回 復 の 促 進	微生物学	講義	1	2			30
		生体防御学	講義	1	1			15
		薬理学	講義	2	2		30	
		病態治療学Ⅰ	講義（演習含む）	2	2		45	
		病態治療学Ⅱ	講義（演習含む）	2	2		45	
		臨床検査学	講義	2	2		30	
		公衆衛生学	講義	2	1			15
	増 進 と 社 会 保 障	保健医療福祉行政論	講義	2	2			30
		疫学	講義	2	2		30	
		社会保障論	講義	2		2		30
		社会福祉論	講義	2		2		30
		医療安全学	講義	2	2			30

● 2014（平成26）～2017（平成29）年度の入学者用 ●

表 1－3 保健医療技術学部 看護学科 カリキュラム（続き）

授 業 科 目 の 名 称			形態	配当年次	単 位 数		時 間 数	
					必修	選択	前期	後期
専	門	看護学概論	講義	1	2		30	
		看護コミュニケーション論	演習	1	1		30	
		看護展開論	演習	1	1			30
		看護倫理学	講義	2	2			30
		アセスメントと看護技術Ⅰ（日常生活支援援助）	演習	1	2		60	
		アセスメントと看護技術Ⅱ（治療過程支援援助）	演習	2	2		60	
		アセスメントと看護技術Ⅲ（療養生活支援援助）	演習	2	2			60
		アセスメントと看護技術Ⅳ（健康の保持・増進援助）	講義	3	1		15	
		地域看護論	講義	2	2			30
		健康教育論	演習	2	1			30
		基礎看護学実習Ⅰ（地域における生活者の理解）	実習	1	1			45
		基礎看護学実習Ⅱ（対象理解）	実習	2	1		45	
分	野	基礎看護学実習Ⅲ（日常生活援助）	実習	2	2			90
		急性期看護論	講義（演習含む）	2	3		60	
		慢性期看護論	講義（演習含む）	2	3			60
		終末期看護論	講義	3	2		30	
		救急救命看護論	講義	3		1	15	
		家族看護論	講義	2	2		30	
		在宅看護論	講義	3	2		30	
		外来看護論	講義	3	1		15	
		母性看護学	講義（演習含む）	2	3		60	
		小児看護学	講義（演習含む）	3	3		60	
		精神看護学	講義（演習含む）	3	3		60	
		老年看護学	講義（演習含む）	3	3		60	
野	野	公衆衛生看護学概論	講義（演習含む）	3	2		45	
		公衆衛生看護活動論	講義（演習含む）	4		2	45	
		公衆衛生看護管理論	講義	4		2		30
		成人看護学実習Ⅰ（クリティカル）	実習	3	2			90
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	実習	3	2			90
		老年看護学実習	実習	4	3		135	
		外来看護学実習	実習	4	1		45	
		母性看護学実習	実習	3	2			90
		小児看護学実習	実習	3	2			90
		精神看護学実習	実習	3	2			90
		公衆衛生看護学実習	実習	4		4	180	
		産業保健看護学実習	実習	4		1	45	
野	野	看護研究概論	講義	2	1			15
		看護管理学	講義	4	2		30	
		チーム医療論Ⅰ	講義	4	1		15	
		チーム医療論Ⅱ	演習	4	1			30
		国際看護学	講義	4	1			15
		災害看護学	講義	4		2		30
		統合実習	実習	4	4		180	
		アドバンス実習	実習	4	1			45

履修の方法及び卒業の要件

1. 保健医療技術学部看護学科を卒業するためには、本学に4年以上在学し、基礎分野科目、専門基礎分野科目、専門分野科目の中から必修を含め125単位以上を修得しなければならない。
2. 各分野の履修方法については別に定める。
3. 他学科・他学部の単位取得の上限は、30単位とし、人間と生活・社会の理解および科学的思考の基盤の領域として扱う。

• 2022（令和4）年度以降の入学者用 •

表 2－1 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目		単 位 数		備 考	
					必修	選択		
基 礎 分 野	人間と生活・社会の理解 および科学的思考の基盤	14	大学 特 別 科 目	人間共生論	2		基 礎 分 野 に お いて、必修科目 を含め、19 単 位 以 上 修 得 す ること。	
				新・文明の旅特講 a		2		
				新・文明の旅特講 b		2		
				新・文明の旅総合講義		2		
				地球環境論Ⅰ		2		
				地球環境論Ⅱ		2		
				心理学概論	2			
				生命科学（生命倫理）	2			
				哲学				2
				法学				2
				医療心理学				2
				保健体育学				2
				保健体育学実習				1
				英語Ⅰ	1			
				英語Ⅱ	1			
				医療英語演習	1			
				統計学（保健統計学含む）	2			
				看護基礎科学Ⅰ	2			
				看護基礎科学Ⅱ	2			
				基礎ゼミナールⅠ	1			
				基礎ゼミナールⅡ	1			
				看護ゼミナールⅠ	1			
				海外短期フィールドワークⅠ（北米）				2
					海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ a			
			海外個人フィールドワーク（日本語）Ⅰ b			2		
			海外セメスター語学研修Ⅰ			4		
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ a			2		
			海外個人フィールドワーク（英語）Ⅰ b			2		
			海外語学（英語）研修Ⅰ			2		
			海外語学（英語）研修Ⅱ			2		
			海外語学（該当英語外）研修Ⅰ			2		
			海外語学（該当英語外）研修Ⅱ			2		
			海外語学（中国語）研修Ⅰ			2		
			海外語学（中国語）研修Ⅱ		2			
(小 計)		(14)			18	45		

● 2022（令和4）年度以降の入学者用 ●

表 2－1 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考		
				必修	選択			
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 および心身の発達	22	人体の構造と機能Ⅰ（解剖学）	3	1	専 門 基 礎 分 野 において、必 修科目を含め、 33 単 位 以 上 修 得すること。		
			人体の構造と機能Ⅱ（生理学）	3				
			生化学	2				
			栄養学	1				
			臨床栄養学	1				
			運動学					
			人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	2				
			人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	2				
	疾病の成り立ちと 健康回復の促進		病理学	2				
			微生物学	2				
生体防御学			1					
臨床薬理学			2					
病態治療学Ⅰ			2					
病態治療学Ⅱ			2					
健康の保持・増進と 社会保障	臨床検査学	2						
	公衆衛生学	1		2				
	疫学	2						
	社会保障論	2						
	社会福祉論 ※							
医療安全学	1							
	(小 計)	(22)		33	3			
専 門 分 野	看護の基本	66 (うち臨地 実習 23)	看護学概論	2		専 門 分 野 に お い て、必 修科目を含め、70 単 位 以 上修得すること。		
			看護コミュニケーション論	1				
			看護展開論	1				
			看護倫理学	1				
			アセスメントと看護技術Ⅰ	1				
			アセスメントと看護技術Ⅱ	2				
			アセスメントと看護技術Ⅲ	2				
			アセスメントと看護技術Ⅳ	2				
			地域看護論	2				
			健康教育論	1				
			基礎看護学実習Ⅰ	1				
			基礎看護学実習Ⅱ	1				
			看護実践の基盤	成人看護学Ⅰ（慢性期）			1	1
				成人看護学Ⅱ（慢性期）			2	
	成人看護学Ⅲ（急性期）			3				
	終末期看護論			1				
	救急救命看護論							
	家族看護論Ⅰ			1				
	家族看護論Ⅱ			1				
	在宅看護論			2				
	外来看護論			1				
	母性看護学Ⅰ			1				
	母性看護学Ⅱ			2				
	小児看護学Ⅰ			1				
	小児看護学Ⅱ			2				
	精神看護学			3				
	老年看護学			3				
	臨床看護技術演習			1				
	公衆衛生看護学概論			2				
	公衆衛生看護活動論 ※			2				
	公衆衛生看護管理論 ※			2				

• 2022（令和4）年度以降の入学者用 •

表 2－1 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授業科目	単位数		備考		
				必修	選択			
専門分野	看護の実践		成人看護学実習（急性期）	3				
			成人看護学実習（慢性期）	3				
			老年看護学実習	3				
			外来看護実習	1				
			母性看護学実習	2				
			小児看護学実習	2				
			精神看護学実習	2				
			公衆衛生看護学実習 ※				4	
			産業保健看護学実習 ※				1	
	看護の統合		看護研究概論	1				
			看護管理学	2				
			チーム医療論Ⅰ	1				
			国際看護学				1	
			災害看護学				1	
			統合ゼミナール	1				
			統合実習	4				
	(小 計)		(63)		70		12	
	合 計		97		121		60	

※注意事項

保健師国家試験受験資格の資格要件を満たすためには、専門基礎分野において次の選択科目「社会福祉論」、および専門分野において次の選択科目「公衆衛生看護活動論」「公衆衛生看護管理論」「公衆衛生看護学実習」「産業保健看護学実習」は、必ず履修し修得すること。

看護学科

国家試験受験資格の授業科目履修方法

看護学科

国家試験受験資格の授業科目履修方法

● 2018（平成30）年度以降の入学用 ●

表 2－2 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 および心身の発達	21	人体の構造と機能Ⅰ（解剖学）	3	1	専 門 基 礎 分 野 において、必 修科目を含め、 33 単位以上修 得すること。
			人体の構造と機能Ⅱ（生理学）	3		
			生化学	2		
			栄養学	1		
			臨床栄養学	1		
			運動学			
			人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	2		
			人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	2		
	疾病の成り立ちと 健康回復の促進		病理学	2		
			微生物学	2		
生体防御学			1			
臨床薬理学			2			
病態治療学Ⅰ			2			
病態治療学Ⅱ			2			
健康の保持・増進と 社会保障	臨床検査学	2	2			
	公衆衛生学	1				
	疫学	2				
	社会保障論	2				
	社会福祉論 ※					
医療安全学	1					
	(小 計)	(21)		33	3	
専 門 分 野	看護の基本	63 (うち臨地 実習 23)	看護学概論	2		専 門 分 野 におい て、必 修 科 目 を 含 め、70 単 位 以 上 修 得 す る こ と。
			看護コミュニケーション論	1		
			看護展開論	1		
			看護倫理学	1		
			アセスメントと看護技術Ⅰ	1		
			アセスメントと看護技術Ⅱ	2		
			アセスメントと看護技術Ⅲ	2		
			アセスメントと看護技術Ⅳ	2		
			地域看護論	2		
			健康教育論	1		
			基礎看護学実習Ⅰ	1		
			基礎看護学実習Ⅱ	1		
			基礎看護学実習Ⅲ	2		
			看護実践の基盤	成人看護学Ⅰ（慢性期）		
	成人看護学Ⅱ（慢性期）			2		
	成人看護学Ⅲ（急性期）			3		
	終末期看護論			1		
	救急救命看護論					
	家族看護論Ⅰ			1		
	家族看護論Ⅱ			1		
	在宅看護論			2		
	外来看護論			1		
	母性看護学Ⅰ			1		
	母性看護学Ⅱ			2		
	小児看護学Ⅰ			1		
	小児看護学Ⅱ			2		
	精神看護学			3		
	老年看護学			3		
	臨床看護技術演習			1		
	公衆衛生看護学概論			2		
	公衆衛生看護活動論 ※				2	
	公衆衛生看護管理論 ※			2		

• 2018（平成30）年度以降の入学者用 •

表 2－2 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授業科目	単位数		備考		
				必修	選択			
専門分野	看護の実践		成人看護学実習（急性期）	3				
			成人看護学実習（慢性期）	3				
			老年看護学実習	3				
			外来看護実習	1				
			母性看護学実習	2				
			小児看護学実習	2				
			精神看護学実習	2				
			公衆衛生看護学実習 ※				4	
			産業保健看護学実習 ※				1	
	看護の統合		看護研究概論	1				
			看護管理学	2				
			チーム医療論Ⅰ	1				
			国際看護学				1	
			災害看護学				1	
			統合ゼミナール	1				
			統合実習	3				
	(小 計)		(63)		70		12	
	合 計		97		122		72	

※注意事項

保健師国家試験受験資格の資格要件を満たすためには、専門基礎分野において次の選択科目「社会福祉論」、および専門分野において次の選択科目「公衆衛生看護活動論」「公衆衛生看護管理論」「公衆衛生看護学実習」「産業保健看護学実習」は、必ず履修し修得すること。

・2014（平成26）～2017（平成29）年度の入学者用・

表 2－3 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目		単 位 数		備 考
					必修	選択	
基 礎 分 野	人間と生活・社会の理解 および科学的思考の基盤	13	大学 特 別 科 目	人間共生論	2		基 礎 分 野 に お い て、必 修 科 目 を 含 め、18 単 位 以 上 修 得 す る こ と。
				新・文明の旅特講 a		2	
				新・文明の旅特講 b		2	
				新・文明の旅総合講義		2	
				地球環境論 I		2	
				地球環境論 II		2	
				心理学概論	2		
				人間関係論	2		
				生命科学（生命倫理）	2		
				哲学		2	
				法学		2	
				医療心理学		2	
				医療経済学	2		
				保健体育学		2	
				保健体育学実習		1	
				国語表現論	1		
				英語 I	1		
				英語 II	1		
				医療英語演習 I	1		
				医療英語演習 II		1	
				物理学		2	
				生物学	2		
				化学		2	
				数学		2	
				統計学（保健統計学含む）	2		
				海外個人フィールドワーク（日本語）I a		2	
				海外個人フィールドワーク（日本語）I b		2	
				海外セメスター語学研修 I		4	
				海外個人フィールドワーク（日本語）II a		2	
				海外個人フィールドワーク（日本語）II b		2	
				海外個人フィールドワーク（英語）I a		2	
				海外個人フィールドワーク（英語）I b		2	
				海外個人フィールドワーク（英語）II a		2	
				海外個人フィールドワーク（英語）II b		2	
				海外セメスター語学研修 II		4	
				海外語学（英語）研修 I		2	
				海外語学（英語）研修 II		2	
				海外語学（該当英語外）研修 I		2	
				海外語学（該当英語外）研修 II		2	
				海外語学（中国語）研修 I		2	
				海外語学（中国語）研修 II		2	
	（小 計）	（13）			18	62	

● 2014（平成26）～2017（平成29）年度の入学用 ●

表 2－3 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 および心身の発達	21	人体の構造と機能Ⅰ（解剖・生理学）	3		専 門 基 礎 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 34 単 位 以 上 修 得 する こと。
	人体の構造と機能Ⅱ（解剖・生理学）		3			
	生化学		2			
	栄養学		1			
	運動学		1			
	人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）		2			
人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	2					
疾病の成り立ちと 健康回復の促進	病理学		2			
	微生物学		2			
	生体防御学		1			
	薬理学		2			
	病態治療学Ⅰ		2			
	病態治療学Ⅱ		2			
健康の保持・増進と 社会保障	臨床検査学		2			
	公衆衛生学	1	2			
	保健医療福祉行政論	2				
	疫学	2				
	社会保障論 ※					
	社会福祉論 ※					
医療安全学	2	2				
(小 計)	(21)		34	4		
専 門 分 野	看護の基本	63 (うち臨地 実習 23)	看護学概論	2		専 門 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 72 単 位 以 上 修 得 する こと。
			看護コミュニケーション論	1		
			看護展開論	1		
			看護倫理学	2		
			アセスメントと看護技術Ⅰ（日常生活支援援助）	2		
			アセスメントと看護技術Ⅱ（治療過程支援援助）	2		
			アセスメントと看護技術Ⅲ（療養生活支援援助）	2		
			アセスメントと看護技術Ⅳ（健康の保持・増進援助）	1		
			地域看護論	2		
			健康教育論	1		
			基礎看護学実習Ⅰ（地域における生活者の理解）	1		
			基礎看護学実習Ⅱ（対象理解）	1		
			基礎看護学実習Ⅲ（日常生活援助）	2		
			看護実践の基盤	急性期看護論		
	慢性期看護論			3		
	終末期看護論			2		
	救急救命看護論					
	家族看護論			2		
	在宅看護論			2		
	外来看護論			1		
	母性看護学			3		
	小児看護学			3		
	精神看護学			3		
	老年看護学	3				
	公衆衛生看護学概論	2				
	公衆衛生看護活動論 ※			2		
	公衆衛生看護管理論 ※		2			

● 2014（平成26）～2017（平成29）年度の入学者用 ●

表 2－3 看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専 門 分 野	看護の実践		成人看護学実習Ⅰ（クリティカル）	2		
			成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	2		
			老年看護学実習	3		
			外来看護学実習	1		
			母性看護学実習	2		
			小児看護学実習	2		
			精神看護学実習	2		
			公衆衛生看護学実習 ※		4	
			産業保健看護学実習 ※		1	
	看護の統合		看護研究概論	1		
			看護管理学	2		
			チーム医療論Ⅰ	1		
			チーム医療論Ⅱ	1		
			国際看護学	1		
			災害看護学		2	
			統合実習	4		
			アドバンス実習	1		
	（小 計）	（63）		72	12	
	合 計	97		124	78	

※注意事項

保健師国家試験受験資格の資格要件を満たすためには、専門基礎分野において次の選択科目「社会保障論」「社会福祉論」、および専門分野において次の選択科目「公衆衛生看護活動論」「公衆衛生看護管理論」「公衆衛生看護学実習」「産業保健看護学実習」は、必ず履修し修得すること。

• 2022（令和4）年度以降の入学者用 •

表 2－4 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目		単 位 数		備 考
					必修	選択	
基 <							

● 2022（令和4）年度以降の入学者用 ●

表 2－4 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考		
				必修	選択			
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能 および心身の発達	22	人体の構造と機能Ⅰ（解剖学）	3	1	専 門 基 礎 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 35 単 位 以 上 修 得 する こと。		
			人体の構造と機能Ⅱ（生理学）	3				
			生化学	2				
			栄養学	1				
			臨床栄養学	1				
			運動学					
			人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	2				
			人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	2				
	疾病の成り立ちと 健康回復の促進		病理学	2				
			微生物学	2				
生体防御学		1						
臨床薬理学		2						
病態治療学Ⅰ		2						
病態治療学Ⅱ		2						
健康の保持・増進と 社会保障	臨床検査学	2						
	公衆衛生学	1						
	疫学	2						
	社会保障論	2						
	社会福祉論	2						
	医療安全学	1						
	(小 計)	(22)		35	1			
専 門 分 野	看護の基本	66 (うち臨地 実習 23)	看護学概論	2		専 門 分 野 に お い て、 必 修 科 目 を 含 め、 79 単 位 以 上 修 得 する こと。		
			看護コミュニケーション論	1				
			看護展開論	1				
			看護倫理学	1				
			アセスメントと看護技術Ⅰ	1				
			アセスメントと看護技術Ⅱ	2				
			アセスメントと看護技術Ⅲ	2				
			アセスメントと看護技術Ⅳ	2				
			地域看護論	2				
			健康教育論	1				
			基礎看護学実習Ⅰ	1				
			基礎看護学実習Ⅱ	1				
			看護実践の基盤	成人看護学Ⅰ（慢性期）			1	1
				成人看護学Ⅱ（慢性期）			2	
	成人看護学Ⅲ（急性期）			3				
	終末期看護論			1				
	救急救命看護論							
	家族看護論Ⅰ			1				
	家族看護論Ⅱ			1				
	在宅看護論			2				
	外来看護論			1				
	母性看護学Ⅰ			1				
	母性看護学Ⅱ			2				
	小児看護学Ⅰ			1				
	小児看護学Ⅱ			2				
	精神看護学			3				
	老年看護学			3				
	臨床看護技術演習			1				
	公衆衛生看護学概論			2				
	公衆衛生看護活動論		2					
	公衆衛生看護管理論		2					

• 2022（令和4）年度以降の入学者用 •

表 2－4 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考	
				必修	選択		
専 門 分 野	看護の実践		成人看護学実習（急性期）	3			
			成人看護学実習（慢性期）	3			
			老年看護学実習	3			
			外来看護実習	1			
			母性看護学実習	2			
			小児看護学実習	2			
			精神看護学実習	2			
			公衆衛生看護学実習	4			
			産業保健看護学実習	1			
	看護の統合		看護研究概論	1	1 1		
			看護管理学	2			
			チーム医療論Ⅰ	1			
			国際看護学				
			災害看護学				
			統合ゼミナール	1			
			統合実習	4			
	(小 計)		(63)		79		3
	合 計		97		132		49

※注意事項

保健師免許取得後に養護教諭2種免許の申請をする場合には、次の選択科目「法学」「保健体育学」「保健体育学実習」を履修し修得すること。

看護学科

131

● 2018（平成30）年度以降の入学用 ●

表 2－5 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
専門基礎分野	人体の構造と機能 および心身の発達	21	人体の構造と機能Ⅰ（解剖学）	3	1	専門基礎分野 において、必修科目を含め、 35単位以上修得すること。
			人体の構造と機能Ⅱ（生理学）	3		
			生化学	2		
			栄養学	1		
			臨床栄養学	1		
			運動学			
			人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	2		
			人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	2		
	疾病の成り立ちと 健康回復の促進		病理学	2		
			微生物学	2		
生体防御学			1			
臨床薬理学			2			
病態治療学Ⅰ			2			
病態治療学Ⅱ			2			
健康の保持・増進と 社会保障	臨床検査学	2				
	公衆衛生学	1				
	疫学	2				
	社会保障論	2				
	社会福祉論	2				
		医療安全学	1			
	(小 計)	(21)		35	1	
専門分野	看護の基本	63 (うち臨地 実習 23)	看護学概論	2	1	専門分野において、必修科目を含め、79単位以上修得すること。
			看護コミュニケーション論	1		
			看護展開論	1		
			看護倫理学	1		
			アセスメントと看護技術Ⅰ	1		
			アセスメントと看護技術Ⅱ	2		
			アセスメントと看護技術Ⅲ	2		
			アセスメントと看護技術Ⅳ	2		
			地域看護論	2		
			健康教育論	1		
			基礎看護学実習Ⅰ	1		
			基礎看護学実習Ⅱ	1		
			基礎看護学実習Ⅲ	2		
			看護実践の基盤	成人看護学Ⅰ（慢性期）		
	成人看護学Ⅱ（慢性期）			2		
	成人看護学Ⅲ（急性期）			3		
	終末期看護論			1		
	救急救命看護論					
	家族看護論Ⅰ			1		
	家族看護論Ⅱ			1		
	在宅看護論			2		
	外来看護論			1		
	母性看護学Ⅰ			1		
	母性看護学Ⅱ			2		
	小児看護学Ⅰ			1		
	小児看護学Ⅱ			2		
	精神看護学			3		
	老年看護学			3		
	臨床看護技術演習			1		
	公衆衛生看護学概論			2		
	公衆衛生看護活動論			2		
	公衆衛生看護管理論		2			

• 2018（平成30）年度以降の入学者用 •

表 2－5 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
専門分野	看護の実践		成人看護学実習（急性期）	3		
			成人看護学実習（慢性期）	3		
			老年看護学実習	3		
			外来看護実習	1		
			母性看護学実習	2		
			小児看護学実習	2		
			精神看護学実習	2		
			公衆衛生看護学実習	4		
			産業保健看護学実習	1		
	看護の統合		看護研究概論	1	1 1	
			看護管理学	2		
			チーム医療論Ⅰ	1		
			国際看護学			
			災害看護学			
			統合ゼミナール	1		
			統合実習	3		
			(小計)	(63)		
	合計		97			

※注意事項

保健師免許取得後に養護教諭2種免許の申請をする場合には、次の選択科目「法学」「保健体育学」「保健体育学実習」を履修し修得すること。

看護学科

国家試験受験資格の授業科目履修方法

看護学科

国家試験受験資格の授業科目履修方法

● 2014（平成26）～2017（平成29）年度の入学用 ●

表 2－6 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授 業 科 目	単 位 数		備 考
				必修	選択	
基 礎 分 野	人体の構造と機能 および心身の発達	21	人体の構造と機能Ⅰ（解剖・生理学）	3		専 門 基 礎 分 野 において、必修 科目 38 単位 修 得すること。
			人体の構造と機能Ⅱ（解剖・生理学）	3		
			生化学	2		
			栄養学	1		
			運動学	1		
			人間の発達と健康Ⅰ（母胎期～青年期）	2		
			人間の発達と健康Ⅱ（成人期～老年期）	2		
疾病の成り立ちと 健康回復の促進	病理学	2				
	微生物学	2				
	生体防御学	1				
	薬理学	2				
	病態治療学Ⅰ	2				
	病態治療学Ⅱ	2				
	臨床検査学	2				
健康の保持・増進と 社会保障	公衆衛生学	1				
	保健医療福祉行政論	2				
	疫学	2				
	社会保障論	2				
	社会福祉論	2				
	医療安全学	2				
(小 計)	(21)		38			
専 門 分 野	看護の基本	63 (うち臨地 実習 23)	看護学概論	2	1	専 門 分 野 に お い て、必修科目を 含め、81 単位 以 上修得すること。
			看護コミュニケーション論	1		
			看護展開論	1		
			看護倫理学	2		
			アセスメントと看護技術Ⅰ（日常生活支援援助）	2		
			アセスメントと看護技術Ⅱ（治療過程支援援助）	2		
			アセスメントと看護技術Ⅲ（療養生活支援援助）	2		
			アセスメントと看護技術Ⅳ（健康の保持・増進援助）	1		
			地域看護論	2		
			健康教育論	1		
			基礎看護学実習Ⅰ（地域における生活者の理解）	1		
			基礎看護学実習Ⅱ（対象理解）	1		
			基礎看護学実習Ⅲ（日常生活援助）	2		
	看護実践の基盤		急性期看護論	3		
			慢性期看護論	3		
			終末期看護論	2		
			救急救命看護論			
			家族看護論	2		
			在宅看護論	2		
			外来看護論	1		
			母性看護学	3		
			小児看護学	3		
			精神看護学	3		
			老年看護学	3		
			公衆衛生看護学概論	2		
			公衆衛生看護活動論	2		
			公衆衛生看護管理論	2		

• 2014（平成26）～2017（平成29）年度の入学者用 •

表 2－6 保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法（続き）

区分	指定規則上の教育内容	指定規則上の 単位数	授業科目	単位数		備考			
				必修	選択				
専門分野	看護の実践		成人看護学実習Ⅰ（クリティカル）	2					
			成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	2					
			老年看護学実習	3					
			外来看護学実習	1					
			母性看護学実習	2					
			小児看護学実習	2					
			精神看護学実習	2					
			公衆衛生看護学実習	4					
			産業保健看護学実習	1					
	看護の統合		看護研究概論	1	2				
			看護管理学	2					
			チーム医療論Ⅰ	1					
			チーム医療論Ⅱ	1					
			国際看護学	1					
			災害看護学						
			統合実習	4					
			アドバンス実習	1					
	(小 計)		(63)		81		3		
	合 計		97		137		65		

※注意事項

保健師免許取得後に養護教諭2種免許の申請をする場合には、次の選択科目「法学」「保健体育学」「保健体育学実習」を履修し修得すること。

I. 統合実習の概要

1. 実習目的

- 1) これまでの実習における学修をふまえながら自己の看護実践の中で取り組むべき課題を見出し、課題達成に向けて主体的ならびに自律的に実習を展開する力を修得する。
- 2) 対象のニーズに即した看護を実践できるように必要とされる基礎能力の修得を確かなものとし、看護専門職として自身の実践力を研鑽していく姿勢を身につける。

2. 実習目標

- 1) これまでの実習における学修をふまえながら自己の看護実践の中で取り組むべき課題を見出す。
 - (1) これまでの実習における達成度を適切に自己評価でき、達成できていない内容を認識できる。
 - (2) これまでの実習の自己評価をもとに看護を実践していく上で卒業までに取り組むべき課題を見出すことができる。
- 2) 課題達成に向けて主体的ならびに自律的に実習を展開する力を培う。
 - (1) 自己が取り組むべき課題の達成に向けて実習展開するに相応しい領域を選択できる。
 - (2) 指導教員の助言を受けながら課題を達成するための実習内容を考え、実習計画を立案できる。
 - (3) 実習計画に沿いながら主体的に実習に取り組み、対象者にとって必要な看護を提供するための看護過程を展開できる。
- 3) 対象のニーズに即した看護を実践できるように必要とされる基礎能力の修得を確かなものとし、看護専門職として自身の実践力を研鑽していく姿勢を身につける。
 - (1) 自身の看護技術力（思考的技術・援助的技術・手技的技術）の修得状況を客観的に自己評価できる。
 - (2) 自己評価の内容をふまえて、卒業までに修得すべき看護技術に関して自己研鑽できる。
 - (3) 統合実習での到達状況を自己評価し、今後の課題を見出せる。

3. 実習内容

- 1) 自己の看護実践の中で取り組むべき課題の把握
 - (1) これまでに履修した各実習の目標を見直し、自己の到達状況を客観的に評価して、到達できていない内容を明確にする。
 - (2) 到達できていない内容をふまえて、卒業までに解決を図るべき優先的課題を明らかにする。
- 2) 課題達成に向けて主体的ならびに自律的実習の展開
 - (1) 課題に取り組むために実習展開するに相応しい領域を明確にして、選択する。
 - (2) 指導教員に相談しながら見出した課題について、文献検討やグループディスカッションを実施しながら洗練させる。
 - (3) 課題を達成するためには、どのような実習を展開すべきかを考え、実現可能で効果的な実習計画を立案する。

- (4) 実習計画に沿って着実に主体的に実習を実施する。
- (5) 対象者のニーズに応じた看護実践を提供する場合には、適切な看護過程を展開する。
- (6) 実習の進捗状況は、随時、指導教員に報告し、指導・助言を受けながらより効果的な実習になるよう改善を図る。

3) 確かな看護実践に繋がる基礎能力の修得

- (1) 実習を通して、自己の看護技術力を見直して、自己評価する。
- (2) 修得が不十分な技術に関しては、実習前・実習中はもちろんのこと、実習後においても自己学習を積み、研鑽する。

設側のスタッフへの依頼、テーマ設定、開催時間などを予め検討し、主体的に進める。これまでのカンファレンスで学修したことを活かし、効果的なカンファレンスとなるように努める。

4. 統合実習成績評価

- (1) 課題に関する文献検討のまとめ (10%)
- (2) 課題達成をふまえた実習目標および実習計画の作成への取り組み (20%)
- (3) 実習全体の取り組み (30%)
- (4) 実習中の記録物 (10%)
- (5) 課題に関連した事例のまとめ (30%)

Ⅱ. アドバンス実習の概要

1. 実習目的

統合実習において看護を実践するために必要とされる基礎能力を確かなものとした上で、さらに強化したい実践能力を見出し、その実践能力を獲得するための取り組み内容を思考し、自律的に取り組む力を身につける。自らの実践能力を客観的に評価し、改善を図っていける看護専門職としての倫理的姿勢を養う。

2. 実習目標

- 1) 統合実習を含めこれまでの実習における学修をふまえながら強化したい看護実践能力を見出す。
 - (1) 卒業後に求められる看護実践能力を想定しながら自らの実践能力を客観的に評価し、自らの強みとすべき実践力を見出す。
- 2) 強化したい実践能力を獲得するための実習内容を思考でき、実習計画を立てて、実習を展開できる。
 - (1) 強化したい実践能力を獲得するためには、どのような実習を展開することが必要か具体的に考えることができる。
 - (2) 実習内容にそくした実習計画を立案し、実習計画にそって主体的に実習に取り組み、対象者にとって必要な看護を提供するための看護過程を展開できる。
- 3) 自らの実践能力を客観的に評価でき、改善を図るための方策を見出せる。
 - (1) 自らの実習内容を踏まえて実践能力を客観的に評価できる。
 - (2) 自らの実践能力の中で不足している内容を今後高めていくための方策を検討できる。

3. 実習内容

- 1) 自己の看護実践能力の中で強化したい内容の把握

- (1) これまでの実習における経験をもとに自己の実践能力を客観的に評価する。
- (2) 卒業後に進みたい臨床場面を想定しながら求められる看護実践能力を考え、自らの実践能力の中で強みとすべき実践力を見出す。

2) 強みとすべき看護実践能力獲得に向けて主体的ならびに自律的実習の展開

- (1) 自らが獲得すべき看護実践能力に相応しい実習内容に関して文献等を参考にしながら検討する。
- (2) 指導教員に相談しながらどのような実習を展開すべきかを考え、実現可能で効果的な実習計画を立案する。
- (3) 実習計画に沿って着実に主体的に実習を実施する。
- (4) 対象者のニーズに応じた看護実践を提供する場合には、適切な看護過程を展開する。
- (5) 実習の進捗状況は、随時、指導教員に報告し、指導・助言を受けながらより効果的な実習になるよう改善を図る。

3) 実践能力に対する客観的な評価と研鑽への意識の発揚

- (1) 実習における自らの実践能力を客観的に捉え、評価する。
- (2) 看護専門職は自らの実践力を常に評価し、研鑽していく職種でなければならないことを十分に認識する。

4. アドバンス実習成績評価

- (1) 看護実践能力を強化するための実習目標および実習計画の作成への取り組み (20%)
- (2) 実習全体の取り組み (40%)
- (3) 実習中の記録物 (10%)
- (4) 実習の成果のプレゼンテーション (30%)

IX 教務グループの取扱事務など

証明書の発行

実習準備室の使用

授業以外での施設見学・訪問

卒業研究等用コピー機および印刷機の利用

IX- i 証明書の発行

本学では証明書自動発行機を導入しています。証明書自動発行機は、ふじみ野キャンパスでは「東館1階アトリウム内」、本郷キャンパスでは「島田依史子記念館2階」に設置しています。証明書の発行手順は以下の通りです。

証明書自動発行機の手順

発行には学生証とパスワードが必要です。パスワードはB's LINKにログインする時のパスワードと同じです。自動発行機の音声ガイダンスと画面に従って発行して下さい。

尚、パスワードを忘れた場合、情報教育研究センターに学生証を持参の上、お問い合わせください。

緊急の場合など、事務窓口で証明書を発行いたします。証明書の種類・用途により担当する事務窓口が異なります。詳細は、「キャンパスガイド」を参照してください。

- (1) 在学証明書
- (2) 成績証明書
- (3) 卒業（見込）証明書
- (4) 健康診断証明書
- (5) 卒業（修了）証明書
- (6) 単位修得（見込）証明書

保健医療技術学部教務グループが担当する証明書を発行する場合は、保健医療技術学部教務グループに備え付けの申込用紙「証明書等発行願（納入書）」に、所定の事務所券売機にて購入した必要金額分の証紙を貼付の上、申し込んでください。発行申し込みの2日後となります（休日、祝日を除く）。また、以下の事項に注意してください。

- ・本人による申し込み、受け取りが原則です。
- ・発行後の受け取りには、学生証の提示が必要です。
- ・時期により申し込み件数が増え、発行日に日数を要しますので、早めに申し込みをしてください。

(保健医療技術学部) 証明書等発行願(納入書)				在学学生 学業生共通	
在学学生・卒業生()		申請年月日		年 月 日	
理学療法学科・作業療法学科・臨床検査学科・看護学科 画いずれかに○印					
学年	年	学籍番号	(卒業生は卒業時) 連絡先		
フリガナ		氏 名		生年 月 日	大正 昭和 平成
※各種英文証明書申請時のみローマ字氏名					
提出先		用 途			
	証 明 書 名	金額(円)	相 文	原 文	申請通数
1	在学証明書	200	600		
2	成績証明書	200	600		
3	卒業(見込)証明書	200	600		
4	健康診断証明書	200	—		
5	卒業(修了)証明書	200	600		
6	単位修得(見込)証明書	200	600		
7	その他(下記に該当項目記入)				
合 計					円
証明書発行年月日 年 月 日 作成者					
種別番号					
発行番号					
期 印					
種別番号					
発行番号					
期 印					
証 紙 貼 付 欄					
証明書発行手数料の合計金額相当分の証紙(校内専用)を この枠内に貼付すること。 ※金額の過不足は認めない。					
※記入していない(空白)欄については、申請時の学生番号・学生生活の支援及び緊急連絡網のみに使用いたします。 (保医部 3-1-1004)					

IX- ii 実習準備室の使用

保健医療技術学部では、実習着の着替え、保管を目的として、ロッカーを設置しております。使用する際は、以下の点に注意して、各自割り当てられたロッカーを使用してください。

ロッカー使用の注意点

- ① ロッカー室内に私物等を放置しないこと。放置した物は予告なく処分します。
- ② 万が一破損した時は使用者にその損害を弁償してもらいますので、丁寧に取り扱ってください。
- ③ ロッカー内には、危険物などを入れないでください。
- ④ 貴重品はロッカー内に置かないようにし、各自で管理してください。
- ⑤ ロッカー室は、整理整頓し、きれいに使用しましょう。

※場所はキャンパスガイド施設案内図を参照してください。

ふじみ野キャンパス…東館3階（理学療法学科・作業療法学科・臨床検査学科）

本郷東キャンパス……管理棟2階（臨床検査学科）

本郷西キャンパス……S館10階（看護学科）

IX- iii 授業以外での施設見学・訪問

授業以外で施設見学・訪問を希望する場合には、大学の許可が必要となります。許可なく個人で実施することがないように、以下の手順に従って申請手続きをしてください。

申請手続きの手順

- ① 保健医療技術学部教務グループ備え付けの「授業以外での施設見学・訪問届」に所定事項を記入し、クラスアドバイザーに提出する。
- ② 提出された書類は、クラスアドバイザー、学科長の承認を得なければならない。
- ③ 学生は届出が承認された後、希望する施設の許可を得ること。また許可を得る際、依頼状の必要性について確認を行うこと。なお、見学日が「授業以外での見学・訪問届」と異なる場合は、クラスアドバイザーに報告すること。
- ④ 「授業以外での施設見学・訪問届」申請は、原則として前期・後期の授業期間内とする。

保健医療技術学部		年 月 日	
学科学科長 殿		学籍番号 _____	
		申込者名 _____ 印	
授業以外での施設見学・訪問届			
申込者連絡先 住所・TEL	TEL - -		
見学予定日	年 月 日 ()		
見学施設名 (正式名称)			
見学施設の連絡 住所・TEL	TEL - -		
見学目的			
公文書	不要 ・ 必要 必要時は公文書の宛先を記載		
特記事項・備考			
※提出先：クラスアドバイザー			
教務グループ	学科長	クラス アドバイザー	
/	/	/	

許可について

- ① 見学期間は、原則、長期休暇中で1日といたします。

施設見学・訪問後の報告書について

- ① 見学後、「授業以外での施設見学・訪問報告書」を作成してください。
- ② 報告書は、クラスアドバイザーへ速やかに提出してください。

保健医療技術学部		年 月 日	
学科学科長 殿		学籍番号 _____	
		申込者名 _____ 印	
授業以外での施設見学・訪問報告書			
申込者連絡先 住所・TEL	TEL - -		
見学日	年 月 日 ()		
見学施設名			
報告			
※提出先：クラスアドバイザー			
教務グループ	学科長	クラス アドバイザー	
/	/	/	

保険の適応について

- ① 施設への移動中および見学中の事故には十分注意してください。万が一、事故にあった場合には速やかに大学へ連絡をしてください。
- ② 状況に応じては、保険が適用される場合があります。

その他

- ① 止むを得ない理由により遅刻・欠席となる場合には、見学担当者ならびに大学へ速やかに連絡をしてください。
- ② 見学後、見学担当者への礼状を作成し、送付してください。見学後、2～3日以内に送付するように心がけてください。

詳細は、クラスアドバイザーまでお問い合わせください。

IX-iv 卒業研究等用コピー機および印刷機の利用

卒業研究（もしくは担当教員より特別の指示があった授業）に限り、大学内設置のコピー機および印刷機を利用することが出来ます。以下の手順に従って申請手続きをしてください。

申請手続きの手順

- ① コピー機および印刷機の利用を希望する学生は、保健医療技術学部教務グループ備え付けの「卒業研究など教材印刷（コピー）許可票」を記載し、担当教員へ提出してください。
- ② 担当教員より許可を受けた後、「コピー機および印刷機利用カード」と「コピー（印刷）用紙」を担当教員から受け取ってください。
- ③ コピー（印刷）用紙は、卒業研究ならびに統合実習・アドバンス実習用にて学生1人あたり総計1,000枚までの利用上限となります。利用カードカウンター枚数と「卒業研究など教材印刷（コピー）許可票」の使用枚数欄を基に集計しておりますので、上限枚数を超えることのないように計画的に利用してください。
- ④ コピー機および印刷機にてコピー（印刷）を実施してください。
1原稿15枚以内の場合はコピー機、1原稿16枚以上の場合は印刷機を利用してください。
- ⑤ コピー機および印刷機にてコピー（印刷）終了後、「コピー機および印刷機利用カード」と「残部コピー（印刷）用紙」を担当教員へ渡してください。

卒業研究など教材印刷（コピー）許可票			
20 年 月 日			
学科 学年	PT・OT・CM・NS 科 年	氏 名	
科目名		担 当 教員名	
目的	() ①学生が授業（ゼミ）で配布する資料 () ②教員が配布する資料 () ③卒業研究のため		
予定 枚数	B5 () 種類 × () 人分 (枚) =		
	【印刷原稿】: A4 () 種類 × () 人分 (枚) =		
	B4 () 種類 × () 人分 (枚) =		
使用 枚数	印刷・コピー	枚	金額 (必要な時に学校が記入) 円
その他	※		許可者印 (依頼者印)

※その他：ホチキスの貸し出しなど、許可者（依頼者）が記入のこと。
* 原稿1枚につき、40枚以上は原則として印刷機使用

コピー機および印刷機の設置場所

ふじみ野キャンパス：東館3階東南角（E-303教室近く）

本郷キャンパス：共同研究棟1階、S館11階

詳細は、担当教員および保健医療技術学部教務グループまでお問い合わせください。

X 規 程

履修規程

臨床実習・臨地実習履修規程

(履修の基本事項)

- 第 1 条 この規程は、学則第 15 条に基づき、本学部の教育課程及び履修について必要な事項を定める。ただし、学則第 15 条第 13 項に定める G C I に関わる科目（以下、G C I 科目）の履修方法等については、G C I 履修規程によるものとする。

(履修登録)

- 第 2 条 学生は、学期始めの履修登録期間内に、所定の方法で履修登録をしなければならない。
- 2 履修登録した科目の変更は、原則として認めない。
 - 3 履修しようとする科目は、原則として各学年に配当されている中から選択すること。
 - 4 登録した科目は、途中で放棄することなく履修し試験を受けること。
 - 5 一旦、単位を取得した科目の再履修はできない。但し、聴講することができる。
 - 6 単位が認定されなかった科目は、次年度、履修登録しなければ受講できない。
 - 7 期の途中で休学となった場合は、休学前に登録した科目の履修は取り消される。

(授業の出欠について)

- 第 3 条 学生は、授業に出席しなければならない。
- 2 公認欠席（以下「公欠」という。）の取り扱いについては、「学生事務取扱規程」の定めるところによる。内容は以下の通りである。
次の場合は、公欠とし出席すべき時数には数えない。
ア．別に定めた慶弔に出席するために欠席する場合。
イ．出身高校等の要請により、進学説明会に参加する場合。
ウ．法律等指定された感染症に感染した場合。
エ．クラブなどの学外活動で学生委員会の推薦があり、教務委員会が認定した場合。
オ．その他、教務委員会が認定した場合。
 - 3 公欠は、教務グループに届け出て承認印を受けた後、担当教員に公欠印のある欠席届を提出すること。
 - 4 災害発生等に基づく休講は、「緊急時の対処要領」に定めるところによる。

(単位の計算方法)

- 第 4 条 学則第 17 条により講義、演習、実習の単位を設定する。
- 講義は 15 時間ないし、30 時間をもって 1 単位とする。
- 演習は 15 時間ないし、30 時間をもって 1 単位とする。
- 実習は 30 時間ないし、45 時間をもって 1 単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、別に単位を定めることができる。

(単位の認定)

- 第 5 条 各科目の単位は、各科目担当教員が評価を行い、教務委員会で協議の上、教授会で認定する。

(授業科目)

- 第 6 条 理学療法学科の授業科目は、学則別表に示されたとおりとする。(第 15 条第 9 項第 1 号)
- 2 作業療法学科の授業科目は、学則別表に示されたとおりとする。(第 15 条第 10 項第 1 号)
- 3 臨床検査学科の授業科目は、学則別表に示されたとおりとする。(第 15 条第 11 項第 1 号)
- 4 看護学科の授業科目は、学則別表に示されたとおりとする。(第 15 条第 12 項第 1 号)

(G C I 科目)

- 第 7 条 G C I 科目は、学則別表の通りとする。
- 2 G C I 科目は、入学後に許可された学生（以下、G C I special 学生）のみ、履修することができる。
- 3 前項にかかわらず、所定の要件を満たした学生は、G C I 科目の履修を認められる場合がある。
- 4 G C I 科目を履修することにより取得した単位は、基礎科目取得単位に算入する。

(1 学年で取得できる単位の限度)

- 第 8 条 1 学年で取得できる単位の限度は 49 単位を上限とする。ただし、基礎分野の選択科目、G C I 科目を除く。
- 2 本条第 1 項の規程にかかわらず、前学期までに履修した科目の平均が G P A 3.0 以上の成績を修めた学生は当該学期の単位数上限以上の科目を登録し、履修できる。

(国家試験受験資格)

- 第 9 条 理学療法学科に在籍する学生は、学則別表「理学療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法」に示された単位を履修すること。
- 2 作業療法学科に在籍する学生は、学則別表「作業療法士の国家試験受験資格の授業科目履修方法」に示された単位を履修すること。
- 3 臨床検査学科に在籍する学生は、学則別表「臨床検査技師の国家試験受験資格の授業科目履修方法」に示された単位を履修すること。
- 4 看護学科に在籍する学生は、学則別表「看護師の国家試験受験資格の授業科目履修方法」ならびに「保健師の国家試験受験資格の授業科目履修方法」に示された単位を履修すること。

(成績の評価)

- 第 10 条 授業科目の評価は、試験により行う。
- 2 学外での臨床実習・臨地実習の成績評価については、別に定める。

(試験の実施要領)

- 第 11 条 試験には、定期試験、追試験、再試験がある。これ以外に通常授業時間に行う試験がある。

- 2 試験の方法は、筆記試験、口答試験、実技試験、レポート提出などがあり、併用して実施することがある。

(追試験)

第 12 条 追試験とは正当な理由で試験を受験できなかった者に対する試験である。

- 2 正当な理由で定期試験を受験できなかった者に追試験を行う。
- 3 定期試験を欠席した者は、定期試験を受けられなかった理由を証明するもの（診断書・事故証明など）を該当試験実施日より 7 日以内に提出できない場合には、事前に教務グループに申し出なければならない。
- 4 前項により理由を証明するものを提出した者には追試験の受験を許可する。
- 5 追試験受験者は、指定の手続き期間内に届出用紙に記入し、教務グループに申し込まなければならない。
- 6 追試験の追試験は行うことがある。

(再試験)

第 13 条 再試験は、定期試験を受験の上、必修科目（および修得すべき選択科目）の試験結果が不合格の場合行う試験である。なお、レポート課題を定期試験として実施した場合には、レポート未提出は試験欠席したものとして扱う。

- 2 再試験受験者は、指定の手続き期間内に届出用紙に記入し、指定された受験料を添えて教務グループに申し込まなければならない。なお、正当な理由なく定期試験の欠席の場合、所定の届出用紙において学科長に事前に許可を取らなければ受験することが出来ない。
- 3 前項による再試験受験者は、原則試験実施日より 7 日以内に所定の手続きをしなければならない。
- 4 再試験の結果、合格した者の成績は可とする。
- 5 再試験の追試験は行うことがある。

(受験資格)

第 14 条 下記のいずれかに該当する場合は、定期試験および追・再試験を受けることができない。

- (1) 学年の初めに所定の履修手続きをしていない場合。
- (2) 授業時数の 3 分の 1 を超えて欠席した場合。
- (3) 実習科目の場合は、5 分の 1 を超えて欠席した場合。
- (4) 所定の学納金が未納の場合。ただし、延納許可を受けている者を除く。

(遵守事項)

第 15 条 試験場においては、すべて監督者の指示に従うこと。

- 2 試験場においては、常に学生証を机の上に提示すること。ただし、学生証を所持しない場合は、事前に教務グループに申し出て、入室許可証を受領すること。
- 3 試験場には、予め許可を得た物品以外は持ち込んではならない。
- 4 試験場においては、不正行為をしてはならない。この際、私語、筆記具その他の貸借等も不正行為とみなす。

- 5 交通機関の遅延その他やむを得ない理由と認められても、20分以上遅刻した場合は、受験することができない。

(不正行為に対する処置)

第16条 試験に際し、前条第4項の遵守事項に違反した場合は、即時退出および受験停止を命ずる。なお、その試験期間実施全科目の単位取得を無効とする。また、学則第53条に基づいて懲戒処分とすることがある。

- 2 授業中に実施される小テストや課題などにおいて不正行為をした場合には、当該科目の取得単位を無効とする。

- 3 出席に関する不正行為をした場合についても、当該科目の取得単位を無効とする。

(成績の評点)

第17条 評価の基準については、以下の通りとする。

評価	評価基準	Grade Point (GP)	成績評価内容
AA (秀)	90 - 100 点	4.0	特に優れた成績
A (優)	80 - 89 点	3.0	優れた成績
B (良)	70 - 79 点	2.0	妥当と認められる成績
C (可)	60 - 69 点	1.0	合格と認められる成績
P (合格)	—	3.0	合格と認められる成績 (合格／不合格科目)
N (認定)	—	—	合格と認められる成績 (編入時単位認定等)
F (不可)	59 点以下	0.0	合格と認められる成績に達していない
F - (不可)	試験欠席	0.0	成績評価試験等を欠席
F * (不可)	失 格	0.0	出席回数が基準を満たしていない

- 2 ただし、外国留学等に際して必要となる成績証明書については、成績評価の表記の方法は、留学に関する諸規程による。規程がない場合は、留学先である外国の通常の事情等を考慮して教務委員会が決定する。

- 3 GP より算出される GPA (Grade Point Average) については、別に定める。

(成績発表)

第18条 成績通知表は、本人または委任を受けた代理人に対してのみ交付する。学生は、指定された成績発表の日時に、成績通知表を受領するものとする。

- 2 本人または委任を受けた代理人以外には成績通知表を提示しない。

(GPA による勧告)

第19条 各年次終了後に、GPA が 1.0 未満の者には、退学勧告し、学修指導を行う。

(休 学)

第20条 学則第37条により疾病その他やむを得ない理由により、3ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て、休学することができる。

- 2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者について、学長は、休学を命ずることができる。

- 3 休学の期間は1ヶ年以内とする。ただし、特別の事由があるときは、引き続きさらに1ヶ年以内の休学を許可することがある。また、休学の期間は、通算して4年を超えることができない。
- 4 休学期間満了の場合または休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。
- 5 休学の期間は、学則第11条第2項の在学年限に算入しない。

(復学の場合の在籍)

- 第21条 学則第37条により学年初めから学年末までの1年間にわたって休学をしていた者が許可された場合には、当該学年に復学する。
- 2 学則第37条により年度の途中で休学が許可された者が、学年末までに復学を許可された場合は、当該学年に復学する。

(進 級)

- 第22条 当該年度において、必修科目に不合格科目がある者は、翌年度に次学年に進級することができない。

(卒業資格)

- 第23条 次の要件を満たした者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
- (1) 本学に4ヶ年以上在学し、理学療法学科においては、学則第24条の9を満たした者（必修科目を含めて125単位以上）、作業療法学科においては、学則第24条の10を満たした者（必修科目を含めて125単位以上）、臨床検査学科においては、学則24条の11を満たした者（必修科目を含めて126単位以上）、看護学科においては、学則第24条の12を満たした者（必修科目を含めて126単位以上）を取得していること。
 - (2) 授業料等の学納金等が完納されていること。

(卒業見込証明書の発行)

- 第24条 4年次の4月1日には、卒業見込証明者の発行を行う。ただし、3年次終了までに90単位以上取得できない者には、卒業見込証明書の発行を行わない。

(改 正)

- 第25条 本規程の改正は、保健医療技術学部教授会および大学運営会議の議を経て理事会が決定するものとする。

附 則

- 1 この規程は、平成18年4月1日より施行する。
- 2 平成20年度以前の入学者については、入学年度の規程による。
- 3 この規程は、平成21年4月1日より施行する。
- 4 平成21年度以前の入学者については、入学年度の規程による。
- 5 この規程は、平成22年4月1日より施行する。

- 6 この規程は、平成24年4月1日より施行する。
- 7 第16条の規程は、平成23年度以前の入学者についても適用する。
- 8 この規程は、平成25年4月1日より施行する。
- 9 この規程は、平成26年4月1日より施行する。
- 10 この規程は、平成27年4月1日より施行する。
- 11 第23条の規程は、平成26年度以前の入学者についても適用する。
- 12 この規程は、平成29年4月1日より施行する。
- 13 第11条、第12条、第13条、第21条の規程は、平成28年度以前の入学者についても適用する。
- 14 この規程は、平成30年4月1日より施行する。
- 15 この規程は、令和2年4月1日より施行する。
- 16 この規程は、令和4年4月1日より施行する。

X- ii 保健医療技術学部臨床実習・臨地実習履修規程

(趣 旨)

第1条 本規程は、「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」「臨床検査技師学校養成施設指定規則」ならびに「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に基づく実習を実施するに当たり、各法律・制度の趣旨にそった専門職養成の目的の達成及び履修方法について定めるものである。

(目 的)

第2条 本学保健医療技術学部が掲げている人間共生理念を基礎として、第1条の法律・制度の定めに基づいて、理学療法・作業療法・臨床検査ならびに看護の実践領域における専門的人材を育成するため、実習を行うものとする。

(実習先の確保)

第3条 「理学療法士作業療法士養成施設指導要領」「臨床検査技師養成施設指導要領」ならびに「看護師等養成所の運営に関する指導要領」に基づき、実習施設としての条件を満たし、かつ本学学生の実習受け入れについて協力的である施設等を確保するものとする。

(実習先への配属)

第4条 学生の実習先への配属は、各学科で決定する。

2 学生自身による実習先の選択は、就職活動等の特別の事情がある場合に限るが、この場合にも各学科の承認を得なければならない。

(感染症対応)

第5条 感染症対応は、各学科の実習の手引き・要項に従う。

(実習の要件)

第6条 本学保健医療技術学部の臨床実習、臨地実習を履修するには、原則として以下の要件を満たしていなければならない。

(1) 理学療法学科

1. 「見学実習」(2年後期)を履修するには、2年前期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。
2. 「評価実習」「臨床実習アセスメントⅠ」(3年後期)を履修するには、3年後期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における「評価実習」「臨床実習アセスメントⅠ」以外のすべての必修科目の単位を修得済みであること。
3. 「総合臨床実習」「臨床実習アセスメントⅡ」「地域理学療法実習」(4年前期)を履修するには、1～3年次に開講されている専門基礎分野および専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。

(2) 作業療法学科

1. 「臨床基礎実習Ⅰ」(2年後期)を履修するには、2年前期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。

2. 「臨床基礎実習Ⅱ」（3年後期）を履修するには、3年前期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。
3. 「総合臨床実習Ⅰ」「総合臨床実習Ⅱ」（4年前期）を履修するには、1～3年次に開講されている専門基礎分野および専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。
4. 「地域作業療法実習」（4年後期）を履修するには、1～3年次に開講されている専門基礎分野および専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。

（3）臨床検査学科

「臨地実習」（3年後期）を履修するには、3年前期までに開講されている専門基礎分野および専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。

（4）看護学科

1. 各学年で実施される看護学臨地実習共通オリエンテーションを毎年受けなければ、その後の臨地実習を履修することはできない。
2. 「基礎看護学実習Ⅰ」（1年後期）を履修するためには、1年前期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべてを履修済みであること。
3. 「成人看護学実習（急性期）」「成人看護学実習（慢性期）」「母性看護学実習」「小児看護学実習」「精神看護学実習」を履修するためには、3年前期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。
4. 「老年看護学実習」「外来看護実習」「統合実習」を履修するためには、3年後期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであること。
5. 「公衆衛生看護学実習」「産業保健看護学実習」を履修するためには、3年後期までに開講されている専門基礎分野、専門分野における必修科目のすべての単位を修得済みであり、保健師課程の履修を認められなければならない。

（実習期間）

第7条 1回の実習期間は、理学療法学科においては「見学実習」2週間（80時間）、「評価実習」5週間（200時間）、「臨床実習アセスメントⅠ・Ⅱ」各1週間（80時間）、「総合臨床実習」10週間（400時間）、「地域理学療法実習」1週間（40時間）、作業療法学科においては「臨床基礎実習Ⅰ・Ⅱ」各4週間（320時間）、「総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ」各7週間（560時間）、「地域作業療法実習」1週間（40時間）とする。臨床検査学科における「臨地実習」は、1日8時間の実習を55日間（440時間）とする。また、看護学科においては「基礎看護学実習Ⅰ」「外来看護実習」「産業保健看護学実習」1週間（45時間）以上、「基礎看護学実習Ⅱ」「母性看護学実習」「小児看護学実習」「精神

看護学実習」2週間（90時間）以上、「成人看護学実習（急性期）」「成人看護学実習（慢性期）」「老年看護学実習」3週間（135時間）以上、「統合実習」「公衆衛生看護学実習」4週間（180時間）以上とする。

- 2 実習期間は、原則として授業期間中に連結・集中して実施するものとするが、やむを得ない場合は、分散して実施することができるものとする。
- 3 実習期間の5分の1を越えて欠席がある者は単位の取得ができない。

（実習修了の要件）

第8条 実習修了については、学科で審議、決定する。

- 2 期の途中で休学した時点で、既に実習が修了し、合格していて付与されなかった実習単位については、復学後に前項の決定を経て、単位修得を認定することがある。

（実習中の事故等に関する保険等）

第9条 実習中の事故等についての保険・見舞金の適用については、別に定める。

（改 正）

第10条 本規程の改正は、教授会および大学運営会議の議を経て理事会が決定するものとする。

附 則

- 1 この規程は、平成18年4月1日より施行する。
- 2 この規程は、平成22年4月1日より施行する。
- 3 この規程は、平成26年4月1日より施行する。
- 4 この規程は、平成27年4月1日より施行する。
- 5 この規程は、平成28年4月1日より施行する。
- 6 この規程は、平成27年度以前の入学者についても適用する。
- 7 この規程は、平成29年4月1日より施行する。
- 8 この規程は、平成28年度以前の入学者についても適用する。
- 9 この規程は、平成30年4月1日より施行する。
- 10 この規程は、平成31年4月1日より施行する。
- 11 この規程は、令和3年4月1日より施行する（令和2年度入学者以降適用）。
- 12 この規程は、令和4年4月1日より施行する。



Bunkyo Gakuin University

ふじみ野キャンパス(理学療法学科 作業療法学科 臨床検査学科 看護学科)

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196 TEL049-261-6488(代)

本郷キャンパス(臨床検査学科 看護学科)

〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1 TEL03-3814-1661(代)